

ヨベル書

第 1 章

1 イスラエルの子らがエジプトから出て行った最初の
年の第三の月の十六日、神はモーセにこう言われた。
「山に登ってわたしのところに来なさい。わたしは
あなたに律法と戒めの二枚の石板を与える。それを
書き記して、あなたが彼らに教えなさい。」
2 モーセは神の山に登った。主の栄光はシナイ山にと
どまり、雲が六日間山を覆った。
3 そして七日目に、主は雲の中からモーセを呼び、主
の栄光の現れは山の頂上の燃える火のようであった。
4 モーセは山に四十日四十夜滞在し、神は彼に律法と
証しのすべての日の区分に関する以前の歴史と後の
歴史を教えられた。
5 そしてイエスは言われた。「この山でわたしがあな
たに語るすべての言葉に心を傾け、それを書物に書
き記しなさい。そうすれば、彼らの子孫は、わたし
が今日シナイ山でわたしとあなたの間に彼らの子孫
のために立てた契約を破って、彼らが犯したすべて
の悪事のために、わたしが彼らを見捨てなかったこ
とを知るであろう。」
6 こうして、これらのことがすべて彼らに起こるとき、
彼らは、わたしが彼らのすべての判断とすべての行
いにおいて、彼らよりも正しいことを悟り、わたし
が本当に彼らと共にいたことを悟るであろう。
7 今日わたしがあなたに告げるこれらの言葉をすべて
書き記しなさい。わたしは彼らの反逆と頑固さを知
っている。わたしは彼らを、彼らの先祖、アブラハ
ム、イサク、ヤコブに誓った土地に導き入れる前に、
こう言う。「わたしはあなたの子孫に乳と蜜の流れ
る土地を与える。」
8 彼らは食べて満腹し、異国の神々、すなわち、彼ら
の苦難から何一つ救い出すことのできない神々に目
を向けるであろう。そして、この証言は彼らに対す
る証言として聞かれるであろう。彼らはわたしのす
べての戒め、わたしが彼らに命じるすべてのことを
忘れ、異邦人に従い、彼らの汚れと恥に従い、彼ら
の神々に仕えるであろう。そして、これらは彼らに
とってつまずき、苦難、災難、罠となるであろう。
9 多くの人が滅び、捕虜となり、敵の手に落ちるであ
ろう。それは、彼らがわたしの定めと戒め、わたし
の契約の祭り、わたしの安息日、わたしが彼らの間
でわたしのために聖別した聖所、わたしの幕屋、わ
たしが地の真ん中でわたしのために聖別した聖所を
捨てたからである。それは、わたしがその地にわた
しの名を置き、それがそこに宿るためである。
10 彼らは自分たちのために高台や聖木、彫像を作り、
それぞれ自分の（彫像）を拝み、迷い、自分の子供
を悪霊にいけにえとして捧げ、心の誤った行いのす
べてを行うでしょう。
11 わたしは彼らに証人を送って、彼らに不利な証言
をしよう。しかし彼らは聞こうとせず、証人をも殺
し、律法を求める者たちを迫害し、わたしの目の前
で悪を行うために、すべてを廃止し、変えてしまう
だろう。
12 わたしは彼らから顔を隠し、彼らを異邦人の手に
渡して捕虜とし、略奪し、食い尽くさせ、彼らをこ
の地から連れ去り、異邦人の間に散らす。
13 彼らはわたしの律法とわたしの戒めとわたしの裁
きをすべて忘れ、新月、安息日、祭り、ヨベルの年、
律法などについて迷い出るであろう。
14 その後、異邦人の中から、心と魂と力を尽くして
わたしに立ち返る者たちが現れ、わたしはすべての
異邦人の中から彼らを集め、彼らはわたしを求める
であろう。そして、彼らが心と魂を尽くしてわたし
を求めるとき、わたしは彼らに見いだされるであろ
う。
15 わたしは彼らに義と共に豊かな平和を啓示し、わ
たしの心を尽くし、わたしの魂を尽くして、彼らに
正義の苗木を植え付ける。彼らは祝福となり、呪い
とはならず、頭となり、尾とはならない。
16 わたしは彼らの真ん中にわたしの聖所を建て、彼
らと共に住み、わたしは彼らの神となり、彼らは真
実と義においてわたしの民となる。
17 わたしは彼らを見捨てず、彼らを見放さない。わ
たしは彼らの神、主だからである。」
18 モーセは顔を地に伏せて祈り、言った。「わが神、
主よ、あなたの民とあなたの嗣業を見捨てないでく
ださい。彼らが心の誤りに迷い、彼らの敵である異
邦人の手に渡さないでください。彼らが彼らを支配
し、あなたに罪を犯させることのないようにしてく
ださい。」
19 主よ、あなたの憐れみをあなたの民の上に注ぎ、
彼らのうちに正しい霊を創造してください。ベリア
ルの霊が彼らを支配して、あなたの御前で彼らを告
発したり、すべての義の道から彼らを罠にかけ、あ
なたの御前から滅び去らせたりしないようにしてく
ださい。
20 しかし、彼らはあなたの民であり、あなたの嗣業
です。あなたは彼らを、あなたの偉大な力によって
エジプト人の手から救い出されました。どうか彼ら
のうちに清い心と聖なる霊を造り、今から永遠に至
るまで、彼らが罪に陥らないようにしてください。」
21 主はモーセに言われた。「わたしは彼らの反抗心
と彼らの考えと彼らの頑固さを知っている。彼らは
自分自身の罪と先祖の罪を告白するまで従わないだ
ろう。
22 その後、彼らは完全に正直に、心と魂を尽くして
わたしに立ち返るであろう。わたしは彼らの心の包
皮と彼らの子孫の心の包皮を切り、彼らのうちに聖
なる霊を創造し、彼らを清めるであろう。そうすれ
ば、彼らはその日から永遠までわたしから離れ去る
ことはないであろう。
23 彼らの魂はわたしに、そしてわたしのすべての戒
めに結びつき、わたしの戒めを守り行うであろう。
わたしは彼らの父となり、彼らはわたしの子となる
であろう。

24 そして彼らは皆、生ける神の子と呼ばれ、すべての天使とすべての霊は、彼らがわたしの子であり、わたしが彼らの父であり、義と正義において彼らを愛していることを知るであろう。
25 そして、わたしがこの山であなたに告げるこれらの言葉、すなわち律法と証しのすべての期間、週とヨベルの年において永遠に成就するすべての言葉を、あなた自身のために書き記しなさい。わたしが降りてきて、永遠に彼らと共に住む時まで。」
26 そして主は御臨在の御使いに言われた。「創造の初めから、わたしの聖所が彼らの間に永遠に建てられるまで、モーセに書き記しなさい。」
27 主はすべての人の目に現れ、すべての人はわたしがイスラエルの神であり、ヤコブの子孫すべての父であり、永遠にシオンの山の王であることを知るであろう。そしてシオンとエルサレムは聖なるものとなるであろう。」
28 イスラエルの陣営に先立って行った臨在の天使は、創造の時からの律法とヨベルの週の証しの年区分表を取り、個々の年、すべてのヨベルの数に従って、天と地が新たに創造され、そのすべての創造物が天の力に従って、また地のすべての創造物に従って新しくされる創造の日から、シオンの山のエルサレムに主の聖所が造られ、すべての光がイスラエルのすべての選民のための癒しと平和と祝福のために新しくされるまで、その日から地のすべての日まで、そのようになるようにした。

第 2 章

1 臨在の天使は主の言葉に従ってモーセに語り、こう言った。「創造の完全な歴史を書き記しなさい。主なる神は六日間でそのすべての業と創造されたすべてのものを成し遂げ、七日目を安息日として守り、それを世々限りなく聖なるものとし、そのすべての業のしるしとして定めた。」
2 なぜなら、神は第一の日に、上にある天と地と水と、御前に仕えるすべての霊、すなわち、御臨在の天使、聖化の天使、火の霊の天使、風の霊の天使、雲の霊の天使、闇の霊の天使、雪の霊、雹の霊、霜の霊の天使、声の天使、雷の霊、稲妻の霊、寒さと暑さの霊の天使、冬と春と秋と夏の霊の天使、そして天と地にある被造物のすべての霊を創造されたからである。また、深淵と闇、夕暮れと夜、光、夜明けと昼を創造された。これらは、神が御心の知識によって備えられたものである。
3 そこで私たちは神の御業を見て、神を賛美し、そのすべての御業のゆえに神の前で神を称えた。神は第一の日に七つの偉大な御業を創造されたからである。
4 そして二日目に、神は水の中に大空を創造された。その日、水は二つに分かれ、半分は大空の上に昇り、半分は大空の下に下った。大空は全地の面を覆っていた。これが、神が二日目に創造された唯一の業であった。
5 そして三日目に、神は全地の面から水が流れ出て一つの所に集まり、乾いた地が現れるように命じられた。
6 すると、水は主の命令どおりになり、地の面からこの大空の外の所へと退き、乾いた地が現れた。
7 その日、神は彼らのために、それぞれの集いの所に応じてすべての海とすべての川と、山々や全地の水の集まりとすべての湖と、地のすべての露と、蒔かれた種と、芽生えたすべてのもの、実を結ぶ木と森の木と、エデンの園と、エデンにあるすべての植物を、それぞれの種類に従って創造された。
8 神はこれら四つの偉大な業を三日目に創造された。そして四日目には、太陽と月と星を創造し、それらを天の大空に置いて、全地を照らし、昼と夜を支配し、光と闇を分けるようにされた。
9 そして神は、太陽を地上における大きなしるしとして定め、日ごと、安息日ごと、月ごと、祭りごと、年ごと、年の安息日ごと、ヨベルの年ごと、そしてすべての季節のために定めた。
10 そしてそれは光と闇を分け、繁栄のために、地上に芽生え成長するすべてのものが繁栄するようにする。
11 神は第四の日にこれら三種類の生き物を造られた。そして第五の日に、水の深みに巨大な海の怪物を造られた。これらは、神の手によって最初に造られた肉の生き物、すなわち魚類、水の中を動くすべてのもの、そして飛ぶすべてのもの、鳥類、そしてそれらのすべての種類であった。
12 そして太陽は彼らの上に昇り、彼らを繁栄させ、地上のすべてのもの、地から生えるすべてのもの、すべての実を結ぶ木、すべての肉の上に昇った。
13 神は五日目にこれら三種類の生き物を創造された。そして六日目に、地上のすべての動物、すべての家畜、そして地上を動くすべてのものを創造された。
14 そして、これらすべての後、神は人を創造された。男と女を創造し、地上のあらゆるもの、海にあるもの、空を飛ぶもの、獣、家畜、地上を動くもの、そして全地を支配する権能を彼に与えられた。
15 そして神は六日目にこれら四種類の生き物を創造された。全部で二十二種類であった。
16 そして、六日目に、天にあるもの、地にあるもの、海にあるもの、深淵にあるもの、光にあるもの、闇にあるもの、その他すべてのもの、すべてのものを創造し終えられた。
17 そして、神は私たちに大きなしるし、すなわち安息日を与えてくださいました。それは、私たちが六日間働き、七日目には安息日としてすべての仕事を休むべきであるということです。
18 また、臨在の天使たちと聖化の天使たち、この二つの大きな階級の天使たちすべては、天と地において、神と共に安息日を守るようにと私たちに命じられました。
19 そして主は私たちに言われた。「見よ、わたしはすべての民の中からわたしのために一つの民を選び

出す。彼らは安息日を守るであろう。わたしは彼らをわたしの民として聖別し、彼らを祝福するであろう。わたしが安息日を聖別し、わたしのために聖別しているように、わたしは彼らを祝福し、彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となるであろう。」
20 わたしは、わたしが見たすべての者の中からヤコブの子孫を選び、彼をわたしの長子として書き記し、永遠にわたしのために聖別した。わたしは彼らに安息日を教え、彼らがその日にすべての仕事をせずに安息日を守るようにする。」
21 こうして神は、彼らが第七日に私たちと共に安息日を守り、食べたり飲んだりして、万物を創造された方を祝福し、また、すべての民の中で特別な民を祝福し聖別されたように、私たちと共に安息日を守るように、そのしるしを創造されたのです。
22 そして、主は御自身の命令を、御前に喜ばれる甘い香りのように、すべての日に昇らせた。
23 アダムからヤコブまで、二十二人の人がいて、七日目までに二十二種類の仕事が行われた。これは祝福され、聖なるものである。また、前のものも祝福され、聖なるものである。そして、このものはあのものと共に、聖化と祝福のために役立つ。
24 そして、この者たち（ヤコブとその子孫）には、最初の証しと律法の中で、常に祝福され聖なる者となることが許された。それは、神が第七日の安息日を聖別し祝福されたのと同様である。
25 神は天と地と、創造されたすべてのものを六日間で創造し、七日目を聖なる日と定め、その日のすべての業のために、その日に何らかの仕事をする者は死刑に処せられ、その日を汚す者は必ず死刑に処せられると命じられた。
26 それゆえ、イスラエルの子らにこの日を守って聖なる日とし、この日には何の仕事をせず、汚さないように命じなさい。この日は他のすべての日よりも聖なる日だからである。
27 この日を汚す者は必ず死刑に処せられ、この日に何らかの行いをする者は必ず永遠の死刑に処せられる。これは、イスラエルの子らが代々この日を守り、この地から根絶やしにされないためである。この日は聖なる日であり、祝福された日だからである。
28 そして、それを守り、その日にすべての仕事を休む者は皆、私たちのように、生涯を通して聖なる者となり、祝福されるでしょう。
29 イスラエルの子らに、この日の律法を告げよ。すなわち、彼らはこの日に安息日を守り、心の誤りによってそれを放棄してはならない。また、この日に不適切な仕事をしてはならないこと、自分の楽しみのために行動してはならないこと、この日に飲食するものを準備してはならないこと、水を汲んだり、門を通して荷物を出し入れしたりしてはならないこと、そして、六日目に住居で準備していないものは、この日にしてはならないことを告げよ。
30 その日には、家から家へ物を出し入れしてはならない。その日は、ヨベルの年の中でも最も聖く祝福された日だからである。地上で安息日を守ることが人間に知らされる前から、私たちは天においてこの日に安息日を守っていた。
31 万物の創造主はそれを祝福したが、すべての民や国々を聖別してその上で安息日を守るようにしたのではなく、イスラエルだけを聖別した。イスラエルだけが、地上でその上で食べたり飲んだり、安息日を守ることを許された。
32 そして、万物の創造主は、祝福と聖さと栄光のために創造されたこの日を祝福された。
33 この律法と証しは、イスラエルの子孫に、彼らの代々にわたる永遠の律法として与えられた。

第 3 章

1 そして、第二週の六日間、私たちは神の言葉に従って、すべての獣、すべての家畜、すべての鳥、地を這うすべてのもの、水の中を這うすべてのものを、それぞれの種類と型に従ってアダムのもとに連れてきた。獣は第一日目、家畜は第二日目、鳥は第三日目、地を這うすべてのものは第四日目、水の中を這うものは第五日目に連れてきた。
2 アダムは彼ら一人ひとりにそれぞれ名前をつけた。そして、彼が呼んだとおりに、彼らの名前もそのとおりになった。
3 そして、この五日間、アダムは地上のあらゆる種類の男と女を見たが、彼は独りで、自分にふさわしい助け手を見つけることができなかった。
4 すると主は私たちに言われた。「人が独りでいるのは良くない。彼のためにふさわしい助け手を作ろう。」
5 そして主なる私たちの神は彼を深い眠りに陥らせ、彼は眠りについた。そして主は彼の肋骨の中から一本の肋骨を取り、女のために取った。この肋骨が彼の肋骨の中から女の起源となり、主はその肋骨の代わりに肉を造り、女を造られた。
6 そして神はアダムを眠りから起こし、アダムは六日目に目を覚まして起き上がり、神は彼女をアダムのところに連れて来られた。アダムは彼女を知って、彼女に言われた。「これこそ私の骨の骨、私の肉の肉だ。彼女は私の妻と呼ばれるであろう。彼女は夫から取られたのだから。」
7 それゆえ、男と妻は一体となり、男は父と母を離れて妻と結びつき、二人は一体となる。
8 第一週にアダムと彼の妻であるあばら骨が創造された。第二週に神は彼を彼に示された。このため、男は七日間、女は七日間の汚れを清めるようにという戒めが与えられた。
9 アダムが創造された地で四十日を終えた後、我々は彼をエデンの園に連れて行き、そこを耕し、守らせた。しかし、彼の妻は八十日目に連れて来られ、その後、彼女はエデンの園に入った。

10 このため、出産する女性に関して天の石板に次の戒めが記されている。「もし彼女が男の子を産んだならば、彼女は最初の週の七日間は汚れた状態にとどまり、33 日間は清めの血の中にとどまり、男の子の場合に定められたこれらの日数を終えるまでは、いかなる聖なる物にも触れず、聖所にも入ってはならない。」
11 しかし、女児の場合は、最初の 2 週間と同様に 2 週間の間は汚れた状態にとどまり、清めの血の期間は 66 日間、合計で 80 日間となる。」
12 そして彼女が八十日を終えたとき、私たちは彼女をエデンの園に連れて行った。そこは地上のあらゆるものよりも聖く、そこに植えられている木はすべて聖なるものだった。
13 それゆえ、男の子または女の子を産んだ女性については、その男の子または女の子の出産が終わるまでは、聖なる物に触れてはならない、また聖所に入ってはならないという当時の定めがあった。
14 これはイスラエルのために書き記された律法と証しであり、彼らがそれを生涯守るためである。
15 そして、最初のヨベルの年の最初の週に、アダムとその妻はエデンの園で七年間、耕作と管理をしていた。そして、わたしたちは彼に仕事を与え、耕作に適したすべてのことをするように命じた。
16 彼は（園を）耕し、裸であることを知らず、恥じることもなく、鳥や獣や家畜から園を守り、その実を集めて食べ、残りを自分と妻のために取っておいた。
17 そして、彼がそこで過ごした七年間がちょうど七年経った後、第二の月の十七日に、蛇が来て女に近づき、女に言った。「神はあなた方に、『園のどの木からも食べてはならない』と命じたのか。」
18 彼女はそれに言った。「園にある木々の実はすべて、神は私たちに『食べなさい』と言われました。しかし、園の中央にある木の実は、神は私たちに『食べてはならない、触れてもならない。さもないと死ぬからだ』と言われました。」
19 すると蛇は女に言った、「あなたがたは決して死ぬことはない。神は、あなたがたがそれを食べる日には、目が開かれ、あなたがたは神のようになり、善悪を知るようになることを知っているのだ。
20 女は、その木が美しく、目に心地よく、その実が食用に良いのを見て、それを取って食べた。
21 彼女はまずイチジクの葉で恥を覆い、それをアダムに与えた。アダムがそれを食べると、彼の目が開かれ、自分が裸であることに気づいた。
22 彼はイチジクの葉を取って縫い合わせ、自分のためのエプロンを作り、恥を隠した。
23 神は蛇を呪い、永遠に蛇に対して怒りを燃やされた。
24 すると、イエスは女が蛇の声に聞き従って食べたので、女に対して怒りを抱かれた。そして、女に言われた。「わたしはあなたの苦しみと痛みを大いに増し加える。あなたは苦しみの中で子を産み、あなたの夫のもとに帰り、夫はあなたを支配するであろう。」
25 また、アダムにも言われた。「あなたが妻の声に聞き従い、わたしが食べてはならないと命じた木の実を食べたので、あなたのために地は呪われる。地はあなたのためにいばらとあざみを生じさせ、あなたは顔に汗を流してパンを食べ、ついにはあなたが取られた土に帰るであろう。あなたは土であり、土に帰るのである。」
26 そして神は彼らのために皮の衣を作り、彼らに着せて、エデンの園から送り出した。
27 アダムが園を出たその日、彼は自分の恥を覆った日から、朝日とともに、乳香、ガルバナム、スタクテ、香料を香料として捧げた。
28 その日、獣、家畜、鳥、歩くもの、動くものすべての口が閉じられ、もはや話すことができなくなった。それは、彼らが皆、一つの唇と一つの舌で互いに話していたからである。
29 そして神はエデンの園にいたすべての生き物をエデンの園から追い出し、すべての生き物は種類と型に従って、それぞれの生き物のために創造された場所に散らされた。
30 そして、神はアダムだけに、すべての獣と家畜の中で、彼の恥を覆うための手段を与えられた。
31 このため、天の石板には、律法の裁きを知るすべての人について、恥を覆い隠し、異邦人が身をさらすように身をさらしてはならないと定められている。
32 そして第四の月の新月の日に、アダムとその妻はエデンの園を出て、創造された地、エルダの地に住んだ。
33 そしてアダムは妻の名をエバと名付けた。
34 そして、最初のヨベルの年まで彼らには息子がいなかった。[8 AM] その後、彼は彼女を知った。
35 彼はエデンの園で教えられたとおりに土地を耕した。

第 4 章

1 そして、第二ヨベルの第三週[64-70 AM]に彼女はカインを産み、第四週[71-77 AM]にアベルを産み、第五週[78-84 AM]に娘アワンを産んだ。
2 そして第三ヨベルの年の最初の年に、カインはアベルを殺した。それは（神が）アベルのいけにえを受け入れ、カインの供え物を受け入れなかったからである。
3 彼は野で彼を殺した。すると、彼の血は地から天に向かって叫び、彼が彼を殺したことを嘆いた。
4 主はアベルのことでカインを叱責された。カインがアベルを殺したからである。主はカインを兄弟の血のゆえに地上の逃亡者とし、地上で彼を呪われた。
5 このゆえに天の板にこう記されている。「隣人を裏切って打つ者は呪われる。それを見た者、聞いた者は皆、『その通りだ』と言いなさい。それを見て告げなかった者は、他の者と同じように呪われる。」

6 そのため、私たちは主なる私たちの神の御前に出る時、天においても地においても、光の中にも闇の中にも、あらゆる所で犯されたすべての罪を告白します。
7 アダムと妻はアベルのために四週間（99-127 AM）嘆き悲しみ、第五週の四年目（130 AM）に喜び、アダムは再び妻を知り、妻は彼に息子を産み、アダムはその子をセツと名付けた。アダムは「神はアベルの代わりに、地上に第二の子孫を私たちに起こしてくださった。カインがアベルを殺したからだ」と言ったからである。
8 そして第六週[134-40 AM]に彼は娘アズーラをもうけた。
9 カインは妹のアワンを妻として迎え、第四ヨベルの終わりにエノクを産んだ。[190-196 AM] 第五ヨベルの第一週の第一年に、[197 AM] 地上に家々が建てられ、カインは町を建て、その町を息子エノクの名にちなんで名付けた。
10 アダムは妻エバを知り、エバは九人の息子を産んだ。
11 そして第五ヨベルの五週目[紀元前 225-31 年]に、セツは妹のアズーラを妻として迎え、第四年（第六週目）[紀元前 235 年]に、彼女はエノスを産んだ。
12 彼は地上で主の名を呼び始めた。
13 そして第七ヨベルの第三週[309-15 AM]に、エノスは妹のノアムを妻として迎え、彼女は第五週の第三年に彼に息子を産み、エノスはその子をケナンと名付けた。
14 そして第八ヨベルの終わりに[紀元前 325 年、386 年-3992 年]ケナンは妹のムアレレトを妻として迎え、第九ヨベルの年、この週の三年目の第一週に彼女は彼に息子を産み[紀元前 395 年]、彼はその子をマハラレルと名付けた。
15 そして、第十ヨベルの第二週[449-55 AM]に、マハラレルは父の兄弟の娘バラキエルの娘ディナを妻に迎え、彼女は第六年の第三週に彼に息子を産んだ[461 AM]。彼はその子をヤレドと名付けた。彼の時代に、主の天使たち、すなわち見張りの天使たちが地上に降りてきて、人の子らを教え、地上で正義と公正を行うようにしたからである。
16 そして第 11 のヨベルの年[512-18 AM]に、ヤレドは妻をめとった。彼女の名はバラカで、彼の父の兄弟の娘、ラスヤルの娘であった。このヨベルの年の第 4 週に、彼女は第 5 週に、ヨベルの年の第 4 年に彼に息子を産み、彼はその子をエノクと名付けた。
17 彼は地上に生まれた人々の中で、文字と知識と知恵を学んだ最初の人であり、天のしるしを月の順序に従って書物に書き記した。それは、人々がそれぞれの月の順序に従って季節を知るためであった。
18 彼は最初に証言を書き記し、地上の世代の中の人々に証言し、ヨベルの週を数え、年々の日を彼らに知らせ、月々を順序立て、私たちが彼に知らせたように、年々の安息日を数えました。
19 彼は夢の中で、過去のこと、未来のこと、すなわち、裁きの日まで、代々にわたって人の子らに起こるであろうことを幻の中で見た。彼はすべてを見て理解し、自分の証言を書き記し、その証言を地上に残して、すべての人々とその代々のために残した。
20 そして、第 12 ヨベルの年 [582-88] の第 7 週に、彼は妻をめとった。彼女の名はエドナで、ダネルの娘であり、彼の父の兄弟の娘であった。そして、第 6 年目のこの週 [587 AM] に、彼女は彼に息子を産み、彼はその子をメトセラと名付けた。
21 また、彼はこの六つのヨベルの年の間、神の天使たちと共にいて、彼らは彼に地上と天にあるすべてのもの、太陽の法則を見せ、彼はすべてを書き留めた。
22 彼は、人の娘たちと罪を犯した見張りの者たちに証言した。彼らは人の娘たちと結びつき、汚され始めたので、エノクは彼ら全員に対して証言した。
23 彼は人の中から選ばれ、私たちは彼を威厳と栄誉をもってエデンの園に導き入れた。見よ、そこで彼は世の断罪と裁き、そして人の子らのすべての悪事を書き記した。
24 それで、神はエデンの園の全地に洪水をもたらされた。それは、イエスがすべての人々に対して証しをし、裁きの日まで代々の行いを語り伝えるためであった。
25 彼は聖所の香を焚き、山の上で主の御前に喜ばれる甘い香料を焚いた。
26 主には地上に四つの場所がある。エデンの園、東の山、そして今日あなたがいるこの山、シナイ山、シオン山である。これらは新しい創造において聖別され、地を聖別する。それによって地は世の代々にわたって、すべての罪と汚れから聖別される。
27 そして第 14 ヨベルの年[652 AM]に、メトセラは父の兄弟の娘であるアズリアルの娘エドナを妻として迎え、この週の 1 年目の第 3 週に、息子をもうけ、その名をラメクと名付けた。
28 そして、ヨベルの十五年の第三週に、ラメクは妻をめとった。彼女の名はベテノスで、バラキルの娘であり、彼の父の兄弟の娘であった。この週に彼女は彼に息子を産み、彼はその子をノアと名付け、「この子は私の苦難とすべての仕事、そして主が呪われた地のために、私を慰めてくれるだろう」と言った。
29 そして、第 19 ヨベルの年の終わりに、その第 6 年の第 7 週に、アダムは死んだ。そして、彼の息子たちは皆、彼を創造の地に葬った。彼は最初に地に葬られた者であった。
30 彼は千年の七十年を過ぎていた。千年は天の証しによれば一日である。それゆえ、知恵の木について「あなたがたがそれを食べる日には、あなたがたは死ぬであろう」と記されていた。このため、彼はその日の年数を全うすることなく、その日の間に死んだのである。

31 このヨベルの年の終わりに、カインもその年に殺された。彼の家が崩れ落ち、彼は家の中で死んだ。彼はその石によって殺された。彼は石でアベルを殺したので、石によって正しく殺されたのである。
32 それゆえ、天の石板にはこう定められている。「人が隣人を殺すために用いた道具で、その人は殺されるであろう。その人が隣人を傷つけたのと同じように、その者も殺されるであろう。」
33 そして、ヨベルの年２５年[1205 AM]に、ノアは妻をめとった。その名はエムザラで、ラケエルの娘であり、ノアの父の兄弟の娘であった。第１年の第５週[1207 AM]に、彼女はセムを産み、第５年[1209 AM]にハムを産み、第１年の第６週[1212 AM]にヤペテを産んだ。

第 5 章

1 人の子らが地上に増え始め、娘たちが生まれたとき、神の天使たちはヨベルの年の特定の年に彼らを見て、彼らが美しく見えることを知った。彼らは自分の好きな者を妻とし、彼らに息子を産み、彼らは巨人であった。
2 そして地上では不法が増し、すべての生き物は道を堕落させた。人間も、家畜も、獣も、鳥も、地上を歩くすべてのものも同様に、彼らは皆、その道と秩序を堕落させ、互いに食い合い始めた。こうして地上では不法が増し、すべての人間の思いは絶えず悪に染まった。
3 神は地をご覧になった。見よ、地は堕落しており、すべての肉なるものはその秩序を乱し、地上のすべての者は神の目の前であらゆる悪を行っていた。
4 そして、神は、ご自身が創造された地上の人間とすべての肉なるものを滅ぼすと言われた。
5 しかしノアは主の御前で恵みを得た。
6 そして、神は地上に遣わされた天使たちに対して非常に怒り、彼らをその支配領域から根絶するように命じ、地の奥深くに彼らを縛り付けるように命じられた。見よ、彼らは彼らの真ん中に縛られ、隔離されている。
7 そして、彼らの息子たちに対して、神の御前から命令が下された。彼らは剣で打たれ、天の下から追放されるであろう。
8 そしてイエスは言われた。「わたしの霊はいつまでも人の上にとどまることはない。彼らもまた肉であり、彼らの寿命は百二十年であろう。」
9 そして神は彼らの間に剣を送られ、それぞれが隣人を殺し合うようにされた。彼らは互いに殺し合い、ついには皆剣で倒れ、地上から滅ぼされた。
10 そして彼らの先祖は（彼らの滅びを）目撃し、その後彼らは地の底に永遠に縛られ、主の前でその行いと行いを堕落させたすべての者たちに裁きが下される大いなる裁きの日までそこに留まる。
11 そして神は彼らの場所から彼らを滅ぼし、彼らのすべての悪行に応じて裁かれなかった者は一人も残らなかった。
12 そして神は、すべての被造物のために新しい義なる性質を造られた。それは、彼らがその全性質において永遠に罪を犯さず、それぞれが常に義なる者となるためである。
13 そして、すべての人の裁きは定められ、天の石板に正しく記されている。すなわち、定められた道から外れたすべての人の裁きである。もし彼らがその道を歩まないならば、すべての被造物、すべての種類に対して裁きが記されている。
14 天にも地にも、光の中にも闇の中にも、陰府にも深淵にも暗闇の中にも、裁かれないものは何もない。それらすべての裁きは定められ、書き記され、刻まれている。
15 神はすべての人を裁かれる。偉大な者はその偉大さに、小さな者はその小ささに、そしてそれぞれがその行いに応じて裁かれる。
16 神は、誰の人柄も顧みず、贈り物も受け取られない。神は、すべての人に裁きを下すと仰せられる。たとえ地上のすべてを捧げたとしても、神は贈り物も人柄も顧みず、その手から何も受け取られない。まことに、神は正義の裁き主である。
17 イスラエルの子らについては、こう記され、定められている。「もし彼らが義をもって神に立ち返るならば、神は彼らのすべての背きを赦し、彼らのすべての罪を赦すであろう。」
18 聖書にはこう書いてあり、定められている。「神は、すべての罪から立ち返るすべての人に、年に一度、憐れみを施される。」
19 洪水以前にその行いと心と思いを堕落させた者たちの中で、ノア以外に受け入れられた者は一人もいなかった。ノアは、彼のために洪水から救われた息子たちのために受け入れられたのである。彼の心は、彼に関して命じられたとおり、すべての行いにおいて正しく、彼に定められたことから何一つ逸脱しなかったからである。
20 主は、地上のあらゆるもの、すなわち人、家畜、獣、空の鳥、そして地上を這うものすべてを滅ぼすと言われた。そして、ノアに箱舟を造るように命じ、洪水から身を救えるようにされた。
21 ノアは、第 27 ヨベルの年、第 5 年の第 5 週（第 1 月の新月）に、主の命令どおりに箱舟を造った。[1307 AM]
22 彼はその第六年、第二の月、第二の月の新月から十六日までそこに入り、彼と私たちが彼に持ってきたすべてのものを箱の中に入れ、主は十七日の夕方にそれを外側から閉じられた。
23 主は天の七つの水門を開き、大いなる深淵の泉の口を七つ開かれた。
24 すると、天から水門が開き、四十日四十夜、水が流れ落ち、深淵の泉からも水が湧き上がり、全世界が水で満たされた。

25 そして水は地上に増え、水はすべての高い山々を越え、十五キュビトに達した。箱舟は地上から持ち上げられ、水面を移動した。
26 そして水は地表を覆い、五か月、すなわち百五十日間続いた。
27 そして箱舟は進み、アララト山の山の一つであるルバル山の頂上に止まった。
28 そして第四の月の新月の日に、大いなる深淵の泉は閉じられ、天の水門は閉じられた。そして第七の月の新月の日に、地の深淵のすべての口が開かれ、水は深淵へと流れ始めた。
29 そして十月の新月の時には山の頂が見え、第一月の新月の時には地が見えた。
30 そして、その第七年の第五週に、地上の水は消え去り、第二月の十七日に地は乾いた。
31 そしてその二十七日に、彼は箱舟を開き、そこから獣、家畜、鳥、その他あらゆる動くものを放った。

第 6 章

1 そして、第三の月の新月の日に、彼は箱舟から出て、その山の上に祭壇を築いた。
2 そして彼は地のために贖いをし、子ヤギを取ってその血で地のすべての罪を贖った。ノアと共に箱舟にいたもの以外は、地上にあったすべてのものが滅びていたからである。
3 彼はその脂肪を祭壇に置き、雄牛、山羊、羊と子羊、塩、山鳩、鳩の雛を取り、燔祭を祭壇に置き、油を混ぜた供え物を注ぎ、ぶどう酒を振りかけ、乳香を全体にまき散らし、主の御前に喜ばれる良い香りを漂わせた。
4 主は、その良い香りを嗅ぎ、彼と契約を結ばれた。それは、もはや洪水によって地が滅ぼされることはなく、地のすべての日に種まきと収穫の時が絶えることはなく、寒さと暑さ、夏と冬、昼と夜がその順序を変えることも、永遠に絶えることもないという契約であった。
5「あなたがたは増えよ、地上で数多くなり、地上の祝福となれ。わたしは地上と海にあるすべてのものに、あなたがたへの畏れと恐れを抱かせるであろう。」
6 見よ、わたしはあなたがたに、すべての獣、すべての翼のある物、地を這うすべてのもの、水の中の魚、そしてすべての食物を与えた。緑の草のように、わたしはあなたがたにすべての食物を与えた。
7 しかし、肉、すなわちその命、血のある肉を食べてはならない。すべての肉の命は血の中にあるからである。あなたがたの命の血が求められることのないようにするためである。すべての人の手から、すべての獣の手から、人の血をわたしは求める。
8 人の血を流す者は、人によってその血を流されるであろう。神は人を神のかたちに造られたからである。
9 あなたがたは増えよ、地上で増えよ。」
10 ノアとその息子たちは、どんな肉にも血がついているものは食べないと誓い、この月に、地上のすべての世代にわたって、主なる神の前で永遠の契約を結んだ。
11 このゆえに、主はあなたに、この月に山の上でイスラエルの子らと誓いを立て、主が彼らと永遠に結ばれた契約のすべての言葉のゆえに、彼らに血を振りかけるようにと告げられたのです。
12 この証しは、あなたがたが常にこれを守り、地上のすべての日に獣、鳥、家畜の血を食べてはならないというものである。地上のすべての日に獣、家畜、鳥の血を食べる者は、その者とその子孫は地から根こそぎにされる。
13 あなたはイスラエルの子らに血を食べないように命じなさい。そうすれば、彼らの名と子孫は、私たちの神、主の御前に絶えず留まるであろう。
14 この律法には日数の制限はなく、永遠に続くものです。彼らは代々にわたってこれを守り、祭壇の前で血をもってあなたたちのために祈り続け、毎日朝夕にあなたたちのために主の前で絶えず赦しを求め、これを守り、根こそぎにされないようにします。
15 そして神はノアとその息子たちに、二度と地上に洪水が起こらないというしるしを与えられた。
16 彼は雲の中に虹を置き、永遠の契約のしるしとした。それは、地上に洪水が二度と起こって地上を滅ぼすことがないという契約である。
17 このため、彼らは年に一度、この月に七週祭を祝い、毎年契約を更新すべきであると定められ、天の石板に記されている。
18 そして、この祭りは天地創造の日からノアの時代まで、26 のヨベルと 5 週間（1309-1659 AM）にわたって天で祝われた。ノアとその息子たちは、ノアの死ぬ日まで、7 つのヨベルと 1 週間の間これを守り、ノアの死の日からアブラハムの時代まで、息子たちはこれを廃止し、血を食べるようになった。
19 しかし、アブラハムはそれを守り、イサクとヤコブとその子孫はあなたの時代までそれを守り、あなたの時代にイスラエルの子らはそれを忘れてしまったが、あなたがこの山でそれを新たに祝うようになった。
20 あなたはイスラエルの子らに、代々にわたってこの祭りを守るように命じなさい。これは彼らへの戒めである。彼らは年に一度、この月に祭りを祝うべきである。
21 これは七週の祭りであり、初穂の祭りである。この祭りは二重の意味を持ち、二重の性質を持つ。それについて書かれ、刻まれているとおりに、これを祝いなさい。
22 わたしは最初の律法の書、すなわちあなたのために書いた書に、あなたがその時期に、年に一度、それを祝うべきであると記した。また、イスラエルの子らが代々この月に、毎年一日、それを思い出し、祝うべき犠牲の儀式をあなたに説明した。

23 そして、第一の月の新月、第四の月の新月、第七の月の新月、第十の月の新月は、記念の日であり、また、一年を四つの区分に分ける季節の日である。これらは永遠の証しとして記され、定められている。
24 ノアはそれらを代々の祭りとして定め、それによってそれらは彼への記念となった。
25 そして第一の月の新月の日に、彼は自分のために箱舟を作るように命じられた。その日に地は乾き、彼は箱舟を開けて地を見た。
26 そして第四の月の新月の日に、地の底の深淵の口は閉じられた。そして第七の月の新月の日に、地のすべての深淵の口が開かれ、水がそこに流れ込み始めた。
27 そして十月の新月の日に、山の頂が見えたので、ノアは喜んだ。
28 こうして、神はこれらを永遠の記念の祭りとしてご自身のために定められた。このようにしてこれらは定められたのである。
29 そして彼らはそれらを天の石板に記した。それぞれに 13 週間の期間があり、その記念は一つから二つへ、二つから三つへ、三つから四つへと移っていった。
30 そして、この戒めの期間はすべて五十二週であり、これで一年が完成する。このように天の石板に刻まれ、定められている。
31 また、この戒めを一年だけ、あるいは年々怠ってはならない。
32 イスラエルの子らに、この計算に従って年を守るように命じなさい。三百六十四日で、これで一年が完成する。彼らはその日や祭りを乱してはならない。彼らの証言に従ってすべてが成就し、彼らは一日たりとも欠かすことなく、祭りを乱すこともない。
33 しかし、もし彼らがそれを怠り、神の命令に従って守らないならば、彼らはすべての季節を乱し、年はこの（秩序）から外れ、季節を乱し、年は外れ、彼らは彼らの定めを怠るであろう。
34 イスラエルの子らは皆、年月の道を忘れ、見つけることができず、新月や季節や安息日を忘れ、年月の秩序すべてにおいて迷うであろう。
35 わたしはそれを知っており、今からあなたに告げよう。それはわたしの考えではない。わたしの前に書物が書かれており、天の石板に日々の区分が定められている。それは、彼らが契約の祭りを忘れ、異邦人の祭りに従って、彼らの誤りと無知に従って歩まないためである。
36 必ず月を観察して、月が季節を乱し、毎年十日も早く来ることを指摘する者たちがいるだろう。
37 それゆえ、彼らには秩序を乱し、忌まわしい日を証しの日とし、汚れた日を祝祭日とする年が来る。彼らは聖なる日と汚れた日、汚れた日と聖なる日を混同し、月や安息日、祝祭日やヨベルの年に関して間違った行いをするようになる。
38 だからわたしはあなたに命じ、あなたに証言する。あなたが死んだ後、あなたの子孫は（彼らを）乱し、一年を三百六十四日だけにしないであろう。そのため、彼らは新月や季節、安息日や祭りを間違え、あらゆる種類の血とあらゆる種類の肉を食べるであろう。

第 7 章

1 そして、その最初の年の第七週、すなわちこのヨベルの年に、ノアは箱舟が止まった山、アララト山脈の一つであるルバルという山にぶどうの木を植え、第四年に実を結び、ノアはその実を守り、この年の第七月にそれを集めた。
2 彼はそれでぶどう酒を作り、それを器に入れ、第五年目[1321 AM]の最初の月の新月の初日までそれを保管した。
3 彼はこの祭りの日を喜び祝って、主への燔祭として、一頭の若い雄牛と一頭の雄羊と、一歳の羊七匹と、子山羊一匹をささげ、それによって自分と息子たちのために贖いをしようとした。
4 彼はまず子ヤギを準備し、その血を、彼が作った祭壇の上の肉に塗り、すべての脂肪を、燔祭を捧げる祭壇の上に置き、雄牛と雄羊と羊を、そのすべての肉を祭壇の上に置いた。
5 彼は彼らの捧げ物をすべて油と混ぜてその上に置き、その後、祭壇の上にあらかじめ焚いておいた火にぶどう酒を振りかけ、祭壇の上に香を置いて、主なる神の御前に喜ばれる香ばしい香りを立ち昇らせた。
6 彼は喜び、このぶどう酒を飲んだ。彼と彼の子どもたちは喜びにあふれて飲んだ。
7 夕方になり、彼は自分の天幕に入り、酔っていたので横になって眠った。眠っている間に天幕の中で覆いがなかった。
8 ハムは父ノアが裸であるのを見て、外に出て外にいる二人の兄弟に告げた。
9 セムは自分の衣を取り、ヤペテと共に立ち上がり、その衣を肩にかけ、後ろ向きに歩いて父の恥を覆い、顔を後ろに向けていた。
10 ノアは眠りから覚め、末の息子が自分にしたすべてのことを知り、息子を呪って言った。「カナンは呪われよ。彼は兄弟たちの奴隷となるであろう。」
11 彼はセムを祝福して言った。「セムの神、主は祝福されよ。カナンは主のしもべとなるであろう。
12 神はヤペテを広げ、神はセムの住まいに住み、カナンは神のしもべとなるであろう。」
13 ハムは父が末の息子を呪ったことを知り、父が息子を呪ったことを不快に思った。そして父と別れ、息子たち、クシュ、ミツライム、プテ、カナンも父と共に去った。
14 彼は自分のために町を建て、その町を妻の名にちなんでネエラタマウクと名付けた。
15 ヤペテはそれを見て、兄を妬み、自分も町を建て、妻の名にちなんでアダタネセスと名付けた。

16 そしてセムは父ノアと共に住み、父の近くの山に町を建て、その町を妻セデケテレバブの名にちなんで名付けた。
17 見よ、これら三つの町はルバル山の近くにある。セデケテレバブは山の東側にあり、ナエルタマウクは南側にあり、アダタンエセスは西側にある。
18 そして、セムの子らは、エラム、アシュル、アルパクシャド（この子は洪水から 2 年後に生まれた）、ルド、アラムである。
19 ヤペテの子らは、ゴメル、マゴグ、マダイ、ヤワン、トバル、メシェク、ティラスである。これらはノアの子らである。
20 そして、第 28 ヨベルの年（紀元前 1324 年～1372 年）に、ノアは自分の孫たちに、自分が知っているすべての律法と戒めと裁きを命じ始め、息子たちに、義を守り、肉体の恥を覆い、創造主を祝福し、父と母を敬い、隣人を愛し、淫行と不潔とすべての不正から魂を守るように勧めた。
21 洪水が地上に起こったのは、この三つの事が原因である。すなわち、監視者たちが律法に反して人間の娘たちと淫行を行い、好きな者を妻に迎えたことである。こうして彼らは不潔の始まりを作った。
22 そして彼らはナフィディムという息子たちを生んだが、彼らは皆似ておらず、互いに食い合った。巨人たちはナフィルを殺し、ナフィルはエルヨを殺し、エルヨは人類を殺し、人同士も殺し合った。
23 そして、人々は皆、不正を行い、多くの血を流すために自分を売り渡し、地は不正で満ちた。
24 その後、彼らは獣や鳥、地上を動き歩くすべてのものに対して罪を犯し、地上に多くの血が流され、人々のあらゆる思いと欲望は絶えず虚しく悪を思い描いた。
25 主は地上のあらゆるものを滅ぼされた。彼らの行いの悪と、彼らが地上で流した血のゆえに、主はあらゆるものを滅ぼされた。
26「こうして、わたしとあなたたち、わが子ら、そして箱舟に一緒に入ったすべてのものが残されました。見よ、わたしはわたしの目の前であなたたちの行いを見ます。あなたたちは義のうちに歩んでおらず、滅びの道を歩み始め、互いに離れ離れになり、互いにねたみ合い、わが子らよ、兄弟と仲が悪くなっています。」
27 わたしは、悪霊たちがあなたがたとあなたがたの子どもたちを誘惑し始めたのを見ました。そして今、わたしはあなたがたのために恐れています。わたしの死後、あなたがたは地上で人の血を流し、あなたがたもまた地の面から滅ぼされるのではないかと。
28 人の血を流す者、また、どんな肉の血でも食べる者は、すべて地上から滅ぼされるであろう。
29 血を食べる者、人の血を地上に流す者は、一人も残されない。天の下に住む子孫も、その子孫も残されない。彼らは陰府に行き、裁きの場所へ下り、深淵の暗闇へ、皆、激しい死によって連れ去られる。
30 あなたがたが獣や家畜、あるいは地上を飛ぶものすべてを殺した日は、その血があなたがたの上に見られてはならない。地上に流された血を覆うことによって、あなたがたは自分の魂のために良い行いをするのである。
31 あなた方は血を食べる者のようになってはならない。あなた方の前でだれも血を食べないように気をつけなさい。血を覆いなさい。わたしはあなた方とあなた方の子どもたち、そしてすべての肉なるものに、このように証しするように命じられている。
32 魂が肉と共に食い尽くされることのないようにしなさい。そうすれば、あなたがたの命である血が、地上でそれを流すいかなる肉の手からも求められないであろう。
33 地は、その上に流された血によって清められることはない。地は、その血を流した者の血によってのみ、代々にわたって清められるのである。
34 さあ、わが子らよ、よく聞きなさい。正義と義を行いなさい。そうすれば、あなたがたは全地の面に義をもって植えられ、洪水から私を救い出してくださった私の神の御前に、あなたがたの栄光が高められるであろう。
35 見よ、あなたがたは行って、自分たちのために町を建て、そこに地上のあらゆる植物、またあらゆる実を結ぶ木を植えるであろう。
36 三年間は、食べられるものの実りは何も集められない。そして四年目には、その実は聖なるものとみなされ、初穂をささげる。天と地と万物を創造されたいと高き神の御前に受け入れられる。彼らは、ぶどう酒と油の初穂を、それを受け取る主の祭壇に豊かにささげる。そして残ったものは、それを受け取る主の家のしもべたちが祭壇の前で食べる。
37 そして五年目には、義と公正をもってそれを解き放ちなさい。そうすれば、あなたがたは義人となり、あなたがたが植えるものはすべて繁栄するであろう。
38 あなたの父の父であるエノクは、その子メトセラにこのように命じ、メトセラはその子ラメクに命じた。そしてラメクは、父祖たちが命じたすべてのことを私に命じた。
39 わたしもまた、わが子らよ、あなたがたに戒めを与えよう。エノクが最初のヨベルの年に息子に命じたように。彼はまだ生きていたとき、すなわち、その世代の七代目に、死ぬ日まで息子とその子孫に命じ、証ししたのである。」

第 8 章

1 29 回目のヨベルの年の最初の週、[1373 AM] その初めに、アルパクシャドは妻をめとった。彼女の名はラスエジャで、エラムの娘スーザンの娘であった。彼女は 3 年目のこの週に彼に息子を産み、[1375 AM] 彼はその子をカイナムと名付けた。
2 息子は成長し、父は彼に文字を教え、彼は自分のために町を奪取できる場所を探しに出かけた。

3 彼は、先祖が岩に刻んだ文字を見つけ、そこに書かれていることを読んで書き写し、そのために罪を犯した。それは、監視者たちが太陽や月や星などの天の兆候を観察していた教えが記されていたからである。
4 彼はそれを書き留め、それについて何も言わなかった。ノアがそのことで彼に腹を立てるのではないかと恐れたからである。
5 そして、第 30 ヨベルの年 [1429 AM] の第 2 週、その最初の年に、彼は妻をめとった。彼女の名はメルカで、ヤペテの子マダイの娘であった。そして第 4 年 [1432 AM] に彼は息子をもうけ、その名をシェラと名付けた。彼は「確かに私は遣わされた」と言ったからである。
6 [そして第四年に彼は生まれた]、シェラは成長して妻をめとった。彼女の名はムアクで、彼の父の兄弟ケセドの娘であった。それはその年の第 1 年の第 5 週のことであった。
7 そして彼女はその五年目（1503 AM）に彼に息子を産み、彼はその子をエベルと名付けた。彼はまた、その三十二年目の第七週（1564 AM）に、ネブロドの娘アズラードという名の妻をめとった。
8 そしてその六年目に、彼女は彼に息子を産み、彼はその子をペレグと名付けた。彼が生まれた頃、ノアの子孫は地を分け始めたので、彼はその子をペレグと名付けた。
9 そして彼らはそれを密かに分け合い、ノアに告げた。
10 そして、第 33 ヨベルの年の初めに、彼らは地をセムとハムとヤペテのために、それぞれの相続地に応じて三つの部分に分けた。それは最初の年の最初の週のことであった。その時、遣わされた私たちの一人が彼らと共にいた。
11 彼は息子たちを呼び寄せ、息子たちとその子供たちは彼のそばに近づいた。彼は地をくじに分け、三人の息子たちがそれを所有するようにした。息子たちは手を伸ばし、父ノアの懐からその書物を取り出した。
12 そして、その書には、セムのくじとして、彼自身と子孫が永遠の代々にわたって相続地として受け取るべき地の中央が記されていた。それはラファ山脈の中央、ティナ川の河口から始まり、西に向かってこの川の中央を通り、深淵の水にまで達する。この川はそこから出てメアトの海に注ぎ込み、この川は大海に流れ込む。北にあるものはすべてヤペテのものであり、南にあるものはすべてセムのものである。
13 そしてそれはカラソにまで伸びる。カラソとは、南を向いた舌の懐にある場所である。
14 そして、彼の領地は大きな海に沿って広がり、南に向かって伸びる舌の西にまでまっすぐに伸びている。この海はエジプト海の舌と呼ばれている。
15 そして、そこから南に向かって大海の河口の岸辺に至り、西はアフラまで伸び、ギホン川の水に達するまで伸び、ギホン川の水の南側ではこの川の岸辺まで伸びています。
16 そしてそれは東に向かって伸び、エデンの園の南にまで達し、エデンの全地と全東の東から東に向きを変え、ラファという名の山の東にまで進み、ティナ川の河口の岸辺に下る。
17 この土地は、くじによってセムとその息子たちに割り当てられ、彼らはそれを代々にわたって永遠に所有することになった。
18 ノアは、この分け前がセムとその息子たちのために与えられたことを喜び、預言の中で口で語ったすべてのことを思い出した。彼はこう言っていた。「セムの神、主は祝福されん。主はセムの住まいに住まわれる。」
19 彼は、エデンの園が至聖所であり、主の住まいであり、シナイ山が荒野の中心であり、シオン山が地のへその中心であることを知っていた。これら三つは、互いに向き合う聖なる場所として創造された。
20 彼は、主の言葉を彼の口に授けた神々の神と、とこしえに主をほめたたえた。
21 彼は、祝福された分け前と祝福が、セムとその息子たちに代々にわたって与えられたことを知った。それは、エデンの全地、紅海の全地、東の全地、インド、紅海とその山々、バシャンの全地、レバノンの全地、カフトゥルの島々、サニルとアマナの全山々、北のアッシュルの山々、エラム、アッシュル、バベルの全地、スーザンとマエダイ、アララトの全山々、そしてアッシュルの山々の北にある海の向こうの全地域、祝福された広々とした地であり、そこにあるものはすべて非常に良いものであった。
22 そしてハムのために第二の部分が出た。それはギホン川の向こう、南の園の右側に広がり、南に向かって火の山々すべてにまで及び、西に向かってアテルの海にまで及び、西に向かってマウクの海にまで及ぶ。マウクの海とは、滅びないすべてのものが流れ込む海である。
23 そしてそれは北に向かってガディルの境界まで進み、大海の水辺まで進み、ギホン川に近づき、ギホン川に沿って進み、エデンの園の右側に達する。
24 これはハムのために与えられた土地であり、ハムが自分と息子たちのために代々永遠にわたって住むべき土地である。
25 ヤペテのために、ティナ川の向こう、その流出口の北側に第三の土地が与えられ、それは北東にゴグの全域と、その東の全域に広がっていた。
26 そしてそれは北に向かって北に広がり、北のケルトの山々、そしてマウクの海に向かって広がり、ガディルの東の海域まで達する。
27 そしてそれはファラの西に近づき、アフェラグの方へ戻り、東へメアトの海の水まで伸びる。
28 そしてそれは北東の方向にティナ川の地域まで伸び、ラファ山に向かってその水域の境界に近づき、北に向かって曲がる。
29 これはヤペテとその息子たちのために、彼自身と息子たちのために、彼らの子孫が永遠に所有する相

続地として与えられた土地である。五つの大きな島と、北にある大きな土地である。
30 しかし、そこは寒く、ハムの地は暑い。セムの地は暑くもなく、寒くもなく、寒さと暑さが混じり合っている。

第 9 章

1 ハムは息子たちの間で分け与え、最初の部分は東のクシュに、西のミツライムに、西のプテに、そして西の海沿いのカナンに与えられた。
2 また、セムも息子たちの間で土地を分け与えた。最初の部分はハムとその息子たちのために、ティグリス川の東から東に近づくまで、インドの全地、紅海の沿岸、デダン川の水、メブリとエラのすべての山々、スーザンの全地、そしてファルナクの側から紅海とティナ川に至るすべての地が与えられた。
3 そして、アッシュルには第二の分け前が与えられ、それはアッシュルとニネベとシナールの全地からインドの国境まで、そして川を遡ってその縁まで続く。
4 アルパクシャドには第三の分け前が与えられ、それはユーフラテス川の東にあるカルデア地方の全地、紅海に接する地域、エジプトに面する海の舌に近い砂漠の全水域、レバノン、サニル、アマナの全地、ユーフラテス川の境界までであった。
5 そしてアラムには第四の分け前が与えられた。それは、ティグリス川とユーフラテス川の間、カルデアの北からアッシュルの山地とアララの地の境界までのメソポタミア全土である。
6 そしてルドには第五の分け前、すなわちアシュルの山々と、大海にまで達するそれらに属するすべてのもの、そして彼の兄弟アシュルの東にまで達するすべてのものが与えられた。
7 ヤペテもまた、自分の相続地を息子たちの間で分け与えた。
8 そして、最初の部分はゴメルのために、北側からティナ川までの東の地域が出た。また、北では、メアトの海に達するまで、北の内陸部全体がマゴグのために出た。
9 そしてマダイは、自分の所有地として、二人の兄弟の西から島々、そして島々の海岸へと出て行った。
10 そして、ヤワンには第四の区画、すなわちすべての島とルドの国境に近い島々が与えられた。
11 そして、トゥバルについては、ルドの領地の境界に近づき、第二の舌、第二の舌の向こうの第三の舌に至る舌の中央にある第五の部分が生じた。
12 そしてメシェクには第六の領地が与えられ、それは第三の舌の向こうのガディルの東に近づくまでの全地域であった。
13 そしてティラスには第七の分け前として、ハムの分け前まで届く海の真ん中にある四つの大きな島々が与えられた（そしてカマトゥリの島々はアルパクシャドの息子たちの相続地としてくじで選ばれた）。
14 こうしてノアの息子たちは父ノアの前で息子たちに分け与え、ノアは彼ら全員を誓約させ、自分のくじで割り当てられなかった分け前を奪おうとする者には呪いをかけると誓った。
15 そして彼らは皆、「その通りです、その通りです」と、自分たちと子孫のために、代々にわたって、裁きの日まで永遠に言った。その日には、主なる神は、彼らの誤りによるあらゆる不潔な悪行のために、剣と火で彼らを裁かれる。彼らはそれによって、背きと不潔と淫行と罪で地を満たした。

第 10 章

1 そして、このヨベルの年の第三週に、汚れた悪霊たちがノアの子孫の子らを惑わし、彼らを迷わせ、滅ぼし始めた。
2 ノアの子らは父ノアのところへ来て、ノアの子らを惑わし、目をくらませ、殺している悪霊たちのことを彼に告げた。
3 彼は主なる神の前で祈って言った。「すべての肉なる霊の神よ、あなたは私に憐れみを示し、私と私の息子たちを洪水の水から救い出し、滅びの子らにしたように私を滅びさせませんでした。あなたの恵みは私に対して大きく、あなたの憐れみは私の魂に対して大きかったからです。どうかあなたの恵みが私の息子たちの上に注がれ、悪霊が彼らを支配しないようにしてください。彼らが彼らを地上から滅ぼしてしまうことのないように。」
4 しかし、どうか私と私の息子たちを祝福してください。そうすれば、私たちは増え、増え、地に満ち溢れるでしょう。
5 あなたは、私の時代にあなたの監視者たち、これらの霊の父たちがどのような行いをしたかをご存知です。そして、今生きているこれらの霊たちを、裁きの場所に閉じ込めてしっかりと留めてください。そして、私の神よ、あなたのしもべの子らに滅びをもたらさないようにしてください。なぜなら、これらは悪意に満ち、滅ぼすために創造されたからです。
6 彼らが生きている者の霊を支配することがないように。あなただけが彼らを支配できるからです。また、彼らが義人の子らを支配することがないように。今から永遠に。」
7 そして、主なる私たちの神は、私たちにすべてを縛るように命じられました。
8 すると、精霊たちの長であるマステマが来て言った。「主よ、創造主よ、彼らのうちの何人かを私の前に残し、私の声に耳を傾けさせ、私が彼らに言うことをすべて行わせてください。もし彼らのうちの何人かが私の前に残されなければ、私は人の子らに対して私の意志の力を発揮することができないでしょう。なぜなら、彼らは私の裁きの前に堕落と迷いをもたらす者であり、人の子らの悪は甚だしいからです。」
9 そしてイエスは言われた。「彼らの十分の一は彼の前に留まり、九分の一は裁きの場所へ下って行け。」

10 そして、神は私たちの一人に、ノアに彼らの薬をすべて教えるように命じられました。なぜなら、神は彼らが正しく歩まず、義をもって努力しないことをご存知だったからです。
11 そして私たちは、主の言葉どおりにすべて行い、すべての悪しき者たちを断罪の場所に縛り、そのうちの十分の一を地上に残して、彼らが地上でサタンの前に服従するようにした。
12 そして私たちはノアに、彼らの病気の薬と誘惑のすべてを説明しました。そして、ノアが地の草を使って彼らを癒す方法も説明しました。
13 そしてノアは、私たちがあらゆる種類の薬について教えたとおりに、すべてのことを書物に書き記した。こうして悪霊はノアの息子たちを害することができなくなった。
14 彼は自分が書いたものすべてを長男のセムに与えた。彼は息子たちの中でセムを最も深く愛していたからである。
15 そしてノアは先祖たちと共に眠りにつき、アララトの地のルバル山に葬られた。
16 彼は生涯で 950 年、19 のヨベルと 2 週間と 5 年を全うした。[1659 AM]
17 そして、地上での生涯において、エノクを除いて、彼は義において完全であったため、人の子らの中で最も優れていた。エノクの職務は、世の世代への証しとして定められており、裁きの日まで、代々のすべての行いを語り伝えるためであった。
18 そして、ヨベルの年３３０年目の第一年の第二週に、ペレグはシナールの娘ロムナという名の妻をめとった。彼女はこの週の 4 年目に彼に息子を産み、ペレグはその子をレウと名付けた。彼はこう言った。「見よ、人の子らは、シナールの地に自分たちのために町と塔を建てるという邪悪な企てによって悪くなった。」
19 彼らはアララトの地から東のシナルへと去った。彼の時代に彼らは町と塔を建て、「さあ、そこから天に昇ろう」と言った。
20 そして彼らは建設を始め、第四週に火で煉瓦を作り、その煉瓦は石の代わりになり、それらを繋ぎ合わせるのに使った粘土は、海から、またシナルの地の水源から湧き出るアスファルトであった。
21 そして彼らはそれを建てた。建設には 43 年かかった。その幅は 203 レンガ、高さは 1 レンガの 3 分の 1 であった。高さは 5433 キュビトと 2 パーム、そして（一方の壁の長さは）13 スタディオン（もう一方の壁の長さは 30 スタディオン）であった。
22 すると、主なる私たちの神は私たちに言われた。「見よ、彼らは一つの民であり、このようなことをし始めた。今や彼らには何も妨げられない。さあ、下って行って彼らの言葉を混乱させ、互いの言葉が理解できないようにしよう。そして彼らは町や国々に散らされ、裁きの日まで一つの目的が彼らに留まることはないだろう。」
23 そして主が降りて来られたので、私たちも主と共に降りて行き、人の子らが建てた町と塔を見た。
24 彼は彼らの言葉を混乱させたので、彼らは互いの言葉が理解できなくなり、彼らは町と塔の建設をやめた。
25 このため、シナルの地全体はバベルと呼ばれている。主がそこで人の子らのすべての言葉を混乱させ、そこから彼らはそれぞれの言語と民族に従って、それぞれの町々に散らされたからである。
26 すると主は塔に向かって強い風を送って、それを地上に倒された。見よ、それはシナルの地のアッシリアとバビロンの間にあった。人々はその塔を「倒す塔」と呼んだ。
27 第一年の第四週、その年の初め、第３４ヨベルの年に、彼らはシナルの地から散らされた。
28 ハムとその息子たちは、彼が占領することになっていた土地、すなわち彼が南の地で自分の分け前として得た土地に入った。
29 カナンはレバノンの地をエジプトの川まで見て、そこが非常に良い地であることを知った。彼は西の海への相続地には行かず、ヨルダン川の境界と海の境界から東と西に広がるレバノンの地に住んだ。
30 すると、彼の父ハムと、彼の兄弟クシュとミツライムは彼に言った。「あなたは、あなたの土地ではない、くじで我々に割り当てられた土地ではないところに住み着いた。そうしてはならない。もしそうするならば、あなたとあなたの息子たちはその土地で倒れ、反逆によって呪われるであろう。あなたたちは反逆によって住み着き、反逆によってあなたの子らは倒れ、あなたは永遠に根こそぎにされるであろう。」
31 セムの住まいに住んではならない。それはセムとその息子たちの宿りであったからだ。
32 あなたは呪われ、ノアの子孫の中でも最も呪われるであろう。それは、聖なる裁き主の前で、そして私たちの父ノアの前で、私たちが誓いを立てて自らに課した呪いによるものである。」
33 しかし彼は彼らの言うことを聞かず、彼とその息子たちは、ハマテからエジプトの入り口までのレバノンの地に住み、今日までそこに住んでいた。
34 このゆえに、その地はカナンと呼ばれる。
35 ヤペテとその息子たちは海に向かって行き、自分たちの分け前の地に住んだ。マダイは海の地を見て気に入らず、ハムとアシュルと妻の兄弟アルパクシャドから分け前を乞い、今日まで妻の兄弟の近くのメディアの地に住んだ。
36 彼は自分の住まいと息子たちの住まいを、彼らの父マダイの名にちなんでメディアと名付けた。

第 11 章

1 そして、第 35 ヨベルの年、その最初の年の第 3 週に、レウは妻をめとった。彼女の名はオラーで、ケセドの子ウールの娘であった。彼女は彼に息子を産

み、彼はその子をセローと名付けた。それはこのヨベルの年の第7年のことであった。
2 ノアの子らは互いに戦い始め、捕虜を捕らえ、殺し合い、地上に人の血を流し、血を食べ、堅固な都市、城壁、塔を建て、個人が国の上に自らを高め、王国の始まりを築き、人と人と、国と国と、都市と都市と戦い、皆が悪を行い、武器を手に入れ、息子たちに戦争を教え、都市を占領し、男女の奴隷を売り始めた。
3 ケセドの子ウルはカルデア人のアラの町を建て、自分の名と父の名にちなんでその町を名付けた。彼らは自分たちのために鋳造像を作り、それぞれが作った偶像、すなわち鋳造像を拝み、彫像や汚れた模造品を作り始めた。悪霊が彼らを唆し、罪と不浄を犯させた。
4 そして王子マステマはこれらすべてを行うために尽力し、自分の支配下にある他の霊たちを送り出して、あらゆる種類の悪事や罪、あらゆる種類の違反行為を行わせ、堕落させ、破壊し、地上に血を流させた。
5 このため、彼はセロの名をセルグと名付けた。それは、あらゆる罪と違反行為に走る者すべてに由来する。
6 彼は成長し、カルデアのウルに住み、妻の母の父のそばにいた。彼は偶像を拝み、第36ヨベルの年の第5週、その最初の年に妻をめとった。[1744 AM] 彼女の名はメルカで、カベルの娘であり、彼の父の兄弟の娘であった。
7 そして彼女は今週の初めにナホルを産み、彼は成長してカルデアのウルに住み、彼の父は彼にカルデア人の研究を教え、天のしるしに従って占い、予言した。
8 そして、ヨベルの年第３７年、その第1年の第6週に、彼は妻をめとった。その名はカルデア人ネスタグの娘イヤスカであった。
9 そして彼女は今週の七年目にテラを産んだ。[1806 AM]
10 そしてマステマ王子は、その地に蒔かれた種を食い尽くすためにカラスや鳥を送り込み、その地を滅ぼし、人の子らからその労苦を奪おうとした。種を耕す前に、カラスが地表から種をついばんでしまった。
11 それで、カラスや鳥が彼らを困窮させ、彼らの種を食い尽くしたので、彼はその子をテラと名付けた。
12 そして、鳥のせいで年月は不毛になり、鳥は木々の実をすべて食い尽くしてしまった。彼らは大変な努力をして、その時代に地上のあらゆる実を少しだけ残すことができた。
13 そして、この第39のヨベルの年、最初の年の第二週に、テラは妻をめとった。その名はエドナで、アブラムの娘であり、彼の父の姉妹の娘であった。そして、この週の7年目に、彼女は彼に息子を産んだ。彼はその子を、母の父の名にちなんでアブラムと名付けた。
14 彼は娘が息子を身ごもる前に亡くなっていた。
15 そして、その子は、偶像や不潔な行いに迷い込んだ地上の人々の誤りを理解し始めた。そして、父は彼に文字を教えた。彼は二十歳になったとき、父と共に偶像を拝まないように、父から離れた。
16 彼は万物の創造主に祈り始め、人の子らの誤りから自分を救い、自分の分が不潔と卑劣さに陥らないようにと願った。
17 そして種まきの時期が来て、彼らは皆一緒にカラスから種を守るために出かけた。アブラムも彼らと共に出かけた。その子は 14 歳の少年であった。
18 すると、カラスの群れが種を食べに来た。アブラムは、カラスが地に降り立つ前に追いかけ、種を食べ始める前に叫んで言った。「降りてこないで。来たところへ戻りなさい。」するとカラスは引き返していった。
19 その日、神はカラスの群れを七十回も引き返させた。アブラムがいたその地のすべてのカラスのうち、一羽たりともそこに留まらなかった。
20 そして、彼と共にいた全地の人々は皆、彼が叫ぶのを見て、カラスは皆引き返し、彼の名はカルデア全土で有名になった。
21 その年、種を蒔きたいと願う人々が皆彼のところにやって来たので、彼は種まきの時期が終わるまで彼らと共にいた。そして彼らは自分の土地に種を蒔き、その年は十分な穀物を持ち帰って食べ、満ち足りた。
22 そして第五週の第1年に、アブラムは牛の道具を作る者たち、木工職人たちに教え、彼らは種を蒔くために、鋤の枠に面した地上の器を作り、種はそこから鋤の刃の上に落ちて土の中に隠れ、彼らはもはやカラスを恐れなかった。
23 こうして彼らは、すべての鋤の枠の上に地上に（器を）作り、アブラムが命じたとおりにすべての土地に種をまき、耕した。そして彼らはもはや鳥を恐れなかった。

第 12 章

1 そして、その第7年の第6週に、アブラムは父テラに言った。「父よ！」
2 彼は言った、「見よ、ここに私がいる、わが子よ。」
そして彼は言った、
「あなたがたが崇拝する偶像から、私たちにどんな助けや利益があるというのか。
そして、あなたは一体何にひれ伏すのか?
3 彼らの中には霊がなく、
それらは形だけのもの、心を惑わすものだからです。
彼らを崇拝してはならない。
4 天の神を礼拝し、
誰が雨や露を地上に降らせるのか
そして地上のあらゆるものは、
そして神は御言葉によって万物を創造された。
そして、すべての命は神の御前から存在する。
5 なぜあなたがたは、霊のないものを拝むのか。

それらは（人間の）手による作品であり、
そして、あなた方はそれらを肩に担ぎ、
そしてあなた方は彼らから何の助けも得られない。
しかし、それらはそれを作る者にとって大きな恥辱である。
そして、それらを崇拝する者たちの心を惑わすものでもある。
彼らを崇拝してはならない。
6 すると父は息子に言った。「息子よ、私もそれを知っている。しかし、私を彼らの前に仕えさせた民を、私はどうすればよいのだろうか。」
7 もし私が彼らに真実を告げれば、彼らは私を殺すだろう。なぜなら、彼らの魂は彼らに結びついて、彼らを崇拝し、敬うからである。
8「息子よ、黙っていなさい。さもないと殺されてしまう。」イエスは二人の兄弟にこう言った。兄弟はイエスに腹を立てたが、イエスは黙っていた。
9 そして、第 40 回目のヨベルの年、その第 2 週、その第 7 年目に、アブラムは妻をめとった。その名はサライで、アブラムの父の娘であった。彼女はアブラムの妻となった。
10 そして、彼の兄弟ハランは、第三週の第三年に妻をめとった。[1928 AM] 彼女はこの週の七年に彼に息子を産んだ。[1932 AM] 彼はその子をロトと名付けた。
11 そして、彼の兄弟ナホルは妻をめとった。
12 アブラムの生涯の六十年目、すなわち第四週の第四年に、アブラムは夜中に起きて偶像の家を焼き、家の中にあったものすべてを焼き尽くしたが、誰もそのことを知らなかった。
13 そして彼らは夜中に起き上がり、火の中から自分たちの神々を救い出そうとした。
14 ハランは急いで彼らを救おうとしたが、火が彼の上に燃え上がり、彼は火に焼かれて、父テラの目の前でカルデアのウルで死に、カルデアのウルに葬られた。
15 テラはカルデアのウルから息子たちと共に出て行き、レバノンの地とカナンの地へ行った。そしてハランの地に住み、アブラムは父テラと共にハランに 2 週間住んだ。
16 そしてその第 5 年の第 6 週に、アブラムは第 7 ヶ月の新月の夜に夜通し起きて、夕方から朝まで星を観察し、その年の雨の様子を知ろうとした。そして、座って観察していたとき、彼は一人だった。
17 すると、彼の心に言葉が浮かび、彼は言った。「星のしるし、月のしるし、太陽のしるしはすべて主の御手の中にある。なぜ私はそれらを調べようとするのか。」
18 神は望むならば、朝夕に雨を降らせる。
そして、もし神が望むなら、神はそれを差し控える。
そして、すべてのことは彼の御手の中にある。
19 その夜、彼は祈って言った。
「わが神よ、いと高き神よ、あなただけがわが神です。
そして私はあなたとあなたの支配を選びました。
そしてあなたはすべてのものを創造し、
そして、あなたの手によって作られたすべてのもの。
20 人の心の思いを支配する悪霊の手から私を救い出してください。
どうか、彼らが私をあなたから迷わせることのないよう、わが神よ。
そして、私と私の子孫を永遠に堅く立ててください。
今後、私たちが決して道を踏み外さないように。
21 彼は言った、「私の顔を求めるカルデア人のウルに戻って、彼らのところへ帰るべきでしょうか。それとも、この場所に留まるべきでしょうか。あなたの御前における正しい道が、あなたのしもべの手によって栄え、彼がそれを全うし、私が心の偽りの中を歩まないようにしてください、わが神よ。」
22 彼は話し終え、祈りを終えた。すると、見よ、主の言葉が私を通して彼に送られた。「あなたの国、あなたの親族、あなたの父の家を出て、わたしが示す地に行きなさい。わたしはあなたを大いなる多くの国民とする。」
23 わたしはあなたを祝福する
そしてわたしはあなたの名を大いなるものとする。
そしてあなたは地上で祝福されるであろう。
そして、あなたによって地上のすべての家族は祝福されるでしょう。
そして、あなたを祝福する者を、私は祝福する。
汝を呪う者を呪え。
24 わたしはあなたとあなたの子、あなたの孫、そしてあなたの子孫すべての神となる。恐れるな。今から後、地のすべての世代にわたって、わたしはあなたの神である。」
25 主なる神は言われた。「彼の口と耳を開いて、啓示された言葉で聞き、また口で語ることができるようにせよ。」それは、バベルの崩壊の日から、すべての人々の口から止んでいたからである。
26 わたしは彼の口と耳と唇を開き、創造の言葉であるヘブライ語で彼と話し始めた。
27 彼は先祖の書物を取り、それらはヘブライ語で書かれていたので、それを書き写し、それ以来、それらを研究し始めた。そして、彼が理解できないことを私は彼に知らせたので、彼は雨季の六ヶ月の間、それらを研究した。
28 そして、第六週の第七年に、彼は父に告げて、ハランを出てカナンの地へ行き、そこを見てから父のもとへ帰ると告げた。
29 すると、テラの父は彼に言った。「安らかに行きなさい。
永遠の神があなたの道をまっすぐにしてくださいますように。
主があなたと共にいて、あらゆる悪からあなたを守り、
そして、あなたを見る人々の前で、あなたに恵みと慈悲と好意を与えてください。
そして、人間の子らの誰も、あなたに危害を加える力を持たないように。

安らかにお眠りください。
30 もしあなたが住むのにふさわしい土地を見つけたなら、立ち上がって私をあなたのところに連れて行き、あなたの兄弟ハランの子ロトをあなたの実の子のように連れて行ってください。主があなたと共におられますように。
31「あなたの兄弟ナホルは、あなたが無事に帰ってくるまで私のところへいてください。そして、私たちも皆一緒にあなたと共に行きます。」

第 13 章

1 アブラムはハランを出発し、妻サライと兄ハランの子ロトを連れてカナンの地へ行き、アッシリアに着き、シェケムへ進み、高い樫の木の近くに住んだ。
2 彼は見ると、見よ、ハマテの入り口から高い樫の木まで、その地は非常に心地よかった。
3 すると主は彼に言われた。「わたしはこの地をあなたとあなたの子孫に与える。」
4 彼はそこに祭壇を築き、その上で、自分に現れた主に焼き尽くすいけにえをささげた。
5 彼はそこから山へ移り、西にベテル、東にアイがある山へ行き、そこに天幕を張った。
6 すると、彼は見た。見よ、その土地は非常に広く、豊かで、ぶどうの木、いちじく、ざくろ、樫の木、ヒイラギ、ピスタチオ、油の木、杉、糸杉、ナツメヤシ、その他あらゆる野の木が生えていた。山々には水があった。
7 彼は、自分をカルデアのウルから導き出し、この地に連れてきてくださった主をほめたたえた。
8 そして、第一年の七週目、第一月の新月の日に、彼はこの山に祭壇を築き、主の名を呼び求めて言った。「永遠の神よ、あなたは私の神です。」
9 彼は祭壇の上で主に向かって焼き尽くすいけにえをささげ、主が自分の生涯の間、自分と共にいて、自分を見捨てないように祈った。
10 彼はそこから出て南へ向かい、ヘブロンに着いた。ヘブロンはその時すでに建てられていた。彼はそこに 2 年間滞在し、そこから南の地、ベアロトへ行った。その地には飢饉があった。
11 アブラムは週の三年目にエジプトに行き、妻が彼から引き離されるまでの五年間エジプトに住んだ。
12 その時、エジプトのタナイスはヘブロンの建設から 7 年後に建てられた。
13 ファラオがアブラムの妻サライを捕らえたとき、主はアブラムの妻サライのゆえに、ファラオとその家を大きな災いで苦しめられた。
14 アブラムは羊、牛、ろば、馬、らくだ、男女の奴隷、そして銀と金を非常に多く所有していたので、大変栄えていた。また、彼の兄弟の子ロトも裕福であった。
15 ファラオはアブラムの妻サライを返還し、彼をエジプトの地から送り出した。アブラムは最初に天幕を張った場所、すなわち祭壇のある場所、東にアイ、西にベテルがある場所へと旅をし、彼を無事に連れ戻してくれた主なる神を賛美した。
16 そして、第 41 ヨベルの年、第 1 週の 3 年目に、[1963 AM] 彼はこの場所に戻ってきて、そこで焼き尽くすいけにえをささげ、主の名を呼び求めて言った。「いと高き神よ、あなたは永遠に私の神です。」
17 そしてこの週の第四年[1964 AM]にロトは彼と別れ、ロトはソドムに住んだ。ソドムの人々は極めて罪深い者であった。
18 彼は、兄の息子が自分のもとを去ったことを深く悲しんだ。なぜなら、彼には子供がいなかったからである。
19 ロトが捕虜になったその年、主はロトがアブラムと別れた後、すなわちこの週の 4 年目に、アブラムに言われた。「あなたが住んでいる場所から目を上げて、北、南、西、東を見渡せ。
20 あなたが見るすべての土地を、わたしはあなたとあなたの子孫に永久に与え、あなたの子孫を海の砂のように多くする。人が地の塵を数えることはできても、あなたの子孫は数えきれないほど多くなる。
21 立ち上がって、その地を縦横に歩き回り、すべてを見よ。わたしはそれをあなたの子孫に与えるのだ。」こうしてアブラムはヘブロンに行き、そこに住んだ。
22 この年に、エラムの王ケドルラオメル、シナールの王アムラフェル、セラサルの王アリオク、諸国の王テルガルがやって来て、ゴモラの王を殺した。ソドムの王は逃げ、塩の海のほとりのシディムの谷で、多くの者が傷を負って倒れた。
23 そして彼らはソドムとアダムとゼボイムを捕虜にし、アブラムの兄弟の子ロトとそのすべての財産も捕虜にして、ダンへ行った。
24 すると、逃げ延びた者が来て、アブラムに、彼の兄弟の息子が捕虜になったと告げたので、（アブラムは）家臣たちに武器を持たせた。
25 ……アブラムとその子孫のために、初穂の十分の一を主に捧げ、主はそれを、主の前で仕える祭司たちに与え、彼らがそれを永遠に所有するようにと、永遠の定めとして定められた。
26 この律法には日数の制限はない。なぜなら、種、ぶどう酒、油、家畜、羊など、あらゆるものの十分の一を主にささげることを、代々にわたって定めておられるからである。
27 そして、主はそれを祭司たちに与え、主の御前で喜びをもって食べたり飲んだりするようにされた。
28 ソドムの王は彼のもとに来てひれ伏し、言った。「我らの主アブラムよ、あなたが救った魂を我々に与えてください。しかし、戦利品はあなたのものとしてください。」
29 するとアブラムは彼に言った。「いと高き神に誓って、糸一本から靴ひもに至るまで、あなたのものから何も受け取らないようにします。あなたが『私がアブラムを富ませた』と言わないようにするためです。ただし、若者たちが食べたものと、私と一緒

に来た者たち、アネル、エスコル、マムレの分け前は別です。彼らはそれぞれの分け前を受け取ります。」

第 14 章

1 これらの出来事の後、この週の四年目の第三月の新月の日に、主の言葉が夢の中でアブラムに臨み、こう言われた。「アブラムよ、恐れるな。わたしはあなたの守護者であり、あなたの報いは非常に大きいであろう。」
2 彼は言った。「主よ、主よ、私は子を残さずにここを去るのですから、私に何を与えてくださいますか。私の女奴隷の息子であるマセクの息子、ダンマセク・エリゼルが私の相続人となるのに、あなたは私に子孫を与えてくださらないのです。」
3 するとイエスは彼に言われた。「この者（男）はあなたの相続人ではない。あなたの腹の中から出てくる者があなたの相続人となる。」
4 そしてイエスは彼を外に連れ出し、こう言われた。「天を見上げて星を数えてみなさい。もし数えられるなら。」
5 彼は天を見上げて星々を見た。そして主は彼に言われた。「あなたの子孫はこのようになるだろう。」
6 彼は主を信じた。そしてそれは彼にとって義とみなされた。
7 すると主は彼に言われた。「わたしは、あなたをカルデアのウルから連れ出し、カナンの地をあなたに与えて、それを永遠に所有させる主である。わたしはあなたと、あなたの後の子孫の神となる。」
8 彼は言った。「主よ、主よ、私がそれを相続することを、どのようにして知ることができるでしょうか。」
9 するとイエスは彼に言われた。「三歳の雌牛と三歳の雄山羊と三歳の羊と、山鳩と鳩をわたしのために持ってきなさい。」
10 彼は月の半ばにこれらすべてを持って、ヘブロンに近いマムレの樫の木のところに住んだ。
11 彼はそこに祭壇を築き、これらすべてをいけにえとしてささげ、その血を祭壇に注ぎ、それらを真ん中で分け、互いに向かい合わせに置いた。しかし、鳥は分けなかった。
12 すると鳥がパンくずの上に降りてきたので、アブラムは鳥を追い払い、鳥がパンくずに触れるのを許さなかった。
13 日が沈むと、アブラムは恍惚状態に陥り、見よ、深い闇の恐怖が彼を襲い、アブラムにこう告げられた。「あなたの子孫は必ず異国の地に寄留し、奴隷にされ、四百年間苦しめられるであろう。
14 また、彼らが奴隷となるその国も、わたしは裁き、その後、彼らは多くの財産を持ってそこから出てくるであろう。
15 あなたは安らかに先祖のもとに行き、長寿を全うして葬られるであろう。
16 しかし、第四世代になって彼らはここに戻ってくるであろう。アモリ人の罪はまだ満ちていないからである。」
17 彼は眠りから覚めて起き上がると、日はすでに沈んでいた。すると、炎があり、見よ、炉が煙を上げており、燃える炎が肉片の間を通り過ぎた。
18 その日、主はアブラムと契約を結び、こう言われた。「わたしはあなたの子孫に、エジプトの川から大河ユーフラテス川に至るこの地、ケニ人、ケニズ人、カドモニ人、ペリジ人、レファイム人、ファコ人、ヒビ人、アモリ人、カナン人、ギルガシ人、エブス人を与える。」
19 日が過ぎ、アブラムは肉片と鳥と果物の供え物と飲み物の供え物をささげたが、火はそれらを焼き尽くした。
20 その日、私たちはアブラムと契約を結びました。それは、この月にノアと結んだ契約と同じものでした。そしてアブラムは、自分のためにその祭りと定めを永遠に更新しました。
21 アブラムは喜び、これらのことをすべて妻サライに知らせた。彼は子孫を授かると信じたが、サライは子を産まなかった。
22 サライは夫アブラムに助言して言った。「私のエジプト人の女奴隷ハガルと交わりなさい。彼女を通して、あなたに子孫を残せるかもしれない。」
23 アブラムは妻サライの声に耳を傾け、「そうしなさい」と彼女に言った。サライは女奴隷のハガル（エジプト人）を連れてきて、夫アブラムに妻として与えた。
24 彼は彼女のもとに入り、彼女は身ごもって彼に男の子を産んだ。彼はその子をイシュマエルと名付けた。それは今週の五年目（1965 年）のことであった。これはアブラムの生涯の八十六年目であった。

第 15 章

1 そして、このヨベルの年の第 4 週の第 3 月の半ばに、アブラムは穀物の初穂の祭りを祝った。
2 彼は祭壇の上に新しい供え物、すなわち収穫物の初穂を主にささげた。雌牛と雄山羊と羊を祭壇の上に全焼のいけにえとしてささげ、それらの実の供え物と飲み物の供え物を乳香と共に祭壇の上にささげた。
3 主はアブラムに現れて言われた。「わたしは全能の神である。わたしの前で自分を証明し、完全であれ。
4 わたしはわたしとあなたとの間に契約を結び、あなたを大いに増やすであろう。」
5 アブラムは顔を地に伏せ、神は彼に語りかけ、こう言われた。
6「見よ、わたしの定めはあなたと共にある。
あなたは多くの国民の父となるであろう。
7 あなたの名前はもはやアブラムとは呼ばれない。
しかし、あなたの名は今から永遠にアブラハムと呼ばれるであろう。
わたしはあなたを多くの国民の父とした。

8 わたしはあなたを非常に偉大な者とする。
そしてわたしはあなたを諸国民にし、
そして、あなたから王たちが現れるであろう。
9 わたしはわたしとあなた、そしてあなたの後の子孫との間に、代々にわたって永遠の契約を立てる。それは、わたしがあなたとあなたの後の子孫にとって神となるためである。
10「わたしはあなたとあなたの子孫に、あなたが寄留していた地、カナンの地を与え、あなたがそれを永遠に所有できるようにする。わたしは彼らの神となる。」
11 主はアブラハムに言われた。「あなたとあなたの子孫は、わたしの契約を守りなさい。あなたがたの中のすべての男子に割礼を施し、包皮を切り落としなさい。それはわたしとあなたがたとの間の永遠の契約のしるしとなる。」
12 あなた方は、生まれて八日目の男の子、すなわち、家で生まれた男の子、あるいは、あなた方が異邦人から金で買い取った男の子、あなた方の子孫ではない男の子を、代々にわたって割礼しなければならない。
13 あなたの家で生まれた者は必ず割礼を受けなければならない。あなたが金で買い取った者も割礼を受けなければならない。わたしの契約は永遠の定めとして、あなたの肉体の中に残るであろう。
14 また、八日目に包皮の肉に割礼を受けていない未割礼の男子は、わたしの契約を破ったので、その魂は民の中から断たれるであろう。」
15 神はアブラハムに言われた。「あなたの妻サライの名はもはやサライとは呼ばれず、サラと呼ばれるようになる。」
16 わたしは彼女を祝福し、彼女を通してあなたに息子を与え、その子を祝福する。その子は一つの国民となり、諸国の王たちが彼から出るであろう。」
17 アブラハムは顔を地に伏せて喜び、心の中で言った。「百歳の男に息子が生まれるだろうか。九十歳のサラが子を産むだろうか。」
18 アブラハムは神に言った。「どうかイシュマエルがあなたの御前で生きながらえますように！」
19 神は言われた。「サラもあなたに男の子を産むであろう。あなたは彼の名をイサクと名付けなさい。わたしは彼と、そして彼の子孫と永遠の契約を立てるであろう。」
20 イシュマエルについても、わたしはあなたの願いを聞き入れた。見よ、わたしは彼を祝福し、彼を偉大な者とし、彼を大いに増やし、彼は十二人の王子を生み、わたしは彼を大いなる国民とする。
21 しかし、わたしはサラがあなたに産むイサクと契約を結ぶ。それは、この日々、来年のことである。」
22 神はアブラハムとの会話を終え、アブラハムのもとから昇って行かれた。
23 アブラハムは神が彼に言われたとおりに行い、息子イシュマエルと、彼の家で生まれた者、彼が金で買い取った者、つまり彼の家の男子全員を連れて行き、彼らの包皮の肉を切り取った。
24 その同じ日にアブラハムは割礼を受け、彼の家の男たち、すなわちその家で生まれた者たち、そして彼が異邦人の子供たちから金で買い取った者たちも皆、彼と共に割礼を受けた。
25 この律法は、すべての世代にわたって永遠に適用されるものであり、日割りの割礼はなく、八日間のうち一日を省略することもできない。これは永遠の定めであり、天の石板に記されているからである。
26 生まれても八日目に割礼を受けない者は皆、主がアブラハムと結ばれた契約の子孫ではなく、滅びの子孫となる。また、彼には主のしるしは何もなく、滅び、殺され、地から根こそぎにされる運命にある。なぜなら、彼は私たちの神、主との契約を破ったからである。
27 臨在の天使と聖化の天使は、創造の日からすべてそのように創造された。そして、臨在の天使と聖化の天使の前で、神はイスラエルを聖別された。それは、イスラエルが神と共に、また神の聖なる天使たちと共にいるためである。
28 あなたはイスラエルの子らに命じて、彼らにこの契約のしるしを代々にわたって永遠の定めとして守らせなさい。そうすれば彼らはこの地から根絶されることはない。
29 この命令は契約として定められており、イスラエルのすべての子孫の間で永遠に守られるべきものである。
30 イシュマエルとその息子たち、兄弟たち、そしてエサウは、主がご自身に近づかせたのではなかった。主は彼らをアブラハムの子孫だから選んだのではなく、彼らを知っておられたからではなく、イスラエルをご自身の民として選ばれたのである。
31 そして神はそれを聖別し、すべての人々の中からそれを集めた。多くの国民と多くの民族があり、それらはすべて神のものである。そして神は、すべての人々を神から迷わせるために、すべての人々の上に権威を持つ霊たちを置かれた。
32 しかし、イスラエルの上には、神は天使や霊を任命されなかった。なぜなら、神だけが彼らの支配者であり、神は御自身の天使と霊と、すべての力によって彼らを守り、彼らを要求されるからである。それは、神が彼らを守り、祝福し、彼らが神のものとなり、神が彼らのものとなるためである。
33 わたしは今、あなたに告げます。イスラエルの子らはこの律法を守らず、この律法に従って息子たちに割礼を施さないでしょう。彼らは割礼の肉において、息子たちの割礼を怠り、ベリアルの子孫である彼らは皆、息子たちを生まれたままの割礼を受けさせないままにするでしょう。
34 イスラエルの子らに対して、主から大きな怒りが下るであろう。彼らは主との契約を捨て、主の言葉から離れ、この律法の定めを守らず、挑発し、冒涜したからである。彼らは異邦人のように自分の民を

扱ったので、彼らはこの地から追い出され、根こそぎにされるであろう。そして、この永遠の誤りのすべての罪に対して、もはや彼らに赦しも許しもないであろう。

第 16 章

1 そして第四の月の新月の日に、私たちはマムレの樫の木の下でアブラハムに現れ、彼と語り、彼の妻サラから息子が与えられることを告げた。
2 するとサラは笑った。なぜなら、私たちがアブラハムにこれらの言葉を話したのを聞いて、私たちが彼女をたしなめたので、彼女は恐れて、その言葉のために笑ったことを否定したからである。
3 そして私たちは彼女に、天の石板に定められて記されている息子の名前を告げた。
4 そして、私たちが定められた時間に彼女のもとに戻ったときには、彼女は男の子を身ごもっていたでしょう。
5 この月に主はソドム、ゴモラ、ゼボイム、ヨルダン川流域全体に裁きを下し、火と硫黄で焼き尽くし、今日まで滅ぼし尽くされた。見よ、わたしは彼らの行いをすべてあなたに告げた。彼らは極めて邪悪で罪深く、自らを汚し、肉において淫行を行い、地上に不潔な行いをしている。
6 同様に、神はソドムの人々の不潔さにふさわしく、彼らが行った場所を、ソドムの裁きと同じように裁かれるでしょう。
7 しかし、ロトは救われた。神はアブラハムを覚えておられ、滅亡のさなかから彼を救い出されたからである。
8 そして彼とその娘たちは、アダムの時代から彼の時代まで地上に存在しなかったような罪を地上で犯した。なぜなら、男は自分の娘たちと交わったからである。
9 すると、彼のすべての子孫について、天の石板にこう命じられ、刻まれていた。彼らを取り除いて根絶し、ソドムの裁きのように彼らに裁きを下し、裁きの日には地上に人の子孫を一人も残さないこと。
10 この月にアブラハムはヘブロンを離れ、ゲラルの山地にあるカデシュとシュルの間に住んだ。
11 そして、第五の月の半ばに彼はそこを離れ、誓いの井戸のそばに住んだ。
12 そして六か月目の半ばに、主はサラを訪れ、言われたとおりにされたので、サラは身ごもった。
13 そして彼女は三か月目に男の子を産んだ。その月の半ば、すなわち主がアブラハムに告げられた時、収穫の初穂の祭りの日に、イサクが生まれた。
14 アブラハムは八日目に息子に割礼を施した。彼は永遠に定められた契約に従って割礼を受けた最初の者であった。
15 そして第 4 週の第 6 年目に、私たちはアブラハムのところ、誓いの井戸に着き、彼に現れました。[私たちがサラに言ったとおり、私たちは彼女のもとに戻り、彼女は息子を身ごもるでしょう。
16 そして私たちは七月に戻って行くと、サラが私たちの目の前で身ごもっているのを見つけた。私たちは彼を祝福し、彼に関して定められていたすべてのことを彼に告げた。すなわち、彼はさらに六人の息子をもうけるまでは死なず、死ぬ前に彼らを見るであろう。そして、イサクにおいて彼の名と子孫が呼ばれるであろう。
17 そして、彼の息子たちの子孫は皆異邦人となり、異邦人として数えられるであろう。しかし、イサクの子孫の中から一人だけが聖なる子孫となり、異邦人として数えられないであろう。
18 彼は至高者の分け前となり、彼の子孫はすべて神の所有となり、主にとってすべての国々の上に属する民となり、王国となり、祭司となり、聖なる国民となるためである。
19 そして私たちは立ち去り、サラに彼に話したことをすべて告げると、二人は非常に大いに喜んだ。
20 彼はそこで、自分を救い出し、滞在の地で自分を喜ばせてくださった主のために祭壇を築き、誓いの井戸のそばに築いた祭壇のそばで、この月の七日間、喜びの祭りを祝った。
21 彼はこの祭りの日に、自分と召使たちのために仮庵を建て、地上で最初に仮庵の祭りを祝った。
22 そして、この七日間、彼は毎日、主への燔祭として、雄牛二頭、雄羊二頭、羊七頭、雄山羊一頭を祭壇に持って来た。それは、彼自身と子孫のために罪を贖うための供え物であった。
23 また、感謝の捧げ物として、雄羊七頭、子羊七頭、羊七頭、雄山羊七頭、それらの果物の捧げ物と飲み物の捧げ物をささげ、その脂肪をすべて祭壇の上で焼いた。これは、主への香ばしい供え物として選ばれたものである。
24 彼は朝夕に、乳香、ガルバナム、スタクテ、ナルド、没薬、香料、コスタムといった香料を焚き、これら七つを砕いて等量に混ぜ合わせ、純粋なまま捧げた。
25 彼はこの祭りを七日間祝い、心と魂を尽くして喜びました。彼と彼の家にいたすべての人々は、彼と共に異邦人や割礼を受けていない者はいませんでした。
26 彼は、自分の世代に自分を創造してくださった創造主をほめたたえた。創造主は、ご自分の御心にかなうように彼を創造されたからである。創造主は、彼から永遠の世代のために義の木が生え、彼から聖なる種が生え、万物を造られた方に似た者となることを知っておられたのである。
27 彼は祝福し、喜び、この祭りを主の祭り、いと高き神に喜ばれる喜びと名付けた。
28 そして私たちは彼を永遠に祝福し、彼の子孫も地上のすべての世代にわたって祝福した。なぜなら彼は天の石板の証しに従って、定められた時期にこの祭りを祝ったからである。

29 このため、イスラエルに関する天の石板には、彼らが第七の月に七日間、主の御前に喜ばれる仮庵の祭りを喜びのうちに祝うことが定められている。これは、代々にわたって毎年守るべき永遠の定めである。
30 この日には期限がなく、イスラエルに関して、彼らはこれを祝い、仮小屋に住み、頭に花冠をかぶり、小川から葉の茂った枝や柳を取ることが永遠に定められている。
31 アブラハムはなつめやしの枝と良い木の実を取り、毎日朝にその枝を持って祭壇の周りを七回回り、喜びのうちにすべてのことについて神を賛美し、感謝した。

第 17 章

1 そして、第 5 週の第一年に、このヨベルの年にイサクは乳離れした。[1982 AM] アブラハムは、息子イサクが乳離れした第三の月に盛大な宴会を催した。
2 エジプト人ハガルの子イシュマエルが、父アブラハムの前に現れた。アブラハムは息子たちに会えたことを喜び、子を残さずに死ななかったことを神に感謝した。
3 彼は、ロトが自分と別れた日に主が自分に語られた言葉を思い出し、主が地上に子孫を与え、地を受け継がせてくださったことを喜び、万物の創造主を心から祝福した。
4 サラはイシュマエルが遊んだり踊ったりしているのを見て、アブラハムが大いに喜んでいるのを見て、イシュマエルに嫉妬し、アブラハムに言った。「この女奴隷とその息子を追い出してください。この女奴隷の息子は、私の息子イサクと共に相続人になることはありません。」
5 アブラハムは、自分の女奴隷と息子のために彼らを追い出さなければならないことが、とても辛いことだと感じた。
6 神はアブラハムに言われた。「その子と女奴隷のことで、あなたは悲しんではならない。サラがあなたに言ったことすべてに耳を傾け、それを行いなさい。イサクによってあなたの名と子孫が呼ばれるからである。」
7 しかし、この女奴隷の子は、あなたの子孫だから、わたしは彼を大いなる国民とする。」
8 アブラハムは朝早く起きて、パンと水の入った皮袋を取り、それをハガルと子供の肩に乗せて送り出した。
9 そして彼女は出発し、ベエルシェバの荒野をさまよった。すると、瓶の中の水が尽き、子供は喉が渇き、これ以上進むことができず、倒れてしまった。
10 すると、彼の母は彼を抱き上げてオリーブの木の下に投げ捨て、弓矢の射程距離ほど離れた彼の向かい側に座った。彼女は「我が子の死を見たくない」と言って、座りながら泣いた。
11 すると、神の天使、聖なる者の一人が彼女に言った。「ハガルよ、なぜ泣いているのか。起き上がり、その子を抱き上げなさい。神はあなたの声を聞き、その子をご覧になったのだ。」
12 彼女は目を開けると、井戸が見えたので、行って水筒に水を満たし、子供に飲ませてから立ち上がり、パランの荒野の方へ向かった。
13 その子は成長して弓の名手となり、神は彼と共におられた。そして彼の母はエジプトの娘たちの中から彼の妻を迎えた。
14 彼女は彼に息子を産み、彼はその子をネバイオトと名付けた。それは彼女が「私が主に祈ったとき、主は私の近くにおられた」と言ったからである。
15 そして、その年の第七週、すなわちこのヨベルの年の最初の月、その月の十二日に、アブラハムについて天から声が聞こえた。それは、アブラハムは主が告げられたすべてのことに忠実であり、主を愛し、あらゆる苦難において忠実であった、というものであった。
16 すると、マステマ王子が来て神の前に言った。「ご覧ください。アブラハムは息子イサクを愛し、何よりも彼を喜んでいます。彼にイサクを祭壇の上で焼き尽くすいけにえとしてささげるように命じてください。そうすれば、彼がこの命令を実行するかどうか、また、あなたが彼を試されるすべてのことにおいて彼が忠実であるかどうかが分かるでしょう。」
17 主はアブラハムがあらゆる苦難において忠実であったことを知っておられた。主は彼をその国と飢饉で試され、王たちの富で試され、妻が引き裂かれたときと割礼で再び試され、イシュマエルと女奴隷ハガルを彼から追い出したときも試された。
18 そして、主が彼を試されたすべてのことにおいて、彼は忠実であることがわかった。彼の心は焦らず、行動も遅くなかった。彼は忠実で、主を愛する者であった。

第 18 章

1 神は彼に言われた、「アブラハム、アブラハム」。彼は言った、「はい、ここにいます」。
2 するとイエスは言われた。「あなたが愛する息子、イサクを連れて、高い所へ行き、わたしが示す山の一つで彼をささげなさい。」
3 彼は朝早く起きてろばに鞍をつけ、二人の若者と息子イサクを連れて行き、燔祭の薪を割り、三日目にその場所へ行った。彼は遠くからその場所を見た。
4 彼は井戸に着き、若い者たちに言った。「お前たちはここでろばと一緒に待っていなさい。私とあの少年は（あちらへ）行き、礼拝を終えたら戻って来よう。」
5 彼は燔祭の薪を取り、それを息子イサクに背負わせ、火とナイフを手に持って、二人でその場所へ行った。

6 イサクは父に言った。「父上」。父は言った。「はい、息子よ」。イサクは父に言った。「火と刀と薪はありますが、燔祭のための羊はどこにおられるのですか、父上」。
7 彼は言った、「わが子よ、神はご自身のために燔祭用の羊を備えてくださるだろう。」そして彼は神の山に近づいた。
8 彼は祭壇を築き、その上に薪を置き、息子イサクを縛り、祭壇の上の薪の上に置き、息子イサクを殺すためにナイフを取ろうと手を伸ばした。
9 私は彼の前とマステマ王子の前に立った。すると主は言われた。「彼に、その少年に手をかけたり、彼に何もしたりしないように命じなさい。なぜなら、私は彼が主を畏れていることを示したからだ。」
10 そこで私は天から彼に呼びかけ、「アブラハム、アブラハム」と言った。すると彼は恐れおののき、「見よ、ここに私がいます」と言った。
11 そこで私は彼に言った。「その子に手をかけてはならない。何もしてはならない。今、私はあなたが主を畏れ、あなたの息子、あなたの長男を私に差し出すことを惜しまなかったことを示したのだ。」
12 王子マステマは恥をかかされた。アブラハムが目を上げて見ると、見よ、雄羊が角で捕らえられていた。アブラハムは行ってその雄羊を取り、息子の代わりにそれを燔祭としてささげた。
13 アブラハムはその場所を「主が見た」と名付けたので、「主が見た山」と言われるようになった。それはシオンの山である。
14 そして主は、再び天からアブラハムの名を呼び、主の名によって私たちに彼に語りかけさせるために、私たちを現れさせた。
15 すると主は言われた。「わたしは自分自身にかけて誓う。あなたがこのことを行い、あなたの息子、あなたの愛する息子をわたしに惜しまなかったから、わたしはあなたを祝福し、あなたの子孫を天の星のように、海辺の砂のように増やす。そしてあなたの子孫は敵の町々を相続し、
16 あなたの子孫によって、地のすべての国民は祝福されるであろう。あなたがわたしの声に従ったからである。わたしは、あなたがわたしに告げたすべてのことにおいて、わたしに忠実であることをすべての人に示した。「安らかに行きなさい。」
17 アブラハムは若者たちのところへ行き、彼らは立ち上がって一緒にベエルシェバへ行き、アブラハムは誓いの井戸のそばに住んだ。
18 彼は毎年この祭りを七日間喜び祝った。そして、彼が平和のうちに旅をして帰ってきた七日間にちなんで、これを主の祭りと呼んだ。
19 それゆえ、イスラエルとその子孫に関して、彼らがこの祭りを七日間、祭りの喜びをもって祝うべきことが、天の石板に定められ、記されている。

第 19 章

1 そして、第 42 ヨベルの年の第 1 週の第 1 年に、アブラハムは戻ってヘブロンの向かい側、すなわちキルヤト･アルバに住んだ。それは 2 週の年であった。
2 そして、このヨベルの年の第 3 週の初めに、サラの生涯が終わり、彼女はヘブロンで死んだ。
3 アブラハムは彼女を悼み、葬るために行った。私たちは彼の心を試して、彼が忍耐強く、口から出る言葉に憤りを感じていないか確かめた。すると彼は忍耐強く、動揺していないことがわかった。
4 彼は忍耐強くヘトの子らと語り合い、自分の死者を葬る場所を彼らに与えてもらおうとした。
5 すると主は彼を見たすべての人々の前で彼に恵みを与え、彼はヘトの子らに優しく懇願し、彼らはマムレの向かいにある二重の洞窟の土地、すなわちヘブロンを銀四百枚で彼に与えた。
6 彼らは彼に懇願して言った、「私たちはそれを無償であなたに差し上げます」。しかし彼はそれを無償で受け取ろうとはせず、その場所の代金、すなわち金銭を全額支払い、二度彼らの前にひれ伏し、その後、死者を二重の洞窟に葬った。
7 サラの生涯は百二十七年、すなわち二つのヨベルと四週間と一年であった。これがサラの生涯の年数である。
8 これはアブラハムが試された十番目の試練である。彼は忠実で、忍耐強い心を持っていることがわかった。
9 彼は、神がその地を彼とその子孫に与えると言われたという地中の噂について一言も語らず、死者を葬る場所をその地に求めた。なぜなら、彼は忠実な者と認められ、天の石板に神の友として記録されたからである。
10 その第四年に、彼は息子イサクのために妻をめとった。その名はリベカ[2020 AM][アブラハムの兄弟ナホルの子ベトエルの娘]で、ラバンの妹であり、ベトエルの娘であった。ベトエルはメルカの子で、メルカはアブラハムの兄弟ナホルの妻であった。
11 アブラハムは、3 人目の妻としてケトゥラをめとった。彼女は、サラより先にハガルが亡くなっていたので、アブラハムの家臣の娘たちの中から選ばれた。そして、彼女は 2 週間の間に、ジムラム、ヨクシャン、メダン、ミディアン、イシュバク、シュアという 6 人の息子を産んだ。
12 そしてその第二年の六週に、リベカはイサクにヤコブとエサウという二人の息子を産んだ。
13 ヤコブは滑らかで正直な人であったが、エサウは獰猛で野人の人で、毛深かった。ヤコブは天幕に住んでいた。
14 若者たちは成長し、ヤコブは文字を書くことを覚えた。しかしエサウは学ばなかった。彼は野の人であり、狩人であり、戦いを覚え、その行いはすべて残忍であった。
15 アブラハムはヤコブを愛したが、イサクはエサウを愛した。

16 アブラハムはエサウの行いを見て、ヤコブを通して自分の名と子孫が呼ばれることを知りました。そしてリベカを呼び、ヤコブについて命じました。なぜなら、リベカもエサウよりもヤコブをずっと愛していることを知っていたからです。
17 彼は彼女に言った。「わが娘よ、わが息子ヤコブを見守りなさい。彼は地上で私の代わりとなり、人の子らの間で祝福となり、セムの子孫全体の栄光となるであろう。」
18 わたしは知っている。主は地上のすべての民の中から彼を選び、ご自身の所有の民とされるであろう。
19 見よ、私の息子イサクはヤコブよりもエサウを愛しているが、私はあなたが本当にヤコブを愛していることを知っている。
20 彼に対するあなたの慈しみをさらに深め、愛をもって彼に目を向けなさい。彼は今から後、地上のすべての世代にわたって、私たちにとって祝福となるからである。
21 あなたの手を強くし、あなたの息子ヤコブを心から喜びなさい。わたしは彼を、わたしの息子たちの中で最も愛しているからだ。彼は永遠に祝福され、彼の子孫は全地に満ちるであろう。
22 もし人が地の砂を数えることができるなら、その人の子孫も数えられるであろう。
23 主が私と私の子孫に与えてくださったすべての祝福は、ヤコブとその子孫に永遠に属するであろう。
24 彼の子孫によって、わたしの名と、わたしの父祖であるセム、ノアブ、エノク、マハラレル、エノス、セツ、アダムの名が祝福されるであろう。
25 これらは天の基を据え、地を強め、大空にあるすべての光を新たにするのに役立つであろう。
26 そして彼は母リベカの前でヤコブを呼び、彼に口づけをし、祝福して言った。
27「愛する息子ヤコブよ、私の魂が愛する者よ、神が天の上からあなたを祝福し、アダム、エノク、ノア、セムに与えた祝福をあなたにも与えてくださいますように。また、神が私に告げられたすべてのこと、私に与えると約束されたすべてのことを、天と地の日々のように、あなたとあなたの子孫に永遠に結びつけさせてくださいますように。」
28 マステマの霊は、あなたやあなたの子孫を支配して、あなたをあなたの神である主から引き離すことはない。
29 主なる神が、あなたにとって、そしてあなたは長男として、また民にとって、いつまでも父であられますように。
30「息子よ、安心して行きなさい。」こうして二人はアブラハムのもとを共に去った。
31 リベカはヤコブを心から愛し、エサウよりもずっと深く愛した。しかし、イサクはエサウをヤコブよりもずっと深く愛した。

第 20 章

1 そして第 42 ヨベルの年、第 7 週の 1 年に、アブラハムはイシュマエル [2052 (2045?) AM] と彼の 12 人の息子、イサクと彼の 2 人の息子、ケトゥラの 6 人の息子、そして彼らの息子たちを召した。
2 そしてイエスは彼らに、主の道を守り、義を行い、隣人を愛し、すべての人の間でこのように行動し、それぞれが地上で正義と義を行うように歩むように命じられた。
3 彼らは、主が彼らと結ばれた契約に従って、息子たちに割礼を施し、主が私たちに命じられたすべての道から右にも左にも逸れることなく、また、あらゆる淫行と不潔から身を守り、私たちの中からあらゆる淫行と不潔を捨て去るべきである。
4 もしあなたがたの中で、女や娘が淫行を犯したなら、彼女を火で焼き殺しなさい。そして、男たちは自分の目と心に従って彼女と淫行をしてはならない。また、カナンの娘たちの中から妻をめとってはならない。カナンの子孫は地から根こそぎにされるからである。
5 そしてイエスは彼らに巨人たちの裁きとソドム人の裁きについて、彼らがその悪行のために裁かれ、淫行と不潔と淫行による相互の堕落のために死んだことを話された。
6「あなたがたは、あらゆる淫行と不潔な行い、あらゆる罪の汚れから身を守りなさい。さもないと、あなたがたはわたしたちの名を呪いとし、あなたがたの生涯全体を嘲笑の対象とし、あなたがたの息子たちは皆剣で滅ぼされ、あなたがたはソドムのように呪われ、あなたがたの残りの者は皆ゴモラの息子たちのようになるでしょう。」
7 わが子らよ、天の神を愛し、そのすべての戒めを守りなさい。偶像や汚れた行いに従って歩んではならない。
8 あなた方は自分のために鋳造した神々や彫像を作ってはならない。それらは空しいものであり、霊は宿っていない。それらは人の手によるものであり、それらに頼る者は何も頼っていないのである。
9 それらに仕えず、それらを拝んではならない。いと高き神に仕え、絶えず神を拝みなさい。常に神の御顔を望み、神の御前で正しく義を行いなさい。そうすれば、神はあなたがたを喜び、あなたがたに憐れみをかけ、朝夕に雨を降らせ、あなたがたが地上で行ったすべての業を祝福し、あなたがたのパンと水を祝福し、あなたがたの胎の実と地の産物、あなたがたの牛の群れと羊の群れを祝福してくださるでしょう。
10 あなたがたは地上の祝福となり、地上のすべての国々はあなたがたを慕い求め、わたしの名によってあなたがたの子らを祝福し、彼らがわたしのように祝福されるようにするであろう。
11 彼はイシュマエルとその息子たち、そしてケトゥラの息子たちに贈り物を与え、息子イサクから彼らを遠ざけ、すべてを息子イサクに与えた。

12 イシュマエルとその息子たち、ケトゥラの息子たちとその息子たちは共にパランからバビロンの入り口まで、東の砂漠に面した全地に住み着いた。
13 そして彼らは互いに混じり合い、彼らの名はアラブ人、またイシュマエル人と呼ばれた。

第 21 章

1 そして、このヨベルの年の第 7 週の第 6 年目に、アブラハムはイサクを息子と呼び、[2057 (2050?) AM] 彼に命じて言った、「私は年老いて、自分の死ぬ日を知らず、私の日は満ちています。
2 見よ、私は百七十五歳です。そして、私の人生のすべての日々において、私は主を覚え、心を尽くして主の御心を行い、主のすべての道において正しく歩むように努めてきました。
3 私の魂は偶像を憎み、偶像に仕える者たちを軽蔑し、私を創造された方の御心を行うために、私の心と精神を捧げました。
4 なぜなら、神は生ける神であり、聖く、真実であり、何よりも義なる方だからである。神は人の申し出も贈り物も受け入れない。神は義なる方であり、その戒めを破り、契約を軽んじる者すべてに裁きを下される。
5 わが子よ、主の戒めと定めと裁きを守り、忌まわしいもの、彫像、鋳造像に従って歩んではならない。
6 また、動物や家畜、あるいは空を飛ぶ鳥の血を一切食べてはならない。
7 もしあなたが受け入れられる平和のいけにえとして犠牲をささげるならば、それをささげ、その血を祭壇に注ぎ、ささげ物の脂肪すべてを上等の小麦粉と共に祭壇にささげ、油を混ぜた穀物のいけにえと、その飲み物のいけにえと共に、それらをすべて燔祭の祭壇にささげなさい。それは主の御前で香ばしい香りである。
8 あなたは感謝のいけにえの脂肪を祭壇の上の火の上にささげ、腹の脂肪、内臓のすべての脂肪、二つの腎臓、それらの上にあるすべての脂肪、腰と肝臓の脂肪を腎臓と共に取り除く。
9 そして、これらすべてを主の御前に喜ばれる香ばしい供え物としてささげなさい。穀物の供え物とぶどう酒の供え物と共に、香ばしい供え物として、主への供え物のパンをささげなさい。
10 その肉はその日と二日目に食べなさい。二日目には日が沈む前に食べ終え、三日目に残してはならない。それは受け入れられない（認められない）ので、もう食べてはならない。それを食べる者は皆、罪を犯すことになる。これは私の先祖の書物、エノクの言葉、ノアの言葉に書かれているのを見つけたからである。
11 あなたはすべての供え物の上に塩をまき散らし、主の御前で捧げるすべての供え物に契約の塩が欠けてはならない。
12 また、供え物の木材に関しては、これらの木材（糸杉、月桂樹、アーモンド、もみ、松、杉、サビン、いちじく、オリーブ、没薬、月桂樹、アスパラトス）以外に祭壇に他の木材を持ってこないように注意しなさい。
13 そして、これらの種類の木材のうち、外観が検査されたものを祭壇の供え物の下に置きなさい。割れた木材や黒ずんだ木材を置いてはならない。硬くて清く、欠点のない、健全で新しい木材を置きなさい。古い木材を置いてはならない。古い木材は香りが失われているからである。
14 これらの種類の木材以外に、祭壇に置くべき木材はない。香りが広がり、その香りは天にまで届かないからである。
15 わが子よ、この戒めを守り、それを行いなさい。そうすれば、あなたはすべての行いにおいて正しくなるであろう。
16 常に体を清く保ち、祭壇に近づく前に水で身を洗い、祭壇に近づく前に手と足を洗いなさい。また、いけにえをささげ終えたら、再び手と足を洗いなさい。
17 血があなたにもあなたの衣服にも付かないように。わが子よ、血に気をつけなさい。非常に気をつけなさい。それを塵で覆いなさい。
18 血を食べてはならない。それは魂だからである。どんな血も食べてはならない。
19 人の血の代償として贈り物を受け取ってはならない。さもないと、人の血は罰せられずに流されてしまうからである。流される血が地を罪に陥れるのであり、地は人の血から清められるには、それを流した者の血による以外にはない。
20 人の血に対して、贈り物や贈り物を受け取ってはならない。血には血で償ってはならない。そうすれば、いと高き神、主の御前に受け入れられるであろう。主は善人の守り手であり、あなたがあらゆる悪から守られ、あらゆる死から救われるであろう。
21 わが子よ、わたしは人の子らのすべての行いが罪と悪であり、彼らのすべての行いが汚れと忌まわしいもの、汚辱であり、彼らには義がないことを悟る。
22 彼らの道に歩み、彼らの小道を踏み、いと高き神の前で死に至る罪を犯さないように気をつけなさい。さもなければ、神はあなたから顔を隠し、あなたを再びあなたの罪の手に返し、あなたをこの地から、またあなたの子孫を天の下から根こそぎにし、あなたの名とあなたの子孫は全地から滅びるであろう。
23 彼らのすべての行いとすべての汚れから離れ、いと高き神の定めを守り、神の御心を行い、すべてのことにおいて正しくありなさい。
24 主はあなたのすべての行いを祝福し、あなたから義の苗木を全地、地のすべての世代にわたって起こされるであろう。わたしの名とあなたの名は、天の下で永遠に忘れられることはないであろう。
25 わが子よ、安らかに行きなさい。いと高き神、わが神、そしてあなたの神が、あなたに御心を行う力

を与え、あなたのすべての子孫と、代々にわたるあなたの子孫の残りの者たちを、あらゆる正しい祝福で永遠に祝福してくださいますように。あなたが全地にとって祝福となりますように。
26 彼は喜びながら彼のもとを去った。

第 22 章

1 ヨベルの第４４年の第一週、すなわちアブラハムが死んだ第二年、イサクとイシュマエルは誓いの井戸から、七週の祭り、すなわち初穂の祭りを祝うために父アブラハムのところにやって来た。アブラハムは二人の息子が来たので喜んだ。
2 イサクはベエルシェバに多くの財産を持っており、イサクは自分の財産を見に行って父のもとに戻るのが常であった。
3 その頃、イシュマエルは父に会いに来た。二人は一緒に行き、イサクは燔祭としていけにえをささげ、ヘブロンに作った父の祭壇にそれをささげた。
4 彼は感謝の捧げ物をささげ、兄弟イシュマエルの前で喜びの宴を催した。リベカは新しい穀物で新しいパンを作り、それを息子ヤコブに渡して、父アブラハムに持って行かせた。それは、その地の初穂からであり、アブラハムが死ぬ前にそれを食べて万物の創造主を祝福するためであった。
5 イサクもまた、ヤコブの手によってアブラハムに最高の感謝の捧げ物を送り、彼が食べたり飲んだりできるようにした。
6 彼は食べて飲んで、いと高き神を賛美した。天と地を創造し、地上のあらゆる豊かなものを造り、それを人の子らに与え、彼らが食べたり飲んだりして、創造主を賛美するためである。
7「今、わが神よ、あなたに感謝いたします。あなたがわたしにこの日を見させてくださったからです。見よ、わたしは百六十五歳、老齢で満ち足りた日々を送っており、わたしのすべての日々は平安でした。」
8 敵の剣は、あなたが私と私の子供たちに与えてくださったすべてのものにおいて、今日まで私の生涯を通して、私に打ち勝つことはできませんでした。
9 わが神よ、あなたの憐れみと平和が、あなたのしもべと、その子孫の上にありますように。彼らが、今から地のすべての世代の終わりまで、世々限りなく、あなたにとって、地のすべての国民の中から選ばれた民、相続地となりますように。
10 すると神はヤコブを呼び、「わが子ヤコブよ、万物の神があなたを祝福し、あなたが義を行い、御前に御心を行うよう力づけ、あなたとあなたの子孫を選び、あなたがたが常に御心に従って神の嗣業の民となるように」と言った。
11「わが子ヤコブよ、近づいて私に口づけしなさい。」彼は近づいて口づけし、こう言った。「わが子ヤコブよ、そしていと高き神のすべての子らは、世々限りなく祝福されますように。神があなたに義の種を与え、あなたの子らのうち何人かを全地の中で聖別されますように。諸国があなたに仕え、すべての国々があなたの子孫の前にひれ伏しますように。」
12 人々の前で強くあれ。セツの子孫すべてを支配せよ。そうすれば、あなたの行いとあなたの子らの行いは正当化され、彼らは聖なる国民となるであろう。
13 いと高き神が、私に与えてくださった祝福、そしてノアとアダムに与えてくださった祝福を、あなたにも与えてくださいますように。それらが、あなたの聖なる子孫の頭上に、代々永遠に続きますように。
14 主があなたをすべての不正と汚れから清め、あなたが無知ゆえに犯したすべての罪を赦してくださいますように。主があなたを強くし、あなたを祝福してくださいますように。そして、あなたが全地を受け継ぐことができますように。
15 主があなたとの契約を新たにされますように。あなたが主にとって永遠の嗣業の民となり、主があなたとあなたの子孫にとって、地の果てまで真実と正義の神となりますように。
16 わが子ヤコブよ、わたしの言葉を心に留め、あなたの父アブラハムの戒めを守りなさい。諸国民から離れ、彼らと共に食事をしてはならない。彼らの行いに従ってはならず、彼らと交わってはならない。彼らの行いは汚れており、彼らのすべての道は汚れであり、忌まわしく、不浄だからである。
17 彼らは死者にいけにえを捧げ、悪霊を拝み、墓の上で食事をする。彼らの行いはすべてむなしく、無に等しい。
18 彼らには理解する心がなく、彼らの目は自分たちの行いが何であるかを見ようとしない。彼らは木片に向かって「あなたは私の神です」と言い、石に向かって「あなたは私の主であり、私の救い主です」と言うが、それは誤りである。[彼らには心がない。]
19 わが子ヤコブよ、いと高き神があなたを助け、天の神があなたを祝福し、彼らの汚れとすべての誤りからあなたを遠ざけてくださいますように。
20 わが子ヤコブよ、カナンの娘たちの子孫の中から妻を娶ってはならない。彼らの子孫は皆、地から根こそぎにされるからだ。
21 ハムの罪のためにカナンは誤りを犯したので、彼の子孫はすべて地から滅ぼされ、残りの者もすべて滅ぼされる。裁きの日には、彼から生まれた者は一人も救われない。
22 そして偶像を拝む者と俗なる者すべては
（a）彼らには生きている者の地で希望はない。
（b）地上には彼らの記憶は残らないであろう。
（c）彼らは陰府に下り、
（d）そして彼らは断罪の場所へ行き、
ソドムの子らが地上から滅ぼされたように、偶像を拝む者も皆滅ぼされるであろう。
23 わが子ヤコブよ、恐れるな。アブラハムの子よ、落胆するな。いと高き神があなたを滅びから守り、

すべての誤りの道からあなたを救い出してくださいますように。
24 わたしはこの家を自分のために建てた。それは、わたしの名をこの地に記すためである。[それはあなたとあなたの子孫に永遠に与えられる。] それはアブラハムの家と呼ばれるであろう。それはあなたとあなたの子孫に永遠に与えられる。あなたはわたしの家を建て、わたしの名を神の前に永遠に確立するであろう。あなたの子孫とあなたの名は、地のすべての世代にわたって立つであろう。」
25 そして彼は彼に命じることも祝福することもやめた。
26 二人は一つの寝床に横になり、ヤコブは父の父であるアブラハムの胸の中で眠り、アブラハムはヤコブに七度口づけをした。そして、ヤコブへの愛情と心の喜びは、ヤコブを喜んだ。
27 彼は心から彼を祝福して言った。「いと高き神、万物の神、万物の創造主は、私をカルデアのウルから連れ出し、この地を私に与えて永遠に相続させ、聖なる子孫を築かせるためです。いと高き神は永遠に祝福されますように。」
28 すると主はヤコブを祝福して言われた。「わが子よ、わたしは心から彼を喜び、愛している。あなたの恵みと慈しみが、彼と彼の子孫の上に常にありますように。」
29 どうか彼を見捨てず、永遠の昔から彼を軽んじず、彼とその子孫の上に目を向け、彼を守り、祝福し、あなたの嗣業として彼を聖別してください。
30 どうか、今から永遠の日々に至るまで、彼をあなたのあらゆる祝福で祝福し、あなたの御心にかなうとおり、彼とその子孫との間に、地のすべての世代にわたって、あなたの契約と恵みを新たにしてください。」

第 23 章

1 彼はヤコブの二本の指を彼の目に当て、神々の神を祝福し、顔を覆い、足を伸ばして永遠の眠りにつき、先祖のもとに集められた。
2 それにもかかわらず、ヤコブは懐に横たわっており、父の父であるアブラハムが死んだことを知らなかった。
3 ヤコブは眠りから覚めると、アブラハムが氷のように冷たくなっていた。彼は「父よ、父よ」と言ったが、返事をする者は誰もいなかった。彼はアブラハムが死んだことを悟った。
4 彼は胸から起き上がり、走って母リベカに告げた。リベカは夜中にイサクのところへ行き、彼に告げた。二人は一緒に行き、ヤコブも一緒に行った。ヤコブは手にランプを持っていた。中に入ると、アブラハムが死んでいるのを見つけた。
5 イサクは父の顔にひれ伏して泣き、父に口づけをした。
6 アブラハムの家で声が聞こえ、その子イシュマエルは立ち上がり、父アブラハムのところへ行き、父アブラハムのために泣き、彼とアブラハムの家族全員は大声で泣きました。
7 そして、アブラハムの息子イサクとイシュマエルは、妻サラのそばの二重の洞窟に彼を葬り、彼の家の男たち全員、イサクとイシュマエル、彼らの息子たち全員、そしてケトゥラの息子たち全員がそれぞれの場所で、四十日間彼のために泣き続けた。こうして、アブラハムのために泣く日々は終わった。
8 彼は 3 つのヨベルと 4 週間、すなわち 175 年間生き、その生涯を全うし、老いて満ち足りた日々を送った。
9 先祖たちの生涯は 19 ヨベルであったが、洪水の後、彼らは 19 ヨベルより短くなり、ヨベルの数が減り、急速に老いていき、アブラハムを除いて、様々な苦難と悪行のために、その寿命が満ち溢れた。
10 アブラハムは、生涯を通して主に対してすべての行いにおいて完全であり、義において喜ばれる者であった。しかし見よ、彼は悪行のために年老いて満ち足りた年齢になったとき、四ヨベルの年を全うしなかった。
11 そして、この時から大いなる裁きの日までに生じるすべての世代は、2 つのヨベルの年を終える前に急速に老い、老齢のために知識を失い、その知識はすべて消え去るであろう。
12 その日には、人がヨベルの年半を生きたとしても、人々は彼についてこう言うだろう。「彼は長生きしたが、その日の大部分は苦痛と悲しみと苦難であり、平和はない。
13 災難は災難に次ぎ、傷は傷に次ぎ、苦難は苦難に次ぎ、悪い知らせは悪い知らせに次ぎ、病気は病気に次ぎ、病気と滅亡、雪と霜と氷、熱と悪寒と倦怠感、飢饉と死と剣と捕囚、その他あらゆる災難と苦痛が、次々と起こるのです。
14 これらすべては、地上で罪を犯す邪悪な世代に起こるであろう。彼らの行いは、不潔と淫行と汚れと忌まわしいことである。
15 そのとき、彼らは言うであろう。「先祖の時代は長く、千年にも及び、良い時代であった。しかし、見よ、私たちの人生の日々は、たとえ人が長く生きたとしても、七十年であり、もし彼が強ければ八十年である。そして、その日々は悪く、この邪悪な世代の時代には平和がない。」
16 その世代において、子らは父たちと年長者たちの罪と不正、彼らの口から出た言葉と彼らが犯した大きな悪行、そして主が彼らと主との間に結ばれた契約、すなわち主のすべての戒めと定めと律法を守り行い、右にも左にも逸れることなく行うという契約を彼らが破棄したことについて、彼らを告発するであろう。
17 すべての人は悪を行い、すべての口は不義を語り、彼らの行いはすべて汚れであり忌まわしいものであり、彼らの道はすべて汚れであり、不浄であり、滅びである。

18 見よ、彼らのすべての行いのゆえに地は滅び、ぶどうの木の種も油もなくなる。彼らの行いは全く不誠実だからである。獣も家畜も鳥も海の魚もすべて、人の子らのゆえに共に滅びるであろう。
19 彼らは律法と契約のゆえに互いに争い、若者は老人と、老人は若者と、貧しい者は富める者と、身分の低い者は高い者と、乞食は君主と争うであろう。彼らは戒めと契約と祭りと月と安息日とヨベルの年とすべての裁きを忘れてしまったからである。
20 彼らは弓と剣と戦いをもって立ち向かい、彼らを元の道に戻そうとする。しかし、地上で多くの血が流されるまでは、彼らは戻らないだろう。
21 そして、逃れた者たちは、その悪行から義の道に戻らず、皆、欺瞞と富に身を傾け、隣人のものをすべて奪い、偉大な名を唱えるが、それは真実でも義でもない。そして、彼らはその汚れと腐敗によって至聖所を汚すであろう。
22 そして、この世代の行いに対して主から大きな罰が下るであろう。主は彼らを剣と裁きと捕囚に引き渡し、略奪と食い尽くしにされるであろう。
23 すると、神は彼らに対して異邦人の罪人たちを起こして、憐れみも慈しみもなく、老人も若者も誰一人として尊重しない者たちを起こされる。彼らはすべての人々の中で最も邪悪で、悪を行う力を持っているからである。彼らはイスラエルに対して暴力を振るい、ヤコブに対して罪を犯すであろう。そして、地上には多くの血が流されるであろう。しかし、それを集める者も葬る者もいないであろう。
24 その日には、人々は大声で叫び、罪人である異邦人の手から救われるようにと祈り求めるが、救われる者は一人もいない。
25 子供たちの頭は白髪で覆われ、生後 3 週間の子供が百歳の老人のように見える。彼らの背丈は苦難と圧迫によって損なわれる。
26 その日には、子供たちは律法を学び始め、戒めを求め、義の道に戻るであろう。
27 そして、人の子らの間で日数は増え始め、千年に近づくまでになる。その日数は、以前の日数よりも多くなる。
28 老人は一人もおらず、自分の日々に満足しない者もいない。皆、子供や若者のようになるからである。
29 彼らは生涯を全うし、平和と喜びの中で生きる。サタンも、悪しき破壊者もいない。彼らの生涯は祝福と癒しの日々となる。
30 その時、主はしもべたちを癒し、彼らは立ち上がり、大きな平和を見て、敵を追い払うであろう。義人はそれを見て感謝し、永遠に喜びにあふれ、敵に対する自分たちの裁きと呪いをすべて見るであろう。
31 彼らの骨は地に安らぎ、彼らの霊は大いに喜び、彼らは主が裁きを行い、幾千幾万にも、また主を愛するすべての人に憐れみを施されることを知るであろう。
32 モーセよ、これらの言葉を書き記しなさい。これらはこのように書かれ、永遠の世代への証しとして天の石板に記録されるのだから。

第 24 章

1 アブラハムの死後、主は彼の息子イサクを祝福し、彼はヘブロンから出て行き、このヨベルの年の第 3 週の第 1 年（7 年）に幻の井戸のそばに住んだ。
2 そして第四週の第一年に、アブラハムの時代にあった最初の飢饉に加えて、その地に飢饉が始まった。
3 ヤコブがレンズ豆の煮物を作っていると、エサウが空腹のまま畑から帰ってきた。そして兄のヤコブに言った。「この赤い煮物を少し分けてくれ。」ヤコブは彼に言った。「お前の長子相続権を私に売ってくれれば、パンとこのレンズ豆の煮物を少し分けてやろう。」
4 エサウは心の中で言った。「私は死ぬ。この長子の権利が私にとって何の益になるだろうか。
5「すると彼はヤコブに言った。『私はそれをあなたにあげよう。』ヤコブは言った。『今日、私に誓ってください。』そして彼は彼に誓った。
6 ヤコブは兄エサウにパンと煮物を与え、エサウは満腹になるまで食べた。エサウは長子の権利を軽んじた。ヤコブが長子の権利として与えた赤い煮物のせいで、エサウの名はエドムと呼ばれるようになった。
7 こうしてヤコブは長男となり、エサウは地位を失った。
8 飢饉が国中に広がり、イサクは今週の二年目にエジプトへ下って行き、ペリシテ人の王ゲラルのアビメレクのところへ行った。
9 すると主は彼に現れて言われた。「エジプトに下ってはならない。わたしがあなたに告げる地に住み、この地に滞在せよ。わたしはあなたと共にいて、あなたを祝福する。」
10 わたしはあなたとあなたの子孫にこの地すべてを与え、あなたの父アブラハムに誓ったわたしの誓いを成就し、あなたの子孫を天の星のように増やし、この地すべてをあなたの子孫に与える。
11 あなたの子孫によって、地のすべての国民は祝福されるであろう。あなたの父がわたしの声に従い、わたしの命令と戒めと律法と定めと契約を守ったからである。今、わたしの声に従い、この地に住みなさい。」
12 彼はゲラルに 3 週間滞在した。
13 アビメレクは彼と彼の所有物すべてについて、「彼や彼の所有物に触れる者は必ず死ぬ」と命じた。
14 イサクはペリシテ人の間で勢力を拡大し、多くの財産、牛、羊、らくだ、ろば、そして大家族を得た。
15 彼はペリシテ人の地に種を蒔き、百倍の収穫を得た。イサクは非常に成功し、ペリシテ人は彼を妬んだ。

16 さて、アブラハムのしもべたちがアブラハムの生前に掘った井戸はすべて、アブラハムの死後、ペリシテ人が塞いで土で埋めてしまった。
17 アビメレクはイサクに言った。「我々のところから出て行きなさい。あなたは我々よりはるかに力があるからだ。」そこでイサクは第七週の第一年にそこを去り、ゲラルの谷に滞在した。
18 そして彼らは、父アブラハムのしもべたちが掘った井戸を再び掘り、父アブラハムの死後、ペリシテ人がそれらを塞いでいた。そして、父アブラハムがつけた名前でそれらを名付けた。
19 イサクのしもべたちが谷で井戸を掘ると、生ける水が湧き出た。ゲラルの羊飼いたちはイサクの羊飼いたちと争い、「この水は我々のものだ」と言った。イサクはその井戸を「ひねり」と名付けた。彼らが我々に対してひねくれたからである。
20 そして彼らは二つ目の井戸を掘ったが、それも争って掘ったので、彼はそれを「敵意」と名付けた。それから彼はそこから立ち上がり、彼らはまた別の井戸を掘ったが、今度は争わなかった。彼はそれを「場所」と名付けた。そしてイサクは言った。「今や主は私たちのために場所を用意してくださり、私たちはこの地で増えました。」
21 彼はそこから、第 44 ヨベルの年の第 1 週の第 1 年に誓いの井戸へ上って行った。
22 主は、第一の月の新月の夜に彼に現れて言われた。「わたしはあなたの父アブラハムの神である。恐れるな。わたしはあなたと共にいる。わたしはあなたを祝福し、わたしのしもべアブラハムのために、あなたの子孫を地の砂のように増やすであろう。」
23 彼はそこに祭壇を築き、それは彼の父アブラハムが最初に築いたものであった。そして彼は主の名を呼び、彼の父アブラハムの神にいけにえをささげた。
24 そして彼らは井戸を掘り、生きた水を見つけた。
25 イサクのしもべたちは別の井戸を掘ったが、水は見つからなかった。彼らはイサクのところへ行って、水が見つからなかったことを告げた。イサクは言った。「私は今日ペリシテ人に誓った。このことは私たちに告げられたのだ。」
26 彼はその場所を誓いの井戸と名付けた。そこで彼はアビメレクと友のアフザトと総督のピコル、あるいは彼の宿主に対して誓いを立てたからである。
27 イサクはその日、自分が強制されて彼らと和解することを誓ったことを知った。
28 その日、イサクはペリシテ人を呪って言った。「ペリシテ人は、すべての国々の中から、怒りと憤りの日まで呪われよ。神は彼らを、罪人である異邦人とキッティム人の手の中で、嘲りと呪いと怒りと憤りの対象とせよ。」
29 敵とキッティムの剣から逃れた者は誰であれ、正義の民が天の下から裁きによって根絶やしにするであろう。彼らは地上で代々にわたってわたしの子供たちの敵となるからである。
30 彼らには残りの者は一人も残されず、裁きの怒りの日に救われる者も一人も残されない。ペリシテ人の子孫は皆、滅ぼされ、根絶され、地から追放されるからである。このカフトリムには、もはや地上に名も子孫も残されない。
31 たとえ天に昇っても、そこから引きずり下ろされ、地上で強大になっても、そこから引きずり出され、諸国の民の中に身を隠しても、そこから根こそぎにされ、陰府に下っても、そこでも大きな裁きを受け、そこでも安息はない。
32 もし彼が捕虜になるなら、彼の命を狙う者たちの手によって、道中で殺されるであろう。そして、地上のどこにも彼の名も子孫も残らないであろう。彼は永遠の呪いの中へと去っていくであろう。」
33 こうして、天の石板に彼について書かれ、刻まれている。それは、裁きの日に彼に行うべきこと、すなわち、彼が地から根こそぎにされることである。

第 25 章

1 そして、このヨベルの年のこの週の二年目に、リベカはヤコブを息子と呼び、彼にこう言った。「わが子よ、あなたの兄エサウのように、カナンの娘たちの中から妻をめとってはならない。エサウはカナンの娘たちの中から二人の妻をめとったが、彼女たちはすべての不潔な行いで私の心を苦しめた。彼女たちの行いはすべて淫行と情欲であり、彼女たちには義がなく、悪である。」
2 わが子よ、わたしはあなたをこの上なく愛しており、わたしの心と愛情は昼夜を問わずあなたを祝福している。
3 さあ、わが子よ、私の声に耳を傾け、母の意志に従いなさい。この地の娘たちの中から妻を娶ってはならない。ただ、わが父の家系、わが父の親族の中から妻を娶りなさい。わが父の家系から妻を娶れば、いと高き神はあなたを祝福し、あなたの子孫は義なる世代、聖なる子孫となるであろう。
4 ヤコブは母リベカに話しかけて言った。「母上、私はまだ九週間ですが、女を知りませんし、女に触れたこともありません。婚約したこともありませんし、カナンの娘たちを妻にしようと考えたこともありません。
5 母上、私は父アブラハムの言葉を覚えています。父は私に、カナンの娘たちの中から妻を娶ってはならない、父の家系、私の親族の中から妻を娶るようにと命じられました。
6 私は以前から、あなたの兄弟ラバンに娘たちが生まれたと聞いており、彼女たちの中から妻を娶ろうと心に決めている。
7 こうした理由から、私は生涯を通じて、自分の霊において、罪を犯したり、あらゆる道で堕落したりしないように気をつけてきました。なぜなら、情欲と淫行に関して、私の父アブラハムは私に多くの戒めを与えたからです。

8 そして、兄は私に命じたことすべてにもかかわらず、この二十二年間、私と争い、何度も私に話しかけては、「兄さん、私の二人の妻のうちの妹を妻に迎えなさい」と言いました。しかし、私は兄の言うとおりにすることを拒みます。
9 母上、私はあなたの前で誓います。私は生涯、カナンの子孫の娘たちの中から妻を娶ることはなく、兄がしたような悪事を働くことも決してしません。
10 母上、ご心配なさらないでください。私はあなたの御心を行い、正しく歩み、決して道を誤ることはありません。
11 そこで彼女は顔を天に向けて両手の指を伸ばし、口を開いて天と地を創造されたいと高き神を祝福し、感謝と賛美をささげた。
12 彼女は言った。「主なる神はほめたたえられますように。その聖なる御名はとこしえにほめたたえられますように。主はヤコブを清い息子、聖なる子孫として私に与えてくださいました。彼はあなたのものです。そして、彼の子孫は代々、永遠にあなたのものです。」
13 主よ、彼を祝福してください。そして、私の口に義の祝福を与えてください。そうすれば、私も彼を祝福することができます。」
14 その時、義の霊が彼女の口に下ったので、彼女は両手をヤコブの頭に置いて言った。
15 祝福されし正義の主、永遠の神よ。主があなたを幾世代にもわたって祝福してくださいますように。わが子よ、主があなたに正義の道を与え、あなたの子孫に正義を現してくださいますように。
16 あなたの生涯の間、あなたの息子たちが数多く生まれ、彼らが一年の月の数ほど増えますように。彼らの息子たちが天の星よりも多く、偉大になり、その数が海の砂よりも多くなりますように。
17 そして、主がアブラハムとその子孫に永遠に与えると言われたとおり、この良い土地を彼らに与え、彼らがそれを永遠に所有することができますように。
18 わが子よ、私の生きている間に、あなたに祝福された子らが生まれるのを見ますように。そして、あなたの子孫すべてが祝福され、聖なる子孫となりますように。
19 あなたは母の生涯を通してその心を慰め、あなたを産んだ母の胎内はあなたを祝福し、私の愛情と乳房はあなたを祝福し、私の口と舌はあなたを大いに称賛します。
20 増え広がり、地上に広がり、あなたの子孫が天と地の喜びの中で永遠に完全であり、あなたの子孫が喜び、平和の大いなる日に平和を得ますように。
21 あなたの名と子孫が世々限りなく続き、いと高き神が彼らの神となり、義の神が彼らと共に住み、彼らによって神の聖所が世々限りなく建てられますように。
22 あなたを祝福する者は幸いなり。偽りの呪いをかける者は皆呪われる。
23 彼女は彼に口づけをして言った。「あなたの母の心と愛情があなたを喜び、あなたを祝福するように、世界の主があなたを愛し、祝福してくださいますように。」そして彼女は祝福を終えた。

第 26 章

1 そしてこの週の七年目に、イサクは長男のエサウを呼び、彼に言った。「わが子よ、私は年老いて、見よ、私の目はかすんで見えにくくなり、いつ死ぬのかもわからない。
2 さあ、お前の狩猟道具、矢筒と弓を持って野原へ行き、狩りをして私のために（鹿肉を）捕まえ、私の魂が愛するような美味しい料理を作って持ってきてくれ。そうすれば、私はそれを食べ、死ぬ前にお前を祝福することができるだろう。
3 しかし、リベカはイサクがエサウと話しているのを聞いた。
4 エサウは朝早くから野原へ狩りに出かけ、獲物を捕らえて父のもとへ持ち帰った。
5 リベカは息子ヤコブを呼び、彼に言った。「見よ、私はあなたの父イサクがあなたの兄エサウにこう言っているのを聞きました。『私のために狩りをして、おいしい肉を作って持ってきてください。
6「わたしは死ぬ前に、主の前であなたを食べて祝福することができる。」 さあ、わが子よ、わたしが命じることにわたしの声に従いなさい。あなたの羊の群れに行って、良い子山羊を二匹連れてきなさい。わたしはそれをあなたの父のために、彼が好むようなおいしい肉にしてあげよう。あなたはそれをあなたの父に持って行きなさい。そうすれば、父は死ぬ前に主の前であなたを食べて祝福することができ、あなたも祝福されるであろう。」
7 ヤコブは母リベカに言った。「母上、父が食べたいもの、父が喜ぶものは何でも差し控えません。ただ、母上、父が私の声に気づいて私に触れたがるのではないかと心配です。
8 あなたはご存じのように、私はつるつるしており、私の兄エサウは毛深いのです。私は彼の目に悪人のように見え、彼が命じていないことを行うでしょう。彼は私に怒り、私は祝福ではなく呪いを招くでしょう。」
9 すると、彼の母リベカは彼に言った。「息子よ、私の言うことだけを聞きなさい。呪いは私にかかっても構わない。」
10 ヤコブは母リベカの声に従い、行って二匹の大きくてふっくらした子ヤギを連れてきて、母のところへ持って行った。母はヤコブの好むようなおいしい肉を作ってくれた。
11 リベカは、長男エサウの立派な衣を取り、それを家に置いて、次男ヤコブに着せ、ヤギの皮を彼の手と首の露出した部分に巻きつけた。
12 そして彼女は、用意した肉とパンを息子ヤコブの手に渡した。

13 ヤコブは父のところへ行き、「私はあなたの息子
です。あなたが命じられたとおりにしました。父よ、
起きて座って、私が捕ったものを食べてください。
そうすれば、あなたは私を祝福してくださるでしょ
う」と言った。
14 イサクは息子に言った。「息子よ、どうしてこん
なに早く見つけたのか。
15 ヤコブは言った。「あなたの神、主が私にそれを
見つけさせたからです。」
16 イサクは彼に言った。「近づきなさい。お前が私
の息子エサウであるかどうか、確かめたいのだ。」
17 ヤコブは父イサクに近づき、彼に触れて言った。
「声はヤコブの声だが、手はエサウの手だ。」
18 彼は彼を見分けられなかった。それは、彼の知覚
力を奪うことが天からの命令であったからである。
イサクも見分けられなかった。彼の両手は兄エサウ
のように毛深かったので、彼は彼を祝福した。
19 彼は言った。「お前は私の息子エサウか。」彼は
言った。「私はあなたの息子です。」彼は言った。
「息子よ、お前が捕ったものを私のそばに持って来
なさい。私がそれを食べられるように。そうすれば、
私の魂はお前を祝福するだろう。」
20 彼はそれを彼のそばに持って行き、彼はそれを食
べた。また、彼は彼にぶどう酒を持って行き、彼は
それを飲んだ。
21 すると、父イサクは彼に言った。「息子よ、近づ
いて私に口づけしなさい。
22 彼は近づいて彼に口づけをした。そして彼の衣の
香りを嗅ぎ、彼を祝福して言った。「見よ、わが子
の香りは、主が祝福された豊かな畑の香りのようだ。
23 主があなたに天の露と地の露、そして豊かな穀物
と油を与えてくださいますように。諸国民があなた
に仕え、民があなたにひれ伏しますように。
24 あなたは兄弟たちの主となり、あなたの母の子ら
はあなたにひれ伏すであろう。主が私と私の父アブ
ラハムに与えてくださったすべての祝福が、あなた
とあなたの子孫に永遠に与えられるように。あなた
を呪う者は呪われ、あなたを祝福する者は祝福され
るであろう。
25 イサクが息子ヤコブを祝福し終えると、ヤコブは
父イサクのもとを出て身を隠し、兄エサウが狩りか
ら帰ってきた。
26 彼はまた、風味豊かな肉料理を作り、父のところ
に持って行き、父に言った。「父上、起きて私の鹿
肉を食べてください。そうすれば、父上は私を祝福
してくださるでしょう。」
27 すると、父イサクは彼に言った。「お前は誰だ？」
彼は彼に言った。「私はあなたの長男、あなたの息
子エサウです。私はあなたが命じられたとおりにし
ました。」
28 イサクは非常に驚いて言った。「いったい誰が狩
りをして捕まえて、私に持ってきてくれたのか。あ
なたが来る前に私はそのすべてを食べて、彼を祝福
した。彼は祝福され、彼の子孫も永遠に祝福される
であろう。」
29 エサウは父イサクの言葉を聞くと、非常に大きな、
激しい叫び声をあげて父に言った。「父よ、私をも
祝福してください。」
30 すると彼は彼に言った。「あなたの兄は策略を用
いてやって来て、あなたの祝福を奪い取った。」す
ると彼は言った。「今、私は彼の名がヤコブと呼ば
れる理由がわかった。見よ、彼は二度も私を出し抜
いた。彼は私の長子の権利を奪い、今度は私の祝福
を奪い取ったのだ。」
31 彼は言った。「父よ、あなたは私に祝福を残して
おかなかったのですか。」イサクはエサウに答えて
言った。「見よ、私は彼をあなたの主人とし、彼の
兄弟たちを皆、彼のしもべとして与え、穀物とぶど
う酒と油を豊かに与えて彼を強くした。さあ、息子
よ、今度はあなたのために何をしてあげようか。」
32 エサウは父イサクに言った。「父よ、あなたは祝
福を一つしか持っていないのですか。父よ、私にも
祝福を与えてください。」
33 エサウは声を上げて泣いた。イサクは答えて彼に
言った。「見よ、あなたの住まいは地の露から遠く
離れ、天の露からも遠く離れるであろう。
34 あなたは剣によって生き、兄弟に仕えるであろう。
あなたが偉大になり、彼のくびきを首から振り払う
とき、あなたは死に至るほどの罪を犯し、あなたの
子孫は天の下から根こそぎにされるであろう。
35 エサウは、ヤコブの父が彼に与えた祝福のゆえに、
ヤコブを脅し続け、心の中でこう言った。「父の喪
に服する日が来たら、兄ヤコブを殺そう。」

第 27 章

1 そして、長男エサウの言葉が夢の中でリベカに告げ
られたので、リベカは人を遣わして次男ヤコブを呼
び寄せ、
2 そして彼に言った。「見よ、あなたの兄エサウはあ
なたに復讐してあなたを殺すだろう。
3 さあ、わが子よ、わたしの声に従い、立ち上がって、
わが兄弟ラバンのいるハランへ逃げなさい。そして、
兄弟の怒りが収まり、彼があなたへの怒りを鎮め、
あなたのしたことをすべて忘れるまで、数日間彼の
もとに滞在しなさい。そうすれば、わたしは人を遣
わして、そこからあなたを迎えに行こう。」
4 ヤコブは言った。「私は恐れません。もし彼が私を
殺そうとするなら、私が彼を殺します。」
5 しかし彼女は彼に言った。「どうか、一日で二人の
息子を失うようなことはしないでください。」
6 ヤコブは母リベカに言った。「ご存じのとおり、父
は年老いて目がかすんで見えなくなっています。も
し私が父のもとを離れれば、父はそれを悪とみなす
でしょう。私が父のもとを離れ、あなたから離れて
いくのですから。父は怒り、私を呪うでしょう。私

は行きません。父が私を遣わす時だけ、私は行きます。」
7 リベカはヤコブに言った。「私が行って彼に話します。そうすれば彼はあなたを送り出してくれるでしょう。」
8 リベカはイサクのところへ行き、「エサウが妻として娶ったヘトの二人の娘のせいで、私は自分の命を憎んでいます。もしヤコブがこのような地の娘たちの中から妻を娶るなら、私は何のために生きているのでしょうか。カナンの娘たちは悪女ですから」と言った。
9 イサクはヤコブを呼び、彼を祝福し、忠告して言った。「カナンの娘たちの中から妻をめとってはならない。
10 立ち上がってメソポタミアに行き、あなたの母の父であるベトエルの家に行き、そこからあなたの母の兄弟であるラバンの娘たちの中から妻を迎えなさい。
11 全能の神があなたを祝福し、あなたを増やし、多くの国民の集まりとなるようにし、わたしの父アブラハムの祝福をあなたとあなたの子孫に与え、あなたが滞在した土地と、神がアブラハムに与えたすべての土地を相続できるようにしてくださいますように。わが子よ、安らかに行きなさい。」
12 イサクはヤコブを送り出し、ヤコブはメソポタミアへ行き、シリア人ベトエルの息子ラバンのもとへ行った。ラバンはヤコブの母リベカの兄弟であった。
13 ヤコブがメソポタミアへ出発した後、リベカの心は息子を悼み、泣きました。
14 イサクはリベカに言った。「妹よ、私の息子ヤコブのことで泣かないで。彼は安らかに旅立ち、安らかに帰ってくるのだ。」
15 いと高き神は彼をあらゆる災いから守り、彼と共におられる。神は彼の生涯の間、彼を見捨てないからである。
16 わたしは知っている。彼の行く所では、彼の道はあらゆる面で栄え、ついには彼が平和のうちにわたしたちのもとに帰って来て、わたしたちも平和のうちに彼に会うであろう。
17 妹よ、彼のことで恐れるな。彼は正しい道を歩んでおり、完全な人だ。彼は誠実で、滅びることはない。泣いてはいけない。」
18 イサクはリベカの息子ヤコブのことで彼女を慰め、彼を祝福した。
19 ヤコブは第 44 ヨベルの年の第二週の第一年に誓いの井戸からハランへ向かい、その週の第一月の新月の日に山の上のルズ、すなわちベテルに着いた。夕方にその場所に着き、その夜は道から西へ曲がって、そこで眠った。日が沈んでいたからである。
20 彼はその場所の石を一つ取って、木の下の頭のそばに置き、一人で旅を続け、眠りについた。
21 その夜、彼は夢を見た。見よ、地上に梯子が立てられており、その頂は天に達していた。見よ、主の天使たちがその梯子を上り下りしていた。見よ、主がその梯子の上に立っておられた。
22 すると主はヤコブに語りかけ、こう言われた。「わたしはあなたの父アブラハムの神、イサクの神、主である。あなたが眠っているこの地を、わたしはあなたに、そしてあなたの後の子孫に与える。」
23 あなたの子孫は地の塵のように多くなり、あなたは西にも東にも、北にも南にも増え、あなたとあなたの子孫によって、諸国のすべての家族は祝福されるであろう。
24 見よ、わたしはあなたと共にいて、あなたがどこへ行こうともあなたを守り、あなたを平和のうちにこの地に連れ戻す。わたしはあなたに告げたことをすべて成し遂げるまで、あなたを見捨てない。」
25 ヤコブは眠りから覚めて言った。「まことにここは主の家だ。私は知らなかった。」そして彼は恐れて言った。「ここは恐ろしい場所だ。神の家、天国の門に他ならない。」
26 ヤコブは朝早く起きて、枕にしていた石を取り、それを柱として立て、その上に油を注いだ。そして、その場所をベテルと名付けた。しかし、その場所の以前の名前はルズであった。
27 ヤコブは主に誓いを立てて言った。「もし主が私と共にいて、私の行く道で私を守り、食べるパンと着る服を与えて、私が無事に父の家に帰ることができるなら、主は私の神となり、私がこの場所にしるしとして立てたこの石は主の家となり、あなたが私に与えてくださるすべてのものの十分の一を、私の神であるあなたに捧げます。」

第 28 章

1 彼は旅を続け、東の地、リベカの兄弟ラバンのところに着き、彼と共に過ごし、彼の娘ラケルのために一週間仕えた。
2 そして、第三週の第 1 年に、ヤコブはラバンに言った。「私が七年間あなたに仕えてきた妻を私にください。」ラバンはヤコブに言った。「あなたの妻をあなたにあげましょう。」
3 ラバンは宴会を開き、長女のレアをヤコブの妻として迎え、女奴隷のジルパを女奴隷として与えた。ヤコブはそれを知らず、彼女がラケルだと思っていた。
4 彼は彼女のところに入って行った。すると、彼女はレアであった。ヤコブはラバンに腹を立て、彼に言った。「なぜあなたは私にこんな仕打ちをしたのか。私はあなたにラケルのために仕えたのであって、レアのために仕えたのではないのか。なぜあなたは私に不当なことをしたのか。」
5「あなたの娘を連れて行ってください。私は行きます。あなたは私にひどいことをしました。」ヤコブはレアよりもラケルを愛していた。レアの目は弱かったが、姿はとても美しかった。しかし、ラケルは美しい目と美しく、とても美しい姿を持っていた。

6 ラバンはヤコブに言った。「私たちの国では、年長者より先に年下の娘を与えることはしない。これは正しくない。天の石板にこう定められ、記されている。年長者より先に年下の娘を与えてはならない。年長者が先に与え、その後に年下の娘を与えるべきである。このようにする者は天で罪を宣告され、このことを行う者は誰一人として義人ではない。この行いは主の前で悪だからである。」
7 イスラエルの子らに、このようなことをしてはならないと命じなさい。年長者を与える前に年少者を取ったり与えたりしてはならない。それは非常に邪悪なことである。
8 ラバンはヤコブに言った。「この祭りの七日間が過ぎたら、ラケルをあなたに与えよう。そうすれば、あなたはさらに七年間私に仕え、前の週のように私の羊を牧することができる。」
9 レアの祭りの七日間が過ぎた日に、ラバンはラケルをヤコブに与え、ヤコブがさらに七年間彼に仕えるようにした。そしてラケルには、ジルパの妹であるビルハを女奴隷として与えた。
10 彼はさらに七年間ラケルに仕えた。レアは無償で彼に与えられたからである。
11 主はレアの胎を開き、レアは身ごもってヤコブに男の子を産んだ。ヤコブはその子をルベンと名付けた。それは第 3 週の第 9 月の１４日のことであった。[2122 AM]
12 しかし、ラケルの胎は閉ざされていた。主は、レアが憎まれ、ラケルが愛されているのをご覧になったからである。
13 ヤコブは再びレアのところへ行き、レアは身ごもってヤコブに第二の息子を産んだ。ヤコブはその子をシメオンと名付けた。それは第十月の二十１日、すなわち今週の三年目のことであった。[2124 AM]
14 ヤコブは再びレアのところへ行き、レアは身ごもって三人目の息子を産んだ。ヤコブはその子をレビと名付けた。それは、この週の六年目の第一月の新月の日のことであった。[2127 AM]
15 ヤコブは再び彼女のもとに入り、彼女は身ごもり、第四の息子を産んだ。ヤコブはその子をユダと名付けた。それは第四週の第三月の十五日のことであった。[2129 AM]
16 こうしたことすべてゆえに、ラケルは子を産めないレアを妬み、ヤコブに「私に子供をください」と言った。ヤコブは「私はあなたに子を授けなかったのか。私はあなたを見捨てたのか」と言った。
17 ラケルは、レアがヤコブにルベン、シメオン、レビ、ユダという四人の息子を産んだのを見て、彼に言った。「私の女奴隷ビルハのところへ行ってください。彼女は身ごもって、私に息子を産むでしょう。」（そして彼女は女奴隷ビルハを妻として彼に与えた。）
18 彼は彼女と交わり、彼女は身ごもり、彼に男の子を産んだ。彼はその子をダンと名付けた。それは六年目の第三週の六月九日のことであった。[2127 AM]
19 ヤコブは再びビルハのところへ行き、彼女は身ごもってヤコブにまた息子を産んだ。ラケルはその子をナフタリと名付けた。それは第七月の五日、第四週の第二年のことであった。[午前 21 時 30 分]
20 レアは自分が不妊になり、子を産まなくなったのを見て、ラケルを妬み、自分の女奴隷ジルパをヤコブに妻として与えた。ジルパは身ごもり、男の子を産んだ。レアはその子をガドと名付けた。それは第 8 月の 12 日、第 4 週のことである。[2131 AM]
21 彼は再び彼女のもとに入り、彼女は身ごもり、彼に第二の息子を産んだ。レアはその子をアシェルと名付けた。それは第五年第四週の十一月の二日のことであった。[2133 AM]
22 ヤコブはレアのところに入り、レアは身ごもって男の子を産んだ。彼女はその子をイッサカルと名付けた。それは第四年第四週の第五月のことである。[2132 AM] そして彼女はその子を乳母に預けた。
23 ヤコブは再び彼女のもとに入り、彼女は身ごもり、男の子と女の子の二人を産んだ。彼女は男の子をザブルン、女の子をディナと名付けた。それは第六年第四週の第七月の七日のことであった。[2134 AM]
24 主はラケルに恵みを与え、彼女の胎を開かれたので、彼女は身ごもり、男の子を産んだ。彼女はその子をヨセフと名付けた。それは第六年の第四週、第四月の新月の日であった。[2134 AM]
25 ヨセフが生まれた頃、ヤコブはラバンに言った。「妻と息子たちを私にください。父イサクのもとへ行かせてください。そして、私のために家を建てさせてください。私はあなたの二人の娘のためにあなたに仕えた年月を終えました。父の家へ帰りたいのです。」
26 ラバンはヤコブに言った。「私のところに滞在して、私の羊の群れを再び牧してくれれば、報酬を受け取ることができる。」
27 そして彼らは互いに合意し、彼が彼に報酬として、黒や斑点のある子羊や子山羊、そして白の子羊や子山羊を与えることにした。これらが彼の報酬となることになっていた。
28 すると、羊は皆、斑点のある子羊やまだら模様の子羊、黒い子羊など、さまざまな模様のある子羊を産み、また自分たちと同じような子羊を産んだ。斑点のある子羊はすべてヤコブのもので、斑点のない子羊はラバンのものであった。
29 ヤコブの財産はますます増え、牛、羊、ろば、らくだ、男のしもべ、女のしもべを所有するようになった。
30 ラバンとその息子たちはヤコブを妬み、ラバンはヤコブから羊を取り戻し、悪意をもって彼を監視した。

第 29 章

1 ラケルがヨセフを産んだとき、ラバンは羊の毛を刈りに出かけた。羊たちは彼から三日間の道のりほど離れたところにいた。
2 ヤコブはラバンが羊の毛を刈ろうとしているのを見て、レアとラケルを呼び、カナンの地へ一緒に来るようにと優しく言った。
3 彼は夢の中で見たすべてのこと、すなわち、父の家に帰るようにと神が彼に告げられたすべてのことを彼らに話した。すると彼らは言った。「あなたがどこへ行こうとも、私たちもあなたと一緒に行きます。」
4 ヤコブは父イサクの神と、父の父アブラハムの神を祝福し、立ち上がって妻と子供たちを乗せ、持ち物をすべて持って川を渡り、ギレアデの地に着いた。ヤコブはラバンに自分の意図を隠し、彼に告げなかった。
5 そして第七年の第四週の第一の月の二十１日に、ヤコブはギレアデの方へ向きを変えた。[2135 AM] ラバンは彼を追いかけ、第三の月の十３日にギレアデの山でヤコブに追いついた。
6 主はヤコブに危害を加えることを許されなかった。主は夜の夢の中でヤコブに現れたからである。そしてラバンはヤコブに話しかけた。
7 そしてその十五日目に、ヤコブはラバンと、彼と共に来たすべての人々のために宴会を催し、その日、ヤコブはラバンに誓い、ラバンもまたヤコブに誓った。どちらも悪意を持ってギレアデの山を越えて互いに近づかないと。
8 彼はそこに証人のための山を作った。それで、その場所はこの山にちなんで「証人の山」と呼ばれるようになった。
9 しかし、以前はギレアデの地をレファイムの地と呼んでいた。そこはレファイムの地であり、レファイムはそこで生まれた巨人であり、その身長は 10、9、8 から 7 キュビトであった。
10 彼らの居住地はアンモン人の地からヘルモン山までで、彼らの王国の都はカルナイム、アシュタロト、エドレイ、ミスル、ベオンであった。
11 主は彼らの悪行のゆえに彼らを滅ぼされた。彼らは非常に悪質で、代わりにアモリ人が住み、邪悪で罪深い者であった。今日、彼らのようにすべての罪を犯し尽くした民はいない。彼らはもはや地上で長生きしない。
12 ヤコブはラバンを送り出し、ラバンは東の地メソポタミアへ旅立ち、ヤコブはギレアデの地へ帰った。
13 彼は第九の月の１１日にヤボク川を渡った。その日、彼の兄エサウが彼のところに来て、彼と和解し、彼から離れてセイルの地へ去った。ヤコブは天幕に住んだ。
14 そして、このヨベルの年の第五週の第 1 年に、彼はヨルダン川を渡り、ヨルダン川の向こう側に住み、羊を山の海からベトシャン、ドタン、アクラビムの森まで放牧した。
15 彼は父イサクに、自分の持ち物すべて、衣服、食料、肉、飲み物、牛乳、バター、チーズ、そして谷で採れるナツメヤシを送った。
16 また、彼の母リベカにも、年に四回、月の境目、耕作と収穫の間、秋と雨季の間、冬と春の間に、アブラハムの塔へ行った。
17 イサクは誓いの井戸から戻り、父アブラハムの塔に登り、息子エサウとは離れてそこに住んでいた。
18 ヤコブがメソポタミアに行ったとき、エサウはイシュマエルの娘マハラトを妻に迎え、父と妻たちの羊の群れをすべて集めて、セイル山に登って住み、父イサクを誓いの井戸のそばに一人残した。
19 イサクは誓いの井戸から上って行き、ヘブロンの山にある父アブラハムの塔に住み、
20 ヤコブは父と母に時折送っていたものすべてをそこに送った。彼らが必要とするものすべてである。そして彼らは心と魂を尽くしてヤコブを祝福した。

第 30 章

1 そして第六週の第 1 年[2143 AM]に、彼は平和のうちにシェケムの東にあるサレムへ第 4 月に上った。
2 そこで彼らはヤコブの娘ディナを、その地の領主であるヒビ人ハモルの息子シェケムの家に連れ去り、シェケムは彼女と寝て彼女を汚した。彼女はまだ 12 歳の少女であった。
3 彼は父と彼女の兄弟たちに、彼女を妻として与えてくれるよう懇願した。ヤコブと息子たちはシェケムの人々のことで激怒した。彼らは妹のディナを汚し、悪意をもって彼らに語りかけ、欺き、惑わしたからである。
4 シメオンとレビは思いがけずシェケムにやって来て、シェケムの男たち全員を裁き、そこにいた男たちを皆殺しにして、一人も残さなかった。彼らは、妹ディナを辱めたために、彼らを皆、拷問によって殺したのである。
5 こうして、今後はイスラエルの娘が汚されることが二度とあってはならない。シェケムの男たちはイスラエルに恥辱をもたらしたので、天では彼らに対する裁きが定められており、剣で彼らを滅ぼすとされている。
6 主は彼らをヤコブの子らの手に渡された。それは、彼らが剣で彼らを滅ぼし、裁きを下すためであり、また、イスラエルの処女が汚されるというこのようなことがイスラエルで二度と起こらないためであった。
7 もしイスラエルで、自分の娘や妹を異邦人の子孫である男に嫁がせようとする者がいれば、その者は必ず死刑に処せられ、石で打ち殺される。なぜなら、彼はイスラエルに恥辱をもたらしたからである。また、その女は火で焼かれ、父の家の名を汚したので、イスラエルから根こそぎにされる。
8 イスラエルには、地の世代の限り、姦淫をする女や汚れた行いが見つかってはならない。イスラエルは

主にとって聖なる国であり、それを汚した者は必ず死ぬ。石で打ち殺される。
9 イスラエルのすべての子孫に関して、天の石板にこのように定められ、記されている。汚す者は必ず死刑に処せられ、石で打ち殺される。
10 この律法には日数の制限も、赦しも、贖罪もありません。しかし、自分の娘を汚した者は、イスラエル全土から根こそぎにされなければなりません。なぜなら、彼は自分の子孫をモロクに捧げ、不敬虔な行いをしてそれを汚したからです。
11 モーセよ、イスラエルの子らに命じて、異邦人に娘を嫁がせてはならない、また異邦人の娘を息子として娶ってはならないと勧めなさい。これは主の御前で忌まわしいことである。
12 こうした理由で、わたしは律法の言葉で、シェケムの人々がディナに対して行ったすべての行いと、ヤコブの子らが「割礼を受けていない男に娘を嫁がせることはしない。それはわたしたちにとって恥辱となるからだ」と言ったことを、あなたのために書き記した。
13 これはイスラエルの民、すなわち生きている者たち、そして異邦人の娘を娶る者たちにとって恥辱である。なぜなら、これはイスラエルにとって汚れた、忌まわしいことだからである。
14 イスラエルは、異邦人の娘を妻に迎えたり、娘を異邦人の男に嫁いだりした場合は、この汚れから逃れることはできない。
15 災いが災いに次ぎ、呪いが呪いに次ぐ。あらゆる裁きと災いと呪いが彼に臨むであろう。もし彼がこのようなことを行い、あるいは不潔な行いをする者、主の聖所を汚す者、主の聖なる名を冒涜する者から目を背けるならば、この人のあらゆる不潔と冒涜のために、国民全体が共に裁かれるであろう。
16 聖所を汚すイスラエルの男も女も、分け隔てなく、果物や供え物、燔祭や脂肪、香ばしい香りも受け取らない。
17 だからこそ、わたしはあなたに命じて言った。「イスラエルにこの証言を伝えなさい。シェケムの人々とその息子たちがどのようになったかを見なさい。彼らはヤコブの二人の息子の手に渡され、彼らは拷問によって彼らを殺した。そして、それは彼らにとって義とみなされ、義として彼らに書き記された。」
18 レビの子孫は祭司職とレビ人となるために選ばれた。それは、彼らが私たちのように主の御前で絶えず仕え、レビとその子孫が永遠に祝福されるためである。レビはイスラエルに反逆する者すべてに対して、正義と裁きと復讐を行うことに熱心であった。
19 こうして彼らは、万物の神の御前で、祝福と義を、彼の有利な証として天の石板に記す。
20 そして私たちは、その人が生涯を通じて、一年を通して成し遂げた義を思い起こします。千代に渡って、人々はそれを記録します。それは彼と彼の子孫に伝えられ、彼は友であり義人として天の石板に記録されています。
21 わたしはこのすべてのことをあなたのために書き記し、イスラエルの子らに告げるように命じた。彼らは罪を犯してはならず、定められた掟を破ってはならず、彼らのために定められた契約を破ってはならない。彼らはそれを守り、友として記録されるであろう。
22 しかし、もし彼らが罪を犯し、あらゆる面で不潔な行いをするならば、彼らは天の石板に敵対者として記録され、命の書から滅ぼされ、滅ぼされる者たちの書、地から根こそぎにされる者たちの書に記録されるであろう。
23 ヤコブの子らがシェケムを殺した日に、天には彼らのために、彼らが正義と公正と罪人への復讐を行ったという記録が記され、それは祝福のために記された。
24 そして彼らは妹のディナをシェケムの家から連れ出し、シェケムにあったすべてのもの、羊、牛、ろば、すべての財産、すべての家畜を捕虜にして、父ヤコブのもとに連れて行った。
25 彼は、彼らが町を剣で滅ぼしたことを責めた。なぜなら、彼はその地に住むカナン人とペリジ人を恐れていたからである。
26 シェケム周辺のすべての町々に主への畏れが臨み、彼らはヤコブの子らを追撃しようと立ち上がらなかった。恐怖が彼らを襲ったからである。

第 31 章

1 その月の新月の日に、ヤコブは家族全員にこう言った。「身を清め、着物を着替えて、ベテルへ上って行こう。そこで私は兄エサウの前から逃げてきた日に、神に誓いを立てたのだ。神は私と共にいて、私をこの地に平和のうちに導いてくださった。そして、あなたたちの間にある異国の神々を捨てなさい。」
2 そして彼らは異国の神々、耳飾り、首飾り、そしてラケルが父ラバンから盗んだ偶像をすべてヤコブに与えた。ヤコブはそれらを焼き、粉々に砕き、破壊し、シェケムの地にある樫の木の下に隠した。
3 彼は第七の月の新月の日にベテルへ上った。そして、自分が寝泊まりした場所に祭壇を築き、そこに柱を立てた。そして、父イサクと母リベカに、自分のいけにえを捧げるために来るようにと使いを送った。
4 イサクは言った。「私の息子ヤコブを来させてください。私が死ぬ前に彼に会わせてください。」
5 ヤコブは父イサクと母リベカのいる父アブラハムの家へ行き、二人の息子レビとユダを連れて行き、父イサクと母リベカのところへ行った。
6 リベカは塔から出てきて、ヤコブに口づけをして抱きしめた。彼女は「見よ、あなたの息子ヤコブが来た」という言葉を聞いて元気を取り戻し、彼に口づけをした。

7 彼女は彼の二人の息子を見て、彼らだと分かり、彼に言った。「わが子よ、この子たちはあなたの息子たちですか。」そして彼女は彼らを抱きしめ、口づけをして祝福し、言った。「あなたたちを通して、アブラハムの子孫は輝きを増し、あなたたちは地上の祝福となるでしょう。」

8 ヤコブは父イサクの寝ている部屋に入り、二人の息子も一緒にいた。ヤコブは父の手を取り、身をかがめて父に口づけをした。イサクは息子ヤコブの首にすがりつき、その首に顔をうずめて泣いた。

9 イサクの目から暗闇が消え、彼はヤコブの二人の息子、レビとユダを見た。そして彼は言った。「わが子よ、この二人はあなたの息子たちか。彼らはあなたによく似ている。」

10 するとイエスは彼に言われた。「確かに彼らは私の息子たちだ。あなたは確かに彼らが私の息子たちであるのを見たのだ。」

11 すると、二人はイエスに近づき、イエスは振り向いて二人に口づけし、二人を抱きしめた。

12 すると預言の霊が彼の口に降りてきて、彼はレビを右手に、ユダを左手に取った。

13 そしてイエスはまずレビの方を向き、彼を祝福し始め、こう言われた。「万物の神、万世の主が、あなたとあなたの子孫を世々限りなく祝福してくださいますように。」

14 主があなたとあなたの子孫に偉大さと大きな栄光を与え、あなたとあなたの子孫を、すべての肉なる者の中から、御前に近づき、御臨在の天使たち、聖なる者たちとして、御自身の聖所で仕えることができるようにしてくださいますように。あなたの息子たちの子孫も、彼らと同じように、栄光と偉大さと聖さの源となり、主が彼らを世々限りなく偉大な者としてくださいますように。

15 彼らは裁き人、君主、ヤコブの子孫すべての長となる。彼らは主の言葉を義をもって語り、主のすべての裁きを義をもって裁く。彼らはわたしの道をヤコブに、わたしの道をイスラエルに告げ知らせる。主の祝福は彼らの口から与えられ、愛する子孫すべてを祝福する。

16 あなたの母はあなたの名をレビと名付けた。それは正当にあなたの名を名付けたのだ。あなたは主と結びつき、ヤコブのすべての子らの仲間となるであろう。主の食卓はあなたのものとなり、あなたとあなたの子らはそこから食べるであろう。あなたの食卓は代々にわたって満ち溢れ、あなたの食物は永遠に尽きることがないであろう。

17 あなたを憎む者は皆、あなたの前にひれ伏し、あなたの敵対者は皆、根こそぎ滅び去るであろう。あなたを祝福する者は祝福され、あなたを呪う国はすべて呪われるであろう。

18 主はユダに言われた。「主があなたに力と権威を与え、あなたを憎む者すべてを踏みにじらせてくださいますように。あなたとあなたの息子の一人が、ヤコブの子らの上に君臨するでしょう。あなたの名とあなたの息子たちの名が広まり、あらゆる地と地域に及んでくださいますように。その時、異邦人はあなたの前に恐れ、すべての国々は震え上がるでしょう。」

19 あなたにはヤコブの助けがあり、あなたにはイスラエルの救いがある。

20 あなたが義の栄誉の座に着くとき、愛する者の子孫すべてに大きな平和が訪れる。あなたを祝福する者は幸いである。あなたを憎み、苦しめ、呪う者は皆、地から根こそぎにされ、滅ぼされ、呪われるであろう。

21 彼は振り向いて再び彼に口づけし、抱きしめ、大いに喜んだ。なぜなら、彼は自分の息子ヤコブの子らを確かに見たからである。

22 彼はイエスの足の間から出て行き、ひれ伏してイエスにひれ伏した。イエスは彼らを祝福し、その夜は父イサクと共にそこに泊まり、喜びのうちに食べたり飲んだりした。

23 彼はヤコブの二人の息子を眠らせた。一人は彼の右に、もう一人は彼の左に。そして、それは彼にとって義とみなされた。

24 ヤコブは夜の間、父にすべてを話した。主がいかに大きな憐れみを示し、いかにすべての道で彼を繁栄させ、あらゆる悪から彼を守ってくださったかを。

25 イサクは父アブラハムの神を賛美した。神はしもべイサクの子らから慈しみと義を取り除かなかったからである。

26 朝になると、ヤコブは父イサクに、主に誓った誓いと、見た幻のこと、祭壇を築いたこと、誓ったとおりに主の前でいけにえをささげる準備がすべて整ったこと、そしてロバに乗せてささげるために来たことを話した。

27 イサクは息子ヤコブに言った。「私はあなたと一緒に行くことができない。私は年老いて、旅に耐えられないからだ。息子よ、安心して行きなさい。私は今日で百六十五歳になる。もう旅をすることはできない。あなたの母を（ろばに）乗せて、あなたと一緒に行かせなさい。」

28 わが子よ、あなたが私のために来たことは知っている。あなたが私を生きているのを見て、私もあなたに会えたこの日が祝福されますように。

29 あなたが誓った誓いを成就し、成功することを願います。誓いを破ってはなりません。あなたは誓いに関して責任を問われるからです。ですから、急いで誓いを果たしなさい。万物を創造された方、あなたが誓いを立てた方が喜ばれますように。

30 彼はリベカに言った。「あなたの息子ヤコブと一緒に行きなさい。」そこでリベカは息子ヤコブと、デボラと共にベテルへ行った。

31 ヤコブは、父が自分と二人の息子レビとユダを祝福した祈りを思い出し、喜び、父祖アブラハムとイサクの神を祝福した。

32 彼は言った。「今、私は永遠の希望を持っていることを知りました。私の息子たちも、万物の神の前

で。」こうして二人のことが定められ、イサクが彼
らを祝福したことを天の石板に永遠の証として記録
した。

第 32 章

1 その夜、レビはベテルに滞在した。そして、人々が
彼をいと高き神の祭司に任命し、彼とその息子たち
を永遠に祭司とした夢を見た。彼は眠りから覚めて、
主を賛美した。
2 ヤコブは、この月の１４日の朝早く起きて、彼と共
に来たすべてのもの、すなわち人、家畜、金、あら
ゆる器物、衣服の十分の一を献げた。まことに、彼
はすべてのものの十分の一を献げた。
3 その頃、ラケルは息子ベニヤミンを身ごもった。ヤ
コブは息子たちを数え上げ、レビは主の分け前とな
った。父は彼に祭司の衣を着せ、その両手を満たし
た。
4 そしてこの月の 15 日に、彼は家畜の中から雄牛 14
頭、雄羊 28 頭、羊 49 頭、子羊 7 頭、雄山羊 21 頭を、
神の御前で香ばしい香りとして喜ばれる燔祭として
祭壇に持って来た。
5 これは、彼が十分の一を捧げると誓ったことによる
彼の捧げ物であり、彼らの果物の捧げ物と飲み物の
捧げ物と共に捧げられたものである。
6 火がそれを焼き尽くすと、彼はその火の上で香を焚
き、感謝の捧げ物として、雄牛 2 頭、雄羊 4 頭、羊 4
頭、雄ヤギ 4 頭、1 歳の羊 2 頭、雄ヤギの子 2 頭をさ
さげた。彼はこれを 7 日間毎日行った。
7 そして彼と彼の息子たちと部下たちは皆、そこで七
日間喜びのうちにこれを食べ、彼をあらゆる苦難か
ら救い出し、彼の誓いを叶えてくださった主を賛美
し、感謝した。
8 彼は清い動物の十分の一を献げ、焼き尽くすいけに
えをささげたが、汚れた動物は息子レビには与えず、
男たちの魂はすべて彼に与えた。
9 レビは父ヤコブの前で、十人の兄弟よりも優先して
ベテルで祭司の務めを果たし、そこで祭司となった。
ヤコブは誓願を立てた。こうしてレビは十分の一を
主にささげ、それを聖別したので、それは主にとっ
て聖なるものとなった。
10 このゆえに、十分の一を献げて、主の御名が宿る
ように選ばれた場所で、毎年主の前で十分の一を食
べることが、天の石板に律法として定められている。
この律法には、永遠に限りがない。
11 この規定は、選ばれた場所で主の前で十分の一の
第二の献金を食べることによって、毎年それが成就
されるように書かれており、その年の残りは翌年に
持ち越されてはならない。
12 その年には、その年の種が収穫される日まで種が
食べられ、ぶどう酒はぶどう酒の収穫される日まで
食べられ、油は収穫期の日まで食べられる。
13 そして、その残骸で古くなったものはすべて汚れ
たものとみなし、火で焼き尽くすべきである。それ
は汚れているからである。
14 こうして彼らは聖所で共にそれを食べ、それを古
びさせてはならない。
15 牛と羊の十分の一はすべて主にとって聖なるもの
であり、主の祭司たちのものとなり、彼らはそれを
毎年主の前で食べる。十分の一については、このよ
うに定められ、天の石板に刻まれているからである。
16 そしてその翌晩、すなわちこの月の 22 日目に、ヤ
コブは、その場所を建て、庭を壁で囲み、それを聖
別して、自分と自分の子孫のために永遠に聖なるも
のとすることを決意した。
17 主は夜に彼に現れて祝福し、こう言われた。「あ
なたの名はヤコブとは呼ばれず、イスラエルがあな
たの名を呼ぶであろう。」
18 すると主は再び彼に言われた。「わたしは天と地
を創造した主である。わたしはあなたを大いに増や
し、あなたから王たちが出て、人の子らの足が踏み
入れた所ならどこでも裁きを行うであろう。
19 わたしはあなたの子孫に天の下にあるすべての地
を与えよう。彼らはすべての国々をその望みに従っ
て裁き、その後、彼らは全地を所有し、それを永遠
に相続するであろう。」
20 イエスはヤコブとの会話を終えると、ヤコブの前
から昇って行かれた。ヤコブはイエスが天に昇られ
るのを見届けた。
21 彼は夜の幻の中で見た。見よ、天使が天から降り
てきて、手に七枚の石板を持っていた。そしてそれ
をヤコブに与えた。ヤコブはそれを読み、そこに書
かれている、彼と彼の息子たちに永遠に起こるであ
ろうすべてのことを知った。
22 すると、彼は石板に書かれているすべてのことを
彼に見せて言った。「この場所を建ててはならない。
ここを永遠の聖所としてはならない。ここに住んで
はならない。ここは聖所ではないからだ。あなたの
父アブラハムの家に行き、あなたの父イサクのとこ
ろに、あなたの父が死ぬ日まで住みなさい。」
23 あなたはエジプトで安らかに死に、この地であな
たの先祖の墓に、アブラハムとイサクと共に、名誉
をもって葬られるであろう。
24 恐れるな。あなたが見て読んだとおり、すべてそ
のようになるのだ。あなたが見て読んだとおりに、
すべてを書き記しなさい。」
25 ヤコブは言った。「主よ、私が読んだり見たりし
たことをすべて覚えていられるでしょうか。」する
と主は彼に言われた。「私がすべてを思い出させて
あげよう。」
26 彼は彼のもとから立ち上がり、眠りから覚め、読
んだことと見たことをすべて思い出し、読んだこと
と見たことをすべて書き留めた。
27 彼はそこでまた別の日を祝い、以前の日に捧げた
すべてのいけにえと同じようにその日にいけにえを

捧げ、その日を「追加」と名付けた。この日が追加されたので、以前の日は「祭り」と呼ばれた。
28 こうして、こうなるべきであることが明らかにされ、天の石板にも記されている。それゆえ、彼にはこれを祝い、七日間の祭りに加えるべきであることが啓示された。
29 そしてその名は「追加」と呼ばれた。それは、それが一年の日数に応じて、祭りの日のうちに記録されたからである。
30 そして、この月の二十三日の夜に、リベカの乳母デボラが亡くなった。人々は彼女を町の地下、川の樫の木の下に葬った。そして、彼はこの場所を「デボラの川」と名付け、樫の木を「デボラの嘆きの樫の木」と名付けた。
31 リベカは行って、父イサクの家に帰り、ヤコブは彼女に雄羊と羊と雄山羊を託し、父が望むような食事を用意するように命じた。
32 彼は母の後を追ってカブラタンの地に着き、そこに住んだ。
33 ラケルは夜中に男の子を産み、その名を「私の苦しみの子」と名付けた。彼女は出産に苦しんだからである。しかし、その父は、このヨベルの年の第六週の初め、第八月の十一日に、その子をベニヤミンと名付けた。[2143 AM]
34 ラケルはそこで亡くなり、エフラタの地、すなわちベツレヘムに葬られた。ヤコブはラケルの墓の上に、墓の上の道に石柱を建てた。

第 33 章

1 ヤコブは行って、マグダラドラエフの南に住んだ。そして、10 月の新月の日に、妻レアと共に父イサクのもとへ行った。
2 ルベンは、父の側室であるラケルの女奴隷ビルハが、人目のつかない場所で水浴びをしているのを見て、彼女を愛した。
3 彼は夜に身を隠し、ビルハの家に入り、彼女が家の中のベッドで一人で寝ているのを見つけた。
4 彼は彼女と寝ていた。彼女が目を覚まして見ると、ルベンが彼女と一緒に寝ていた。彼女は掛け布団の縁をめくり、彼をつかんで叫び、それがルベンだとわかった。
5 彼女は彼のことを恥じて、彼から手を離したので、彼は逃げ去った。
6 彼女はこのことでひどく嘆き悲しみ、誰にも話さなかった。
7 ヤコブが戻ってきて彼女を探したとき、彼女は彼に言った。「私はあなたに対して清くありません。あなたに関して私は汚れてしまったからです。ルベンが私を汚し、夜中に私と寝たのです。私は眠っていたので、彼が私の裾をめくって私と寝るまで気づきませんでした。」
8 ヤコブはルベンがビルハと寝たこと、父の裾をはだけたことに激怒した。
9 ヤコブはルベンが彼女を汚したので、二度と彼女に近づかなかった。父の裾をめくる者は、誰であれ極めて悪質な行いをする。彼は主の御前で忌まわしい者だからである。
10 このため、天の石板にこう記され、定められている。「人は父の妻と寝てはならない。父の衣の裾をめくってはならない。これは汚れたことだ。父の妻と寝る男と女は必ず共に死ぬ。彼らは地上に汚れをもたらしたからである。」
11 そして、神がご自身の所有地として選ばれた国には、私たちの神の前に汚れたものは何一つあってはならない。
12 また、二度目にこう書かれている。「父の妻と寝る者は呪われる。父の恥をさらしたからだ。」主の聖なる者たちは皆、「そのとおりだ、そのとおりだ」と言った。
13 モーセよ、イスラエルの子らにこの言葉を守るように命じなさい。それは死刑に値する罪であり、汚れた罪である。この罪を犯した者には、永遠の贖罪はない。彼は死刑に処せられ、石で打ち殺され、私たちの神の民の中から根こそぎにされなければならない。
14 イスラエルにおいてそのようなことを行う者は、地上で一日たりとも生き続けることは許されない。なぜなら、そのような者は忌まわしく、汚れた者だからである。
15 そして、彼らはこう言ってはならない。「ルベンは父の側室と寝た後も命と赦しを与えられた。彼女には夫がいたにもかかわらず、また彼女の夫であるヤコブ、すなわち彼の父がまだ生きていたにもかかわらず、彼女にも命と赦しが与えられた。」
16 それまでは、律法と裁きと定めは、すべての人に対して完全な形で啓示されていませんでしたが、あなたの時代に、それは季節と日に関する律法として、また永遠の世代のための永遠の律法として啓示されました。
17 この律法には終わりがなく、贖罪もありません。彼らは二人とも国民の中から根絶されなければなりません。彼らがこの律法を犯したその日に、彼らは殺されるのです。
18 モーセよ、イスラエルのためにこれを書き記しなさい。彼らがこれを守り、これらの言葉に従って行い、死に至る罪を犯さないようにするためである。主なる私たちの神は裁き主であり、人を分け隔てせず、贈り物を受け入れない方である。
19 そして、彼らにこの契約の言葉を告げなさい。彼らがそれを聞き、守り、それに関して警戒し、滅ぼされてこの地から根こそぎにされないようにするためである。地上でこのことを行う者は皆、私たちの神の前で、汚れ、忌まわしいこと、汚辱、不浄だからである。
20 地上で彼らが犯す淫行よりも大きな罪はない。イスラエルは主なる神にとって聖なる国民であり、相続の国民であり、祭司の国民であり、王の国民であ

り、主の所有物だからである。聖なる国民の間には、そのような不潔な行いがあってはならない。
21 そしてこの第六週の三年目[2145 AM]に、ヤコブと彼の息子たちは皆、アブラハムの家に行き、父イサクと母リベカの近くに住んだ。
22 ヤコブの子らの名は次のとおりである。長男はレアの子らで、ルベン、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルン。ラケルの子らはヨセフとベニヤミン。ビルハの子らはダンとナフタリ。ジルパの子らはガドとアシェル。レアの娘でヤコブの唯一の娘であるディナ。
23 彼らはやって来てイサクとリベカにひれ伏し、彼らを見るとヤコブとその息子たち全員を祝福した。イサクは自分の末息子ヤコブの息子たちを見て大いに喜び、彼らを祝福した。

第 34 章

1 そして、この第 44 のヨベルの年のこの週の第 6 年に、ヤコブは息子たちを羊の牧草地に送り、しもべたちも彼らと共にシェケムの牧草地に送った。
2 アモリ人の七人の王は、彼らを殺し、木の下に身を隠し、彼らの家畜を獲物として奪うために、彼らに向かって集結した。
3 ヤコブとレビとユダとヨセフは、父イサクの家にいた。イサクの心は悲しみに沈んでおり、彼らは父のもとを離れることができなかったからである。ベニヤミンは末っ子であったので、父のそばに留まっていた。
4 そして、タフの王たち、アレサの王たち、セラガンの王たち、セロの王たち、ガアスの王たち、ベトロンの王、マアニサキルの王、そしてカナンの地のこれらの山々に住む者たち、森に住む者たちがやって来た。
5 そして彼らはヤコブにこう告げた。「見よ、アモリ人の王たちがあなたの息子たちを取り囲み、彼らの家畜を略奪した。」
6 彼は家から立ち上がり、彼自身と三人の息子、父のすべてのしもべ、そして彼自身のしもべたちと共に、剣を持った六千人の兵士を率いて彼らに向かって行った。
7 彼はシェケムの牧草地で彼らを殺し、逃げた者たちを追いかけ、剣の刃で彼らを殺し、アレサ、タプ、サレガン、セロ、アマニサキル、ガガアスを殺し、自分の家畜を取り戻した。
8 彼は彼らに打ち勝ち、彼らに貢ぎ物を課し、彼らの土地の五つの果物産物を貢ぎ物として納めさせ、ロベルとタムナタレスを建設した。
9 彼は平和のうちに帰ってきて、彼らと和解し、彼らは彼のしもべとなった。それは彼と彼の息子たちがエジプトに下る日まで続いた。
10 そして、この週の七年目[2149 AM]に、ヨセフは自分の兄弟たちの安否を確かめるために、自分の家からシェケムの地にヨセフを遣わした。ヨセフはドタンの地に兄弟たちを見つけた。
11 そして彼らはイエスを裏切り、殺そうと企てたが、考えを変えてイエスをイシュマエル人の商人に売り、エジプトに連れて行き、ファラオの宦官で料理長、エレウの町の祭司であるポティファルに売り渡した。
12 ヤコブの子らは子ヤギを屠り、ヨセフの衣をその血に浸し、第七の月の十日に父ヤコブに送った。
13 彼はその夜ずっと嘆き悲しんだ。夕方になってその知らせが彼のところに届いたからである。彼はヨセフの死を嘆き悲しんで熱を出し、「悪い獣がヨセフを食い尽くした」と言った。彼の家の者たちは皆、その日彼と共に嘆き悲しみ、一日中彼と共に悲しんだ。
14 彼の息子たちと娘は彼を慰めようと立ち上がったが、彼は息子のために慰められることを拒んだ。
15 その日、ビルハはヨセフが死んだことを聞き、彼を悼んで死んだ。彼女はカフラテフに住んでいた。ヨセフの娘ディナも、ヨセフが死んだ後に死んだ。
16 こうしてイスラエルには、一ヶ月の間に三つの喪が訪れた。彼らはラケルの墓の向かいにビルハを葬り、また彼の娘ディナもそこに葬った。
17 彼はヨセフのために一年間嘆き悲しみ、その悲しみは絶えなかった。なぜなら彼は「息子のために嘆き悲しみながら墓に下らせてください」と言ったからである。
18 このため、イスラエルの子らには、第七の月の十日、すなわち、ヨセフのために父ヤコブが涙を流す知らせが届いた日に、自らを苦しめることが定められている。彼らは、第七の月の十日に、年に一度、子ヤギをささげて、自分たちの罪のために贖いをしなければならない。それは、彼らが、父の息子ヨセフに対する愛情を悲しませたからである。
19 そして、この日は、彼らが自分の罪とすべての背きとすべての誤りを悔い改め、年に一度その日に身を清めるために定められた日である。
20 ヨセフが死んだ後、ヤコブの子らは妻をめとった。ルベンの妻の名はアダ、シメオンの妻の名はカナン人のアドルバア、レビの妻の名はテラの子孫のアラムの娘メルカ、ユダの妻の名はカナン人のベタシュエル、イッサカルの妻の名はヘザカ、ザブルンの妻の名はニイマン、ダンの妻の名はエグラ、ナフタリの妻の名はメソポタミア人のラスウ、ガドの妻の名はマカ、アシェルの妻の名はイヨナ、ヨセフの妻の名はエジプト人のアセナトである。そしてベンジャミンの妻の名前は「イジャサカ」。
21 シメオンは悔い改めて、兄弟たちと同じようにメソポタミアから二番目の妻を迎えた。

第 35 章

1 そして、第 45 回目のヨベルの年の最初の週の最初の年に、リベカは息子ヤコブを呼び、彼の父と兄に関して、生涯にわたって彼らを敬うように命じた。

2 ヤコブは言った。「あなたが命じられたとおりにすべて行います。このことは私にとって名誉と偉大さとなり、主の前で義となるからです。そうすれば、私は彼らを敬うことができます。」

3 そして母よ、あなたも私が生まれた時から今日まで、私のすべての行いと私の心の中にあるすべてのことをご存じでしょう。私はいつもすべての人に対して善いことを考えています。

4 父と兄を敬うようにとあなたが命じられたことを、どうして私は行わないことができましょうか。

5 母上、私の中にどんな邪悪なところを見出されたのか教えてください。そうすれば私はそこから立ち返り、慈悲が私に注がれるでしょう。

6 彼女は彼に言った。「息子よ、私はこれまでずっと、あなたの中に悪しき行いを見たことがなく、ただ正しい行いばかりを見てきました。しかし、息子よ、真実を告げましょう。私は今年死ぬでしょう。今年を生き延びることはできないでしょう。なぜなら、私は夢の中で自分の死ぬ日を見たからです。155 歳を超えて生きることはないと。そして見よ、私は生きるべき人生の日数をすべて終えたのです。」

7 ヤコブは母の言葉を聞いて笑った。母は自分が死ぬと言っていたが、母はヤコブの向かいに座っていて、体力も衰えておらず、元気だった。出入りもでき、物も見え、歯も丈夫で、生涯病気にかかったことは一度もなかった。

8 ヤコブは母に言った。「母上、もし私の寿命が母上の寿命に近づき、私の力が母上の力と同じように私に残るならば、私は幸いです。そして、母上は死ぬことはないでしょう。母上は死について私をからかっているのですから。」

9 彼女はイサクのところへ行き、彼に言った。「あなたにお願いしたいことが一つあります。エサウに、ヤコブに危害を加えたり、敵意を持って追い回したりしないと誓わせてください。あなたはエサウの考えが若い頃から歪んでいて、善意が全くないことをご存じでしょう。彼はあなたの死後、ヤコブを殺そうと企んでいます。」

10 あなたは、彼の兄弟ヤコブがハランへ行った日から今日まで、彼がしてきたことすべてを知っています。彼は心から私たちを捨て、私たちに悪事を働き、あなたの羊の群れを奪い、あなたの所有物をすべてあなたの前から持ち去りました。

11 そして、私たちが自分のものを取り戻すために懇願し、嘆願したとき、彼は私たちを憐れむ人のようにそれに応じてくれました。

12 ヤコブは、あなたがあなたの完全で正しい息子ヤコブを祝福したために、あなたに恨みを抱いています。ヤコブには悪はなく、善のみがあり、ハランから来てから今日まで、私たちから何も奪わず、常に時宜を得たものを私たちに持ってきてくれます。私たちが彼の手から物を受け取ると、彼は心から喜び、私たちを祝福してくれます。ハランから来てから今日まで、彼は私たちから離れることなく、常に私たちの家に留まり、私たちを敬ってくれています。

13 イサクは彼女に言った。「私も、私たちと共にいるヤコブの行いを知っており、彼が心から私たちを敬っているのを見ています。しかし、以前は長男であったエサウをヤコブよりも愛していました。しかし今は、ヤコブをエサウよりも愛しています。彼は多くの悪事を働き、彼には正義がなく、彼のすべての道は不義と暴力であり、彼の周りには正義がありません。」

14 今、私の心は彼のすべての行いのために動揺しています。彼も彼の子孫も救われることはありません。彼らは地から滅ぼされ、天の下から根こそぎにされる者たちです。彼はアブラハムの神を捨て、妻たちと彼女たちの不潔と誤りに、彼と彼の子孫が従ったからです。

15 あなたは私に、彼に兄ヤコブを殺さないと誓わせるように命じましたが、たとえ彼が誓ったとしても、彼はその誓いを守らず、善行ではなく悪行ばかりを行うでしょう。

16 しかし、もし彼が自分の兄弟ヤコブを殺そうと望むなら、彼はヤコブの手に渡され、彼の手から逃れることはできない。[彼は彼の手に落ちるからである。]

17 ヤコブのことで恐れてはならない。ヤコブの保護者は偉大で力強く、尊敬され、エサウの保護者よりも称賛されているからだ。」

18 リベカは人を遣わしてエサウを呼び寄せ、エサウは彼女のもとに来た。彼女は彼に言った。「息子よ、あなたにお願いしたいことがあるの。息子よ、それを必ずやってくれると約束してちょうだい。」

19 彼は言った。「あなたの言うとおりに、何でもいたします。あなたの願いを拒むことは決してありません。」

20 彼女は彼に言った。「お願いです。私が死んだら、私をあなたの父の母サラのそばに埋葬してください。そして、あなたとヤコブが互いに愛し合い、互いに悪意を抱かず、ただ愛し合うようにしてください。そうすれば、わが子らよ、あなたたちは栄え、この地で尊敬され、敵はあなたたちを喜ぶことはなく、あなたたちを愛するすべての人々の目に、あなたたちは祝福と慈しみとなるでしょう。」

21 彼は言った。「あなたが私に言ったことはすべて行います。そして、あなたが亡くなった日に、私の父の母サラのそばにあなたを葬ります。あなたが、サラの骨があなたの骨のそばにあるようにと望んだからです。」

22 そして、私の兄弟ヤコブも、私はすべての肉なる者の中で一番愛するでしょう。なぜなら、地上には彼以外に私の兄弟はいないからです。彼を愛することは、私にとって大きな功績ではありません。彼は私の兄弟であり、私たちはあなたの体の中で共に蒔かれ、あなたの胎から共に出てきたのです。もし私が兄弟を愛さないなら、誰を愛するでしょうか。

23 私自身も、ヤコブに私と私の息子たちのことを勧めてほしいとあなたにお願いします。なぜなら、私は彼が必ず私と私の息子たちの王になることを知っているからです。父が彼を祝福した日に、彼は彼を高くし、私を低くしたのです。
24 わたしはあなたに誓います。わたしは彼を愛し、生涯彼に災いを願わず、ただ善だけを願います。」
25 彼はこのすべてのことについて彼女に誓った。そして彼女はヤコブをエサウの前に呼び出し、エサウに話した言葉どおりに彼に命令を与えた。
26 彼は言った。「あなたの望むとおりにします。私や私の息子たちからエサウに対して悪事が起こることは決してありません。愛以外では、私は何においても一番ではありません。」
27 その夜、彼女と息子たちは食べたり飲んだりしたが、彼女はその夜、3 つのヨベルと 1 週間と 1 歳で亡くなった。そして、彼女の 2 人の息子、エサウとヤコブは、父の母サラの近くの二重の洞窟に彼女を葬った。

第 36 章

1 そしてこの週の第六年[2162 AM]に、イサクは二人の息子エサウとヤコブを呼び寄せ、彼らはイサクのところに来た。イサクは彼らに言った。「わが子らよ、私は先祖の道、すなわち先祖たちがいる永遠の家へ行くのだ。
2 それゆえ、父アブラハムのそば、ヒッタイト人エフロンの畑にある二つの洞窟に私を葬ってください。そこはアブラハムが私を葬るために墓を買った場所です。私が自分のために掘った墓に、私を葬ってください。
3 わが子らよ、わたしはあなたがたに命じる。地上で正義と公正を行いなさい。そうすれば、主はアブラハムとその子孫になさると言われたことをすべて、あなたがたに成就されるであろう。
4 わが子らよ、あなたがたの兄弟たちよ、自分の魂を愛するように互いに愛し合いなさい。それぞれが兄弟の益となることを求め、地上で共に働きなさい。そして、自分の魂のように互いに愛し合いなさい。
5 偶像の問題については、私はあなた方に命じ、また忠告します。偶像を拒絶し、憎み、愛してはならない。偶像は、それを拝む者やそれにひれ伏す者にとって、欺瞞に満ちているからです。
6 わが子らよ、あなたがたの父アブラハムの神、主を思い起こしなさい。わたしもまた、どのように主を礼拝し、義と喜びをもって主に仕えたかを思い出しなさい。それは、主があなたがたを増やし、あなたがたの子孫を天の星のように数多く増やし、あなたがたを、代々にわたって根こそぎにされることのない義の木として、地上に堅く立ててくださるためであった。
7 そして今、わたしはあなたがたに偉大な誓いを立てさせよう。栄光に満ち、尊ばれ、偉大で、輝かしく、不思議で、力強い御名によって、天と地と万物を共に創造された御名によって、これ以上の誓いはない。あなたがたは御名を畏れ、御名を礼拝するであろう。
8 そして、あなたがたは互いに愛情と正義をもって兄弟を愛し、今後は生涯にわたって兄弟に対して悪事を企てないようにしなさい。そうすれば、あなたがたはすべての行いにおいて繁栄し、滅びることはないでしょう。
9 もしあなたがたのうちの誰かが兄弟に対して悪事を企てるならば、今から後、兄弟に対して悪事を企てる者は皆、その者の手に落ち、生きている者の地から根こそぎにされ、その子孫は天の下から滅ぼされることを知っておきなさい。
10 しかし、騒乱と罵りと憤りと怒りの日には、燃え盛る焼き尽くす火でソドムを焼き尽くしたように、彼の土地と町と彼の所有するすべてのものを焼き尽くし、彼は人の子らの懲らしめの書から消し去られ、命の書には記されず、滅びの書に記され、永遠の罵りへと去るであろう。こうして、彼らの裁きは憎しみと罵りと怒りと苦しみと憤りと災いと病気の中で永遠に新たにされるであろう。
11 わたしは、兄弟を害しようとする者に下される裁きについて、わたしの息子たちよ、あなたがたに言い、証言する。
12 その日、彼は自分の所有物すべてを二人に分け与え、長男である彼に、塔とその周辺のすべて、そして誓いの井戸のそばにあったアブラハムの所有物すべてを与えた。
13 彼は言った。「この大きな部分は長子に与えよう。」
14 エサウは言った。「私はヤコブに売り、長子の権利をヤコブに与えた。それは彼に与えられるべきであり、私はそれについて一言も言うことはない。それは彼のものだからだ。」
15 イサクは言った。「わが子らよ、今日、あなたたちとあなたたちの子孫に祝福がありますように。あなたたちは私に安息を与えてくれたので、長子の権利に関して私の心は痛んでいません。あなたたちがそのことで悪事を働くことがないようにするためです。」
16 いと高き神が、義を行う人とその子孫を永遠に祝福されますように。
17 そしてイエスは彼らに命じ、祝福し終えた。彼らはイエスの前で共に食べたり飲んだりした。彼らの間に心が一つになっていたので、イエスは喜んだ。そして彼らはイエスの元を出て、その日は休んで眠った。
18 その日、イサクは喜びながら寝床に横になり、永遠の眠りについた。彼は百八十歳で死んだ。二十五週と五年を終え、二人の息子エサウとヤコブが彼を葬った。
19 エサウはエドムの地、セイルの山々へ行き、そこに住んだ。

20 ヤコブはヘブロンの山々、父アブラハムの旅の地の塔に住み、主が彼の世代の日々を分けられたように、目に見える命令に従って、心を尽くして主を礼拝した。
21 そして、彼の妻レアは、第 45 ヨベルの年の第 2 週の第 4 年に亡くなった。[2167 AM] 彼は彼女を、父の母サラの墓の左側にある、母リベカの近くの二重の洞窟に葬った。
22 そして、レアの息子たちと彼の息子たちは皆、彼の妻レアの死を悼み、彼女をめぐって彼を慰めるためにやって来た。彼はレアのことを深く悲しんでいた。なぜなら、レアの姉ラケルが亡くなった後、彼はレアを非常に愛していたからである。
23 彼女はすべての行いにおいて完全で正しく、ヤコブを敬った。彼女がヤコブと共に暮らしていた間、ヤコブは彼女の口から厳しい言葉を聞いたことがなかった。彼女は穏やかで平和で、正しく、高潔であったからである。
24 彼は彼女が生涯に行ったすべての行いを思い出し、彼女を深く嘆き悲しんだ。彼は彼女を心から、魂を尽くして愛していたからである。

第 37 章

1 ヤコブとエサウの父イサクが死んだ日、エサウの息子たちは、イサクが長男の相続分を次男のヤコブに与えたことを聞き、非常に怒った。
2 彼らは父に言い争って言った。「なぜあなたの父は、あなたが兄でヤコブが弟であるにもかかわらず、ヤコブに兄としての相続分を与え、あなたを差し置いて相続分を与えたのか。」
3 彼は彼らに言った。「私がヤコブにレンズ豆の小片と引き換えに長子の権利を売ったので、父が私を狩りや捕獲に遣わし、父が食べて私を祝福するための何かを持ってくるように命じた日に、ヤコブは策略を用いて父に食べ物と飲み物を持ってきて、父は彼を祝福し、私を彼の手に委ねました。
4 そして今、父は私たちと父に誓わせました。すなわち、互いに悪事を企てたり、兄弟に危害を加えたりしないこと、兄弟と愛と平和を保ち、道を堕落させないことです。
5 彼らはイエスに言った。「私たちは、あなたが彼と和解するようにという申し出には従いません。私たちの力は彼の力よりも強く、私たちは彼よりも力があるからです。私たちは彼に立ち向かい、彼を殺し、彼とその息子たちを滅ぼします。もしあなたが私たちと共に行かないなら、あなたにも危害を加えます。」
6 さあ、我々の言うことを聞け。アラム、ペリシテ、モアブ、アンモンに使いを送り、戦いに熱心な精鋭を選び出し、彼に向かって戦い、彼が強くなる前に地上から滅ぼそうではないか。
7 すると彼らの父は彼らに言った、「行ってはならない。彼と戦ってはならない。さもないと、彼の前に倒れることになる。」
8 彼らはイエスに言った、「これもまた、あなたが若い頃から今日までずっとやってきたやり方であり、あなたは自分の首を彼のくびきの下に入れているのです。
9「私たちはこれらの言葉には耳を傾けません。」そして彼らはアラムとアドゥラムに父の友人を遣わし、彼らと共に千人の戦士、選りすぐりの戦士を雇った。
10 そして、モアブとアンモンの子らから雇われた者たち、千人の精鋭が彼らのもとにやって来た。ペリシテからは千人の精鋭戦士が、エドムとホリ人からは千人の精鋭戦士が、キッティムからは勇猛な戦士たちがやって来た。
11 彼らは父に言った。「彼らを連れて行き、導いてください。さもなければ、私たちはあなたを殺すでしょう。」
12 彼は、息子たちが兄ヤコブに対して先頭に立って攻撃するよう自分を強要しているのを見て、怒りと憤りに満たされた。
13 しかしその後、彼は兄ヤコブに対して心に隠していたすべての悪事を思い出し、父と母に誓った、兄ヤコブに対して生涯悪事を企てないという誓いを忘れてしまった。
14 それにもかかわらず、ヤコブは彼らが戦いを挑んでくることを知らず、妻レアのために嘆き悲しんでいた。彼らが四千人の戦士と選りすぐりの戦士たちと共に塔のすぐ近くまで近づいてきた。
15 ヘブロンの人々はヤコブに使いを送り、「あなたの兄が剣を帯び、盾と武器を持った四千人の兵士を率いて、あなたと戦うためにやって来ました」と告げた。彼らはエサウよりもヤコブを愛していたからである。ヤコブはエサウよりも寛大で慈悲深い人であったので、彼らはヤコブにそのことを告げた。
16 しかしヤコブは、塔のすぐ近くまで来るまでは信じようとしなかった。
17 彼は塔の門を閉め、城壁の上に立って兄エサウに言った。「妻が亡くなったので、慰めに来てくれてありがとう。これは、父と母が亡くなる前に誓った誓いですか。あなたは誓いを破ったのです。父に誓ったその瞬間に、あなたは罪に定められていたのです。」
18 するとエサウは答えて言った、「人の子らも地の獣も、永遠に有効な誓いを立てた正義の誓いを一つも持っていません。彼らは毎日、互いに悪事を企み、いかにして敵や仇を殺そうかと考えています。
19 あなたは私と私の子供たちを永遠に憎む。あなたとの兄弟の絆はもはや存在しない。
20 わたしがあなたに告げるこれらの言葉を聞きなさい。もしイノシシが皮を剥いで毛を羊毛のように柔らかくすることができ、あるいは鹿や羊の角のように頭に角を生やすことができたなら、わたしはあな

たとの兄弟の絆を守るだろう。しかし、乳房が母から離れても、あなたはわたしの兄弟ではない。
21 もし狼が子羊と和解して、食い尽くしたり、乱暴したりせず、彼らの心が子羊に対して善意であるならば、わたしの心にもあなたに対して平和があるでしょう。
22 もし獅子が牛と友となり、牛と和解し、同じ軛で繋がれ、牛と共に耕作するならば、わたしはあなたと和解しよう。
23 カラスが白鳥のように白くなった時、わたしがあなたを愛し、あなたと和解しようとしたことを知りなさい。あなたは根こそぎにされ、あなたの子らも根こそぎにされ、あなたには平和は訪れないであろう。」
24 ヤコブは、彼が心と魂のすべてを尽くして自分を殺そうと悪意を抱いており、槍に突き刺されて殺されるイノシシのように飛びかかってきて、そこから逃げようとしないのを見て、
25 それから彼は自分の部下と召使たちに、自分と仲間全員を攻撃するように命じた。

第 38 章

1 その後、ユダは父ヤコブに語りかけ、こう言った。「父上、弓を引き、矢を放ち、敵を打ち倒し、敵を殺してください。そうすれば、あなたに力があります。私たちはあなたの兄弟を殺しません。彼はあなたに似た者であり、あなたに似ているからです。彼に（この）栄誉を与えましょう。」
2 するとヤコブは弓を引き、矢を放ち、兄エサウの右胸を射て殺した。
3 そして彼は再び矢を放ち、アラム人アドランの左胸を射て、彼を後退させて殺した。
4 そこでヤコブの子らとそのしもべたちは出て行き、塔の四方に分かれて陣取った。
5 ユダは先頭に立って進み、ナフタリとガドと五十人のしもべが塔の南側にいて、彼らの前にいる者を皆殺しにした。一人も逃げ延びた者はいなかった。
6 レビとダンとアシェルは塔の東側から出て行き、彼らと共に五十人の兵士を率いて、モアブとアンモンの戦士たちを殺した。
7 ルベンとイッサカルとゼブルンは塔の北側から出て行き、彼らと共に五十人の兵士を率いてペリシテ人の兵士を殺した。
8 シメオンとベニヤミンとルベンの子エノクは塔の西側から出て行き、五十人の男たちと共にエドム人とホリ人から四百人の屈強な戦士を殺した。六百人は逃げ、エサウの息子たちのうち四人が彼らと共に逃げ、父をアドゥラムの丘で倒れたように、殺されたまま残した。
9 ヤコブの息子たちは彼らを追ってセイルの山々まで行った。ヤコブはアドゥラムにある丘に弟を葬り、自分の家に帰った。
10 ヤコブの子らはセイルの山々でエサウの子らを激しく攻撃し、彼らは首を下げてヤコブの子らのしもべとなった。
11 そして彼らは父に使いを送り、彼らと和解すべきか、それとも殺すべきかを尋ねさせた。
12 ヤコブは息子たちに、彼らと和解するようにと伝え、息子たちは彼らと和解し、彼らに奴隷のくびきを負わせた。こうして彼らはヤコブとその息子たちに常に貢ぎ物を納めるようになった。
13 そして彼らはヤコブがエジプトに下る日まで、彼に貢ぎ物を納め続けた。
14 エドムの子らは、ヤコブの十二人の子らが彼らに課した奴隷のくびきから、今日まで解放されていない。
15 これらは、エドムの地にイスラエルの子らの上に王が君臨する以前、エドムで統治した王たちである。
16 ベオルの子バラクがエドムを治め、彼の都の名はダナバであった。
17 バラクは死に、ボセルのザラの息子ヨバブが彼の代わりに王となった。
18 ヨバブは死に、テマンの地のアサムが彼の代わりに王となった。
19 アサムは死に、モアブの地でミディアン人を殺したバラドの子アダトが彼の代わりに王となり、彼の町の名はアビトと呼ばれた。
20 アダトは死に、アマセカのサルマンが彼の代わりに王位に就いた。
21 そしてサルマンは死に、川のほとりのラアボトのサウルが彼の代わりに王となった。
22 サウルは死に、アクボルの子バエルナンが彼に代わって王となった。
23 アクボルの子バエルナンが死に、アダトが彼の代わりに王となった。彼の妻の名はマイタビトで、メタベザアブの娘マタラトの娘であった。
24 これらはエドムの地を治めた王たちである。

第 39 章

1 ヤコブは父が滞在していたカナンの地に住んだ。これはヤコブの系図である。
2 ヨセフは 17 歳の時、エジプトの地に連れて行かれ、ファラオの宦官で料理長のポティファルが彼を買い取った。
3 彼はヨセフを自分の家全体の上に立てた。ヨセフのゆえに、エジプト人の家に主の祝福が臨み、主は彼のすべての行いを祝福された。
4 エジプト人はすべてをヨセフに委ねた。主が彼と共におられ、主が彼のすべての行いを成功させてくださるのを見たからである。
5 ヨセフの容姿は美しく、主人の妻は目を上げてヨセフを見て、彼を愛し、自分と寝るように懇願した。
6 しかし彼は自分の魂を明け渡さず、主と、父ヤコブがアブラハムの言葉の中から読み上げていた言葉を思い出した。それは、夫を持つ女と姦淫をしてはな

らない、そのような者には天において至高の神の前に死刑が定められており、その罪は主の御前で永遠の書物に絶えず記録される、というものであった。
7 ヨセフはこの言葉を思い出し、彼女と寝ることを拒んだ。
8 彼女は一年間彼に懇願したが、彼は拒み、耳を傾けようとしなかった。
9 しかし彼女は彼を抱きしめて家の中に閉じ込め、無理やり自分と寝させようとした。そして家の戸を閉めて彼をしっかりと押さえつけた。しかし彼は自分の衣服を彼女の手に残し、戸を破って彼女の前から逃げ出した。
10 すると女は彼が自分と寝ようとしないのを見て、彼の主人の前で彼を中傷して言った。「あなたが愛しておられるヘブライ人のしもべが、私と寝ようとして私を無理やり誘惑しました。私が声を上げると、彼は逃げ出し、私が彼を捕まえた時に衣服を私の手に残し、戸を破って出て行きました。」
11 エジプト人はヨセフの衣服と壊れた戸を見て、彼の妻の言葉を聞いて、ヨセフを王が投獄した囚人たちが閉じ込められている牢獄に投げ込んだ。
12 ヨセフは牢獄にいたが、主は牢獄の看守長の目にヨセフを好意的に映し、看守長の前でヨセフを憐れんだ。看守長は主がヨセフと共におられ、ヨセフの行うすべてのことが主によって成功させられるのを見たからである。
13 彼はすべてのことをヨセフの手に委ねた。牢番の長はヨセフの手にあることを何も知らなかった。なぜなら、ヨセフがすべてを成し遂げ、主がそれを完成させたからである。
14 そしてヨセフはそこに 2 年間滞在した。その頃、エジプトの王ファラオは、二人の宦官、すなわち給仕長とパン職人長に激怒し、彼らを料理長の家に、ヨセフが閉じ込められていた牢獄に監禁した。
15 そして、監獄の看守長はヨセフを彼らに仕えるように任命し、ヨセフは彼らの前に仕えた。
16 そして、給仕長とパン職人長は二人とも夢を見て、それをヨセフに話した。
17 ヨセフが彼らに通訳したとおりに、彼らにそのとおりのことが起こり、ファラオは首席給仕長を元の職に戻し、殺した（首席）パン職人を、ヨセフが通訳したとおりに元に戻した。
18 しかし、給仕長はヨセフにこれから起こることを知らせていたにもかかわらず、牢獄にいるヨセフのことを忘れてしまい、ヨセフがどのように知らせたかをファラオに伝えることも忘れてしまった。

第 40 章

1 その頃、ファラオは一晩のうちに、国中に飢饉が起こるという夢を二つ見た。彼は眠りから覚め、エジプト中の夢の解釈者と魔術師たちを呼び集め、その二つの夢を彼らに話したが、彼らはそれを言い当てることができなかった。
2 すると、給仕長はヨセフのことを思い出し、王に彼のことを話した。王はヨセフを牢獄から連れ出し、ヨセフは王の前で自分の二つの夢を語った。
3 彼はファラオの前で、自分の二つの夢は一つであると告げ、こう言った。「七年間はエジプト全土に豊作が訪れ、その後七年間は飢饉が訪れます。それはかつてエジプト全土で起こったことのないような飢饉です。
4 さて、ファラオはエジプト全土に監督官を任命し、豊作の年の間、各都市に食糧を蓄えさせなさい。そうすれば、七年間の飢饉の間も食糧があり、飢饉によって国が滅びることはないだろう。なぜなら、飢饉は非常に厳しいものになるからである。」
5 主はヨセフをファラオの目に恵みと慈しみを与えられた。ファラオは家臣たちに言った。「我々はこの人ほど賢く思慮深い人を見つけることはできないだろう。主の霊が彼と共にあるからだ。」
6 そしてファラオは彼を王国の第二位に任命し、エジプト全土を統治する権限を与え、ファラオの第二の戦車に乗せた。
7 彼は彼にビュソスの衣を着せ、金の鎖を首にかけ、（使者が）彼の前で「エル▪エル▪ワ▪アビレル」と宣言し、彼の手に指輪をはめ、彼をその家全体の支配者とし、彼を偉大にし、彼に言った。「王座においてのみ、私はあなたより偉大になる。」
8 ヨセフはエジプト全土を治め、ファラオのすべての高官、すべての家臣、王の仕事をしていたすべての者は彼を愛した。なぜなら、彼は正しく歩み、高慢や傲慢がなく、人をえこひいきせず、贈り物を受け取らず、その地のすべての民を公正に裁いたからである。
9 ヨセフのおかげで、エジプトの地はファラオの前で平和であった。主が彼と共におられ、彼を知る者、また彼について聞く者すべての前で、彼のすべての世代にわたって彼に恵みと憐れみを与えられたからである。ファラオの王国は秩序正しく、そこにはサタンも悪人もいなかった。
10 王はヨセフの名をセファンティファンと名付け、ヨセフにヘリオポリスの祭司長で料理長の娘であるポティファルの娘を妻として与えた。
11 ヨセフがファラオの前に立った日、彼は 30 歳であった。
12 その年にイサクは死んだ。ヨセフが二つの夢の解釈で言ったとおり、エジプト全土に七年間豊作が続き、エジプトの地は豊かに実り、一升に八百升の収穫があった。
13 ヨセフはすべての町に食料を集め、人々は穀物でいっぱいになり、その多さを数えたり測ったりすることができなくなった。

第 41 章

1 そして第 45 ヨベルの年、第 2 週、第 2 年に、ユダは長男エルのために、アラムの娘たちの中からタマルという名の妻を迎えた。
2 しかし彼は彼女を憎み、彼女と寝なかった。なぜなら彼の母はカナンの娘の一人であり、彼は母の親族から妻を娶りたいと願ったが、彼の父ユダはそれを許さなかったからである。
3 ユダの長男エルは悪人であったので、主は彼を殺された。
4 ユダは弟オナンに言った。「兄の妻のところへ行き、夫の兄弟としての務めを果たし、兄のために子孫をもうけなさい。」
5 オナンは、その種が自分のものではなく、兄のものになることを知っていたので、兄の妻の家に入り、その種を地面にこぼした。彼は主の目に悪人であったので、主は彼を殺された。
6 ユダは嫁のタマルに言った。「私の息子シェラが成長するまで、あなたは未亡人として父の家にとどまりなさい。そうすれば、私はあなたをシェラの妻として与えよう。」
7 彼は成長したが、ユダの妻ベドスエルは息子シェラが結婚することを許さなかった。そしてユダの妻ベドスエルは今週の五年に亡くなった。
8 六年目にユダは羊の毛を刈るためにティムナへ上った。[2169 AM] そして彼らはタマルに言った。「あなたの舅が羊の毛を刈るためにティムナへ上って行く。」
9 彼女は未亡人の服を脱ぎ、ベールをかぶり、身なりを整えて、ティムナへ続く道に隣接する門に座った。
10 ユダが歩いていると、彼女を見つけた。彼は彼女を遊女だと思い、「あなたのところへ入れてください」と言った。彼女は「どうぞお入りください」と言ったので、彼は中に入った。
11 彼女は彼に言った。「私の報酬をください」。彼は彼女に言った。「私の手には、指にはめている指輪と首飾りと手に持っている杖以外には何もありません」。
12 彼女は彼に言った、「あなたが私の報酬を送ってくれるまで、それらを私に渡してください」。彼は彼女に言った、「私はあなたに子ヤギを一匹送ります」。彼はそれらを彼女に渡し、彼女と交わり、彼女は彼によって身ごもった。
13 ユダは羊のところへ行き、彼女は父の家へ行った。
14 ユダはアドゥラム人の羊飼いに子ヤギを託して彼女を探し出し、その地の人々に尋ねた。「ここにいた遊女はどこにいるのか」。すると彼らは答えた。「ここには遊女はおりません」。
15 彼は戻ってきて彼に知らせ、彼女を見つけられなかったと告げた。「私はその土地の人々に尋ねましたが、彼らは私に『ここには遊女はいません』と言いました。」
16 彼は言った。「彼女に（それらを）持たせておけば、我々は嘲りの的になるだろう。」彼女が三か月経ったとき、彼女が妊娠していることが明らかになったので、彼らはユダに告げて言った。「見よ、あなたの嫁タマルは淫行によって妊娠しました。」
17 ユダは彼女の父の家に行き、彼女の父と兄弟たちに言った。「彼女を連れ出して、火で焼いてください。彼女はイスラエルで不浄な行いをしたのです。」
18 人々が彼女を火あぶりにするために連れ出したとき、彼女は指輪と首飾りと杖を義父に送り、「これらは誰のものか調べてください。私は彼の子を身ごもっているのです」と言った。
19 ユダはそれを認めて言った。「タマルは私よりも正しい。
20 それゆえ、彼女を火あぶりにしてはならない。そのため、彼女はシェラに与えられず、彼は二度と彼女に近づかなかった。
21 その後、彼女は第二週の七年目に、ペレツ[2170 AM]とゼラという二人の息子を産んだ。
22 こうして、ヨセフがファラオに話した七年間の豊作の年が終わった。
23 ユダは、自分の行いが悪であったことを認めた。彼は嫁と寝たので、それを忌まわしいことと見なし、息子の裾をはだけたので、罪を犯し、道を踏み外したことを認めた。そして、自分の罪のために主の前で嘆き、祈り始めた。
24 そして私たちは夢の中で彼に、彼が熱心に祈り、嘆き、二度と同じ過ちを繰り返さなかったため、罪は赦されたと告げた。
25 彼は罪と無知から立ち返ったので赦された。彼は私たちの神の前で大きな罪を犯したからである。このようにする者、姑と寝る者は皆、火で焼かれるべきである。彼らには汚れと穢れがあるから、火で焼かれるべきである。
26 あなたはイスラエルの子らに、彼らの間に不潔なことがあってはならないと命じなさい。嫁や姑と寝る者は皆、不潔な行いをしたことになる。彼女と寝た男と女を火で焼き尽くしなさい。そうすれば、主はイスラエルから怒りと罰を取り除いてくださる。
27 そして私たちはユダに、彼の二人の息子は彼女と寝なかったと言いました。このため、彼の子孫は第二世代まで存続し、根絶されることはありませんでした。
28 彼は一点集中して罰を求め、すなわちアブラハムが息子たちに命じた裁きに従って、ユダは彼女を火で焼き尽くそうとした。

第 42 章

1 そして第 45 ヨベルの年の 3 週間目の第 1 年目に、飢饉が [2171 AM] 地に到来し、雨は地に降らず、全く降らなかった。
2 すると地は不毛になったが、エジプトの地には食物があった。ヨセフが七年間の豊作の時にその地の種を集めて保存していたからである。
3 エジプト人たちはヨセフのもとに来て、彼に食べ物を分けてもらおうとした。ヨセフは最初の年の穀物

が入った倉を開け、それをその地の人々に金と引き換えに売った。
4 さて、カナンの地では飢饉が非常にひどく、ヤコブはエジプトに食糧があると聞き、自分の十人の息子たちをエジプトに送って食糧を調達させようとした。しかし、ベニヤミンは送らなかった。ヤコブの十人の息子たちは、エジプトに行った者たちの中に混じって到着した。
5 ヨセフは彼らだと分かったが、彼らはヨセフだと分からなかった。ヨセフは彼らに話しかけ、質問し、「あなたたちはスパイではないのか。この地の近辺を探るために来たのではないか」と言った。そして、ヨセフは彼らを監視下に置いた。
6 その後、彼は彼らを再び解放し、シメオンだけを留め置き、彼の 9 人の兄弟を解放した。
7 彼は彼らの袋に穀物を詰め、彼らの袋に金を入れたが、彼らはそれに気づかなかった。
8 そしてイエスは彼らに、弟を連れてくるように命じた。彼らはイエスに、父は生きていて弟もいると告げていたからである。
9 そして彼らはエジプトの地から上って行き、カナンの地に着いた。そして彼らは父に、自分たちに起こったことすべて、その地の領主が彼らに乱暴な言葉をかけ、ベニヤミンを連れてくるまでシメオンを捕らえたことを話した。
10 ヤコブは言った。「あなたがたは私の子供たちを奪った！ヨセフもシメオンもいなくなり、ベンヤミンまで連れて行こうとしている。あなたがたの悪行が私に降りかかったのだ。」
11 彼は言った。「私の息子はあなたたちと一緒には行きません。病気になるかもしれないからです。彼らの母親は二人の息子を産みましたが、一人は亡くなりました。あなたたちはこの子まで私から連れて行こうとしているのです。もし道中で熱を出したら、あなたたちは私の老いを悲しみで死に至らしめるでしょう。」
12 彼は、彼らの金が袋に入れられて各人に返されているのを見て、そのため彼を遣わすのを恐れた。
13 飢饉はカナンの地とエジプトの地を除くすべての地でひどくなった。それは、エジプト人の子孫の多くが、ヨセフが種を集めて倉に蓄え、飢饉の年のために保存しているのを見て以来、食糧として種を蓄えていたからである。
14 そしてエジプトの人々は、飢饉の最初の年にそれを食べて生き延びた。
15 しかし、イスラエルは、その地に飢饉がひどく、救いの見込みがないのを見て、息子たちに言った。「もう一度行って、私たちが死なないように食料を調達してきなさい。」
16 彼らは言った。「私たちは行きません。末の弟が私たちと一緒に行かない限り、私たちは行きません。」
17 イスラエルは、もし彼がイエスを彼らと共に遣わさなければ、飢饉のために皆滅びてしまうだろうと悟った。
18 するとルベンは言った。「彼を私の手に渡してください。もし私が彼をあなたのもとに連れ戻さなければ、彼の命の代わりに私の二人の息子を殺してください。」
19 彼は彼に言った。「彼はあなたと一緒に行ってはならない。」ユダは近づいて言った。「彼を私と一緒に送ってください。もし私が彼をあなたのもとに連れ戻さなければ、私は生涯あなたの前にその罪を負います。」
20 そして彼は、この週の 2 年目の月の 1 日に、彼らを彼らと共に遣わした。彼らは、行く者すべてと共にエジプトの地に着き、手には贈り物として、スタクテ、アーモンド、テレビンナッツ、そして純粋な蜂蜜を持っていた。
21 彼らはヨセフの前に進み出て立った。ヨセフは弟のベニヤミンを見て、彼だと分かったので、彼らに言った。「この人はあなたたちの末の弟ですか？」彼らは答えた。「そうです。」ヨセフは言った。「わが子よ、主があなたに恵みを与えてくださいますように！」
22 彼はシメオンを自分の家に送り、シメオンを彼らのところへ連れて行った。そして彼らのために宴会を催し、彼らは手に持ってきた贈り物を彼に献げた。
23 そして彼らはイエスの前で食事をし、イエスは彼ら全員に分け与えたが、ベニヤミンの分け前は彼らの誰よりも七倍多かった。
24 そして彼らは食べたり飲んだりして立ち上がり、ろばと一緒にそこに留まった。
25 ヨセフは、彼らの間に平和の思いが広まっているかどうかを知るために、ある計画を立てた。そして、自分の家の管理人である執事に言った。「彼らの袋に食料を詰め、彼らの金銭をそれぞれの器に返してあげなさい。そして、私が飲んでいる銀の杯を一番下の者の袋に入れて、彼らを送り出しなさい。」

第 43 章

1 彼はヨセフが言ったとおりにして、彼らの袋に食べ物を詰め、お金を袋に入れ、杯をベニヤミンの袋に入れた。
2 そして朝早く彼らは出発した。彼らがそこを去った後、ヨセフは家の執事に言った。「彼らを追いかけ、走って捕まえて、『あなたたちは善意に対して悪意をもって私に報いた。あなたたちは私の主人が飲む銀の杯を盗んだ』と言いなさい。そして彼らの末弟を連れ戻し、私が裁きの座に着く前に急いで連れて来なさい。」
3 そしてイエスは彼らを追いかけ、次のように言われた。
4 彼らは彼に言った。「あなたのしもべたちがこのようなことをして、あなたの主の家からどんな道具も

盗んだり、最初に袋の中に見つけたお金も盗んだり
することは、決してあってはなりません。私たちは
あなたのしもべとして、カナンの地から持ち帰った
のです。
5 では、どうして私たちは道具を盗むことができるで
しょうか。見よ、私たちはここにいて、私たちの袋
を捜索します。もし私たちの中の誰かの袋の中に杯
を見つけたら、その者を殺してください。そうすれ
ば、私たちと私たちのろばはあなたの主君に仕えま
す。」
6 すると彼は彼らに言った。「そうではない。私が見
つけた者だけを奴隷として連れて行く。そうすれば、
あなたがたは平和に自分の家に帰ることができる。」
7 そして、イエスが彼らの器を、長男から順に、末っ
子まで調べていたところ、ベニヤミンの袋の中に見
つかった。
8 彼らは衣服を引き裂き、ろばに荷物を積んで町に戻
り、ヨセフの家に着くと、皆ヨセフの前にひれ伏し
た。
9 ヨセフは彼らに言った。「あなたがたは悪事を働い
た。」彼らは言った。「私たちは何と言い、どのよ
うに弁明すればよいでしょうか。主はしもべたちの
罪を暴かれました。ご覧ください、私たちは主のし
もべであり、私たちのろばもまた主のしもべです。」
10 ヨセフは彼らに言った。「私も主を畏れています。
あなた方は家に帰り、あなた方の兄弟を私のしもべ
にしなさい。あなた方は悪事を働いたのです。人が
自分の杯を喜ぶように、私もこの杯を喜ぶことを知
らないのですか。それなのに、あなた方は私からそ
れを盗んだのです。」
11 ユダは言った。「わが主よ、どうかこのしもべに、
わが主の耳に一言申し上げさせてください。このし
もべの母は、わが父に二人の兄弟を産みました。一
人は家を出て行方不明になり、見つからず、母に残
されたのは彼だけです。わが父は彼を愛しており、
彼の命はこの（少年の）命と結びついています。」
12 そして、私たちがあなたのしもべである父のとこ
ろへ行くとき、その子が私たちと一緒にいないと、
その子は死んでしまい、私たちは悲しみに暮れて父
を死に至らしめるでしょう。
13 どうか、このしもべである私が、その少年の代わ
りに主君のしもべとして留まり、その少年を兄弟た
ちと共に帰らせてください。私は父であるしもべの
手によって、その少年の保証人となったのです。も
し私が彼を連れ戻さなければ、父は永遠に非難され
ることになるでしょう。」
14 ヨセフは彼らが皆互いに善意に満ちているのを見
て、我慢できなくなり、自分がヨセフであることを
彼らに告げた。
15 彼はヘブライ語で彼らと話し、彼らの首にひれ伏
して泣いた。
16 しかし、彼らはイエスを知らず、泣き始めた。イ
エスは彼らに言った。「私のために泣かないで、急
いで父を私のところに連れてきてください。あなた
がたは、話しているのは私の口であり、見ているの
は私の兄ベンヤミンの目であることがわかるでしょ
う。」
17 見よ、これは飢饉の 2 年目であり、まだ 5 年間、
収穫も木の実も耕作もない。
18 あなた方と家族は急いで下って来なさい。飢饉で
滅びることのないように、また財産のことで悲しむ
ことのないように。主は多くの人々が生きられるよ
うに、物事を整えるために私をあなた方より先に遣
わされたのです。
19 そして父に、私がまだ生きていることを伝えてく
ださい。見よ、主が私をファラオの父とし、彼の家
とエジプト全土の支配者としたのを見てください。
20 そして、私の父に、主が私に与えてくださった私
のすべての栄光と、すべての富と栄光を伝えてくだ
さい。」
21 そしてファラオの口の命令により、彼は彼らに戦
車と旅の食料を与え、また彼ら全員に色とりどりの
衣服と銀を与えた。
22 そして、父は彼らの父に衣服と銀貨と穀物を運ぶ
ロバ十頭を送り、彼らを送り出した。
23 彼らは父のところへ行き、ヨセフは生きていて、
地のすべての国々に穀物を量り、エジプト全土を統
治していることを告げた。
24 彼らの父はそれを信じなかった。彼は気が狂いそ
うになっていたからである。しかし、ヨセフが送っ
た荷車を見ると、彼の精神は生き返り、こう言った。
「ヨセフが生きていてくれればそれで十分だ。死ぬ
前に彼に会いに行こう。」

第 44 章

1 イスラエルは第三の月の新月の日にハランの家を出
発し、誓いの井戸の道を進み、その月の七日に父イ
サクの神にいけにえをささげた。
2 ヤコブはベテルで見た夢を思い出し、エジプトに下
ることを恐れた。
3 彼はヨセフに自分のところに来るようにと伝言を送
ろうかと考え、自分は下って行かないつもりで、七
日間そこに留まった。もしかしたら、そこに留まる
べきか下って行くべきかについての幻を見るかもし
れないと思ったからである。
4 彼は古い穀物で初穂の収穫祭を祝った。カナンの地
には種がひとつかみもなかったからである。飢饉が
すべての獣、家畜、鳥、そして人々に及んでいたか
らである。
5 十六日に主が彼に現れて言われた。「ヤコブ、ヤコ
ブ」。彼は言った。「はい、ここにいます」。主は
彼に言われた。「わたしはあなたの先祖の神、アブ
ラハムとイサクの神である。エジプトに下ることを
恐れるな。わたしはそこであなたを大いなる国民と
する。わたしはあなたと共に下って行き、あなたを
連れ戻す。あなたは、この地に葬られ、ヨセフがあ
なたの目に手を置くであろう。

6 恐れるな。エジプトへ下って行け。
7 そして彼の息子たちと孫たちが立ち上がり、父と彼らの持ち物を荷車に乗せた。
8 イスラエルは第三の月の十六日に誓いの井戸から立ち上がり、エジプトの地へ向かった。
9 イスラエルはユダを先に息子ヨセフのもとへ遣わし、ゴシェンの地を偵察させた。ヨセフは兄弟たちに、そこへ来て自分のそばに住むようにと言っていたからである。
10 そしてここはエジプトの地で最も良い土地であり、彼にとって近く、彼ら全員と家畜にとってもそうであった。
11 これらは、父ヤコブと共にエジプトへ行ったヤコブの子らの名前である。
12 イスラエルの長子ルベン。彼の息子たちの名前はエノク、パル、ヘツロン、カルミの五つである。
13 シメオンとその息子たち。息子たちの名前は、イエムエル、ヤミン、オハド、ヤキン、ゾハル、そしてゼファテの女の息子シャウルの七人である。
14 レビとその息子たち。息子たちの名前は、ゲルション、コハト、メラリの 4 人である。
15 ユダとその息子たち。息子たちの名前は、シェラ、ペレツ、ゼラの 4 人である。
16 イッサカルとその息子たち。彼の息子たちの名前は、トーラ、プア、ヤスブ、シムロンの 5 人である。
17 ゼブルンとその息子たち。彼の息子たちの名前は、セレド、エロン、ヤヒールの 4 人である。
18 これらはヤコブの息子たち、そしてレアがメソポタミアでヤコブに産んだ息子たち、六人、そして彼らの妹ディナ、レアの息子たちの全魂、そして彼らの息子たちで、父ヤコブと共にエジプトに行った者は二十九人、父ヤコブが彼らと共にいた時は三十人であった。
19 また、ヤコブの妻でレアの女奴隷であったジルパの息子たち、彼女はヤコブにガドとアシュルを産んだ。
20 そして、彼と共にエジプトへ行った彼らの息子たちの名前は次のとおりである。ガドの息子たち：ジフィオン、ハギ、シュニ、エズボン、エリ、アレリ、アロディ。
21 アシェルの子らは、イムナ、イシュヴァ、イシュヴィ、ベリア、セラ、そして彼らの姉妹 6 人であった。
22 魂は全部で 14 人、レアの魂は全部で 44 人であった。
23 ヤコブの妻ラケルの息子たち、ヨセフとベニヤミン。
24 ヨセフの父がエジプトに来る前に、エジプトでヨセフに生まれたのは、ヘリオポリスの祭司ポティファルの娘アセナトが彼に産んだマナセとエフライムの三人であった。
25 ベニヤミンの子らは、ベラ、ベケル、アシュベル、ゲラ、ナアマン、エヒ、ロシュ、ムッピム、フッピム、アルド▪イレブンであった。
26 ラケルの魂は全部で 14 個だった。
27 ヤコブの妻ラケルの女奴隷ビルハがヤコブに産んだ息子たちは、ダンとナフタリであった。
28 そして、彼らと共にエジプトへ行った彼らの息子たちの名前は次のとおりである。ダンの息子たちは、フシム、サモン、アスディ、イヤカ、ソロモンであった。
29 そして彼らはエジプトに入った年に死に、ダン▪フシムだけが残された。
30 ナフタリの子らの名は、ヤジエル、グニ、イエゼル、シャルム、そしてイヴである。
31 そして飢饉の後に生まれたイヴはエジプトで死んだ。
32 ラケルの魂は全部で 26 個だった。
33 ヤコブの子孫でエジプトに行った者は全部で七十人であった。これは彼の子と孫を含めて七十人である。しかし、五人はヨセフより先にエジプトで亡くなり、子を残さなかった。
34 カナンの地で、ユダの二人の息子、エルとオナンが死んだ。彼らには子供がいなかった。イスラエルの子らは死んだ者たちを葬り、彼らは七十の異邦の民の中に数えられた。

第 45 章

1 そしてイスラエルはエジプトの国、ゴシェンの地に入った。第四の月の新月の日に、第四五ヨベルの年の第二年、第三週のことである。
2 ヨセフは父ヤコブに会うためにゴシェンの地へ行き、父の首にひれ伏して泣いた。
3 イスラエルはヨセフに言った。「あなたに会えたので、もう死なせてください。イスラエルの神、アブラハムの神、イサクの神、主が祝福されますように。主はしもべヤコブに憐れみと恵みを惜しまなかったからです。」
4 生きているうちにあなたの御顔を見ることができただけで、私には十分です。ベテルで見た幻は真実でした。わが神、主はとこしえにほめたたえられ、その御名はほめたたえられますように。
5 ヨセフと兄弟たちは父の前でパンを食べ、ぶどう酒を飲んだ。ヤコブはヨセフが兄弟たちと食事をし、自分の前で酒を飲んでいるのを見て、この上なく喜び、自分を守り、また自分のために十二人の息子たちを守ってくださった万物の創造主を賛美した。
6 ヨセフは父と兄弟たちに、ゴシェンの地とラメセスとその周辺地域に住む権利を贈り物として与え、ファラオの前でその地を統治した。イスラエルとその息子たちはゴシェンの地に住んだ。ゴシェンはエジプトの地の中でも最も良い場所であった。イスラエルがエジプトに来たとき、彼は百三十歳であった。
7 そしてヨセフは、飢饉の七年間、父と兄弟たち、そして彼らの持ち物に十分な量のパンを与えて養った。
8 エジプトの地は飢饉のために苦しみ、ヨセフはファラオのためにエジプト全土を食料と引き換えに獲得

し、人々や家畜、その他すべてのものをファラオのために手に入れた。
9 飢饉の年が終わり、ヨセフはエジプト全土が川に氾濫していたため、第八年に種を蒔くことができるように、その地の民に種と食料を与えた。
10 飢饉の七年間は川は氾濫せず、川岸のわずかな場所しか灌漑できなかったが、今や川は氾濫し、エジプト人はその地に種を蒔き、その年は豊かな穀物が実った。
11 これは第 45 ヨベルの年の第 4 週の初めの年であった。
12 ヨセフは収穫した穀物の五分の一を王に取り、残りの四分の一を食用と種として残した。ヨセフはこれをエジプトの地における今日までの定めとした。
13 イスラエルはエジプトの地に 17 年間住み、その生涯は 3 つのヨベル、すなわち 147 年であった。そして彼は 45 番目のヨベルの 5 週目の 4 年目に死んだ。
14 イスラエルは死ぬ前に息子たちを祝福し、エジプトの地で彼らに起こるすべてのことを告げ、終わりの日に彼らに起こることを知らせ、彼らを祝福し、ヨセフにその地の二つの区画を与えた。
15 彼は先祖たちと共に眠りにつき、カナンの地の二重の洞窟に葬られた。父アブラハムのそば、ヘブロンの地の二重の洞窟に彼自身が掘った墓に葬られた。
16 彼は自分の書物と先祖の書物をすべて息子レビに与え、レビがそれらを保存し、今日まで子孫のために更新するようにした。

第 46 章

1 ヤコブが死んだ後、イスラエルの子らはエジプトの地で増え、大国民となった。彼らは心を一つにして、兄弟は兄弟を愛し、皆が兄弟を助け合った。彼らは大いに増え、非常に増え、十週の年、すなわちヨセフの生涯の全期間にわたって増え続けた。
2 ヨセフが父ヤコブの死後生きた間、サタンも災いも全くなかった。ヨセフの生涯の間、エジプト人は皆イスラエルの子らを敬ったからである。
3 ヨセフは百十歳で死んだ。彼はカナンの地に十七年住み、十年はしもべとして、三年は牢獄にいて、八十年は王に仕え、エジプト全土を統治した。
4 そして彼は死に、彼の兄弟たちも、その世代の人々も皆死んだ。
5 そして、イエスは死ぬ前にイスラエルの民に、エジプトの地を出るときには自分の骨を携えて行くようにと命じた。
6 そして彼は、自分の骨に関して彼らに誓わせた。なぜなら、彼はエジプト人が再び彼をカナンの地に掘り起こして埋葬することはないだろうと知っていたからである。カナンの王マカマロンは、アッシリアの地に住んでいた時に、谷でエジプトの王と戦って彼を殺し、エジプト人をエルモンの門まで追撃したからである。
7 しかし、彼はエジプトに入ることができなかった。なぜなら、別の新しい王がエジプトの王となり、彼よりも強かったからである。彼はカナンの地に戻り、エジプトの門は閉じられ、誰もエジプトから出入りすることができなかった。
8 ヨセフは第 46 ヨベルの年、第 6 週、第 2 年に亡くなり、エジプトの地に葬られた。そして、彼の兄弟たちは皆、彼の後に亡くなった。
9 エジプトの王は、ヨベルの年第 47 年、第 2 年の第 2 週に、カナンの王と戦うために出陣した。イスラエルの子らは、ヨセフの骨を除いて、ヤコブの子らのすべての骨を運び出し、山の二重の洞窟の野にそれを埋葬した。
10 そして彼らのほとんどはエジプトに帰ったが、少数の者はヘブロンの山地にとどまり、あなたの父アムラムも彼らと共に残った。
11 カナンの王はエジプトの王に勝利し、エジプトの門を閉じた。
12 彼はイスラエルの子らを苦しめるための悪だくみを企て、エジプトの人々に言った。「見よ、イスラエルの子らの民は我々よりも増え、繁栄した。
13 さあ、彼らが増えすぎる前に賢明に対処しよう。戦争が我々に迫り、彼らが我々と戦う前に、彼らを奴隷にしよう。さもなければ、彼らは我々の敵に加わり、我々の土地から彼らを追い出すだろう。彼らの心と顔はカナンの地に向かっているからだ。」
14 そして彼は彼らの上に監督者を立てて彼らを奴隷として苦しめ、彼らはファラオのためにピトムとラアムセスという堅固な都市を建設し、エジプトの都市で崩れ落ちていたすべての城壁と要塞を再建した。
15 そして彼らは彼らを厳しく働かせ、彼らを悪用すればするほど、彼らは増え、増殖した。
16 そしてエジプトの人々はイスラエルの子らを忌み嫌った。

第 47 章

1 そして、第七週、第七年、第四十七ヨベルの年に、あなたの父はカナンの地から出て行き、あなたは第四週、その第六年、第四十八ヨベルの年に生まれました。これはイスラエルの子らに災いが降りかかった時でした。
2 エジプトの王ファラオは、彼らに対して、生まれた男の子はすべて川に投げ捨てるようにという命令を出した。
3 そして彼らは七ヶ月間、あなたが生まれる日まで彼らを閉じ込めた。
4 あなたの母はあなたを三か月間隠し、人々は彼女のことを告げ口した。彼女はあなたのために箱舟を作り、それを瀝青とアスファルトで覆い、川岸の石垣の上に置いた。そして七日間あなたをその中に入れ、あなたの母は夜は来てあなたに乳を与え、昼はあなたの姉ミリアムが鳥からあなたを守った。

5 その頃、ファラオの娘タルムトが川で水浴びをしに来たとき、あなたの泣き声を聞き、侍女たちにあなたを連れてくるように命じたので、侍女たちはあなたを彼女のもとに連れてきた。
6 そして彼女はあなたを箱舟から取り出し、あなたを憐れんだ。
7 すると、あなたの姉は彼女に言った。「私が行って、ヘブライ人の女を一人呼んで、この赤子に乳を与えてあげましょうか。」
8 そして彼女はヨケベドに言った。「行きなさい。」そしてヨケベドは行ってあなたの母ヨケベドを呼び、ヨケベドは報酬を渡し、あなたを乳で育てた。
9 その後、あなたが成長したとき、人々はあなたをファラオの娘のところへ連れて行き、あなたは彼女の息子となった。あなたの父アムラムはあなたに文字を教え、あなたが 3 週間経った後、人々はあなたを王宮に連れて行った。
10 あなたは宮廷で 3 週間を過ごした後、王宮を出て、イスラエルの子らの一人であるあなたの友人をエジプト人が打っているのを見て、彼を殺し、砂の中に隠しました。
11 二日目に、あなたはイスラエルの子らのうち二人が争っているのを見て、不正を働いている方に「なぜ兄弟を打つのか」と尋ねた。
12 彼は怒り、憤慨して言った。「誰があなたを私たちの君主、また裁判官にしたのか。昨日エジプト人を殺したように、私を殺そうとしているのか。」あなたはこれらの言葉を聞いて恐れて逃げ出した。

第 48 章

1 そして、第 49 ヨベルの年の 3 週目の 6 年目に、あなたは出発してミディアンの地に 5 週間と 1 年間滞在した。そして、第 50 ヨベルの年の 2 年目の 2 週目にエジプトに帰った。
2 あなた自身も、シナイ山で主があなたに語られたこと、そしてあなたがエジプトへ帰る途中、宿営地でマステマ王子に会った時に、王子があなたに何をしようと望んだかを知っている。
3 彼は、あなたがエジプト人に対する裁きと復讐を行うために遣わされたのを見て、全力を尽くしてあなたを殺し、エジプト人をあなたの手から救い出そうとしなかったか。
4 わたしはあなたを彼の手から救い出し、あなたはエジプトでファラオとその家臣たち、そしてその民に対して行うように遣わされたしるしと不思議な業を行った。
5 主はイスラエルのために彼らに大きな報復を行い、血と蛙、シラミとイヌバエ、腫れ物にできる悪性の腫れ物によって彼らを打ち、家畜を死に至らしめ、雹によって彼らのために育ったものすべてを滅ぼし、雹によって残ったものを食い尽くすイナゴと暗闇によって、人と動物の初子を死に至らしめ、彼らの偶像すべてに報復して火で焼き尽くした。
6 そして、これらのことはすべてあなたの手を通して伝えられ、あなたがそれが起こる前に告げ知らせるようにし、あなたはエジプトの王と彼のすべての家臣と民衆の前で話をした。
7 そして、あなたの言葉どおりにすべてが起こり、イスラエルのためにあなたがエジプトの地に復讐するために、十の大きな恐ろしい裁きがエジプトの地に下った。
8 主はイスラエルのために、またアブラハムと定めた契約に従って、すべてを行われた。その契約とは、イスラエルが彼らを力ずくで奴隷にしたので、主は彼らに報復するというものである。
9 そして王子マステマはあなたに立ち向かい、あなたをファラオの手に投げ込もうとし、エジプトの魔術師たちを助けた。
10 そして彼らは立ち上がり、あなたの前で、確かに我々が彼らに行わせた悪事を働いたが、我々は彼らの手によって行われることを許さなかった。
11 主は彼らを悪性の潰瘍で打ち、彼らは立つことができず、我々は彼らを滅ぼしたので、彼らはしるしを一つも行うことができなかった。
12 そして、これらすべてのしるしと奇跡にもかかわらず、マステマ王子は恥をかかされることはなかった。なぜなら、彼は勇気を出してエジプト人に、エジプト人の全軍、すなわち戦車と馬とエジプトの民の全軍をもってあなたを追跡するように叫んだからである。
13 わたしはエジプト人とイスラエル人の間に立ち、イスラエルをエジプト人の手から、またその民の手から救い出した。主は彼らを、まるで乾いた地を通るかのように海の真ん中を通らせた。
14 そして、イスラエルを追撃するために彼が連れてきたすべての民を、主なる私たちの神は、エジプトの民が自分たちの子供を川に投げ込んだように、イスラエルの子らの下の深淵の真ん中に投げ込んだ。主は彼らの 100 万人に報復し、あなたの民の子供 1 人が川に投げ込まれたために、1000 人の力強く精力的な男たちが滅ぼされた。
15 そして、14 日目、15 日目、16 日目、17 日目、18 日目に、王子マステマはイスラエルの子らを訴えないように、彼らの後ろに縛られて投獄された。
16 そして 19 日に、エジプト人を助け、イスラエルの子らを追撃させるために、彼らを解き放った。
17 彼は彼らの心を頑なにして、彼らを強情にした。そして、主なる私たちの神は、エジプト人を打ち、彼らを海に投げ込むための策略を練られた。
18 そして 14 日に、私たちは彼を縛り付けました。それは、イスラエルの子らがエジプト人に器や衣服、銀の器、金の器、青銅の器を求めた日に、彼らがエジプト人に強制的に働かされたことへの見返りとして、エジプト人を略奪しようとしたことを、彼が訴えないようにするためでした。
19 そして、私たちはイスラエルの子らをエジプトから空手で連れ出したのではない。

第 49 章

1 主があなたに命じられた過越の祭りの戒めを覚えておきなさい。すなわち、あなたはそれを定められた時期に、第一の月の十四日に祝い、夕方になる前にそれを屠り、十五日の夕方、日没の時からそれを食べなければならない。
2 祭りの始まり、喜びの始まりであるこの夜、あなたがたはエジプトで過越の食事をしていた。その時、マステマのすべての力が解き放たれ、エジプトの地のすべての長子、ファラオの長子から、水車小屋の捕虜の女奴隷の長子、そして家畜に至るまで、すべて殺された。
3 主が彼らに与えられたしるしは、次のとおりである。戸口の鴨居に一歳の子羊の血が塗られている家は、その家に入って子羊を屠ってはならない。その家のそばを通り過ぎなければならない。戸口の鴨居に血のしるしがあったので、その家にいた者は皆救われるのである。
4 主の力は主が命じられたとおりにすべてを行い、イスラエルのすべての子らのそばを通り過ぎたが、疫病は彼らに臨まず、家畜、人、犬など、彼らのうちの誰一人として滅ぼすことはなかった。
5 エジプトでは疫病が非常にひどく、エジプトには死者が出ない家はなく、嘆き悲しむ声が絶えなかった。
6 イスラエルの民は皆、過越の小羊の肉を食べ、ぶどう酒を飲み、先祖の神である主を賛美し、祝福し、感謝し、エジプトのくびきと悪しき束縛から抜け出す準備ができていた。
7 あなたは生涯この日を覚えておき、生涯毎年、その日にその律法に従ってこれを守り、日ごと、月ごとに延期してはならない。
8 これは永遠の定めであり、イスラエルのすべての子孫に関して天の石板に刻まれている。彼らは代々にわたって、毎年その日にそれを守るべきである。日数に制限はなく、これは永遠に定められている。
9 汚れのない人が、その日にそれを守り、主の前に受け入れられる供え物をささげ、その祭りの日に主の前で食べたり飲んだりしないなら、その清く近い人は断たれる。彼は定められた時期に主の供え物をささげなかったために、その罪を負うことになる。
10 イスラエルの子らは来て、定められた日、すなわち第一の月の十四日に、夕方から夕方までの間、過越祭を守らなければならない。昼の三分の一から夜の三分の一までである。昼の二分の一は光に、三分の一は夕方に与えられているからである。
11 これは、主があなたに命じられたことであり、あなたがそれを夕方と夕方の間に守るべきである。
12 明るい時間帯には屠ってはならない。夕方の時間帯に屠り、夕方から夜の三分の一までの間に食べさせなければならない。そして、夜の三分の一以降に残った肉はすべて火で焼かなければならない。
13 彼らはそれを水で煮てはならない。生で食べてはならない。火で焼いて食べなければならない。頭と内臓、そして足を火で焼いて食べなければならない。その骨を折ってはならない。イスラエルの子らの骨は砕かれてはならないからである。
14 このため、主はイスラエルの子らに、定められた日に過越祭を守り、その日の骨を折ってはならないと命じられた。それは祭りの日であり、定められた日だからである。日ごと、月ごとに過ぎ去ってはならない。祭りの日には必ず守らなければならない。
15 あなたはイスラエルの子らに、生涯を通じて毎年、定められた日に一度、過越祭を守るように命じなさい。それは主の御前に喜ばれる記念となる。彼らが主の命令に従って、その時期に過越祭を祝うその年には、彼らを殺したり、打ち殺したりするような疫病は起こらない。
16 彼らはそれを主の聖所の外で食べてはならない。主の聖所の前で食べなければならない。イスラエルの会衆の民は皆、定められた時期にそれを祝わなければならない。
17 そして、その日を迎えた者は皆、二十歳以上であれば、主の御前で、あなたの神の聖所でそれを食べなければならない。なぜなら、主の聖所でそれを食べなければならないと、このように書かれ、定められているからである。
18 イスラエルの子らが、自分たちの所有地であるカナンの地に入り、その地に主の聖所が建てられるまで、部族の一つに主の幕屋を建てたとき、彼らは来て主の幕屋の中で過越祭を祝い、毎年主の前でそれを屠らなければならない。
19 そして、主の名によって彼らの相続地に神殿が建てられた日には、彼らはそこへ行き、夕方、日没時、すなわち一日の三分の一の時に過越のいけにえを屠らなければならない。
20 そして彼らは祭壇の敷居でその血をささげ、祭壇の上の火にその脂肪を置き、主の名によって聖別された家の庭でその肉を火で焼いて食べる。
21 彼らは、主の幕屋の前、あるいは主の名が宿る家の前以外では、自分の町々で、あるいは他のいかなる場所でも、過越祭を祝ってはならない。彼らは主から迷い出てはならない。
22 モーセよ、イスラエルの子らに、あなたに命じられたとおり、過越の祭りの定めを守るように命じなさい。毎年、その日と種なしパンの祭りを彼らに告げ、七日間種なしパンを食べ、その祭りを守り、その七日間の喜びの間、毎日、あなたの神の祭壇の上で主の前に供え物をささげるようにしなさい。
23 あなた方はエジプトを出てシュルの荒野に入るまで、この祭りを急いで祝いました。海のほとりでそれを終えたからです。

第 50 章

1 そして、この律法の後、わたしはエリムとシナイの間にあるシナイの荒野で安息日のことをあなたに知らせた。
2 わたしはシナイ山でその地の安息日についてあなたに告げ、安息年のヨベルの年についてもあなたに告げた。しかし、あなたがたが所有するべき地に入るまでは、その年については告げなかった。
3 また、彼らがその地に住んでいる間、その地は安息日を守り、彼らはヨベルの年を知るであろう。
4 それゆえ、わたしはあなたのために年と週と年とヨベルを定めた。アダムの時代から今日まで、ヨベルは 49 年、1 週間と 2 年である。主の戒めを学ぶには、まだ 40 年（文字通りには「遠い」）が残されている。ヨルダン川を西に渡ってカナンの地に入るまでである。
5 そしてヨベルの年が過ぎ去り、イスラエルは姦淫、不潔、汚れ、罪、誤りのあらゆる罪から清められ、全地に安心して住むようになる。そして、もはやサタンも悪人もいなくなり、その時から永遠に地は清くなる。
6 安息日に関する戒めと、その律法のすべての定めを、わたしはあなたのために書き記した。
7 六日間は働かなければならない。しかし七日目は、あなたの神、主の安息日である。その日には、あなたも、あなたの息子たちも、あなたの男奴隷も女奴隷も、あなたの家畜も、あなたと共にいる寄留者も、いかなる仕事もしてはならない。
8 その日に何らかの仕事をする者は死ぬ。その日に汚す者、妻と寝る者、その日に何かをすると言って、売買のために旅に出る者、また、六日目に自分で用意していない水を汲む者、自分の天幕や家からそれを運び出すために荷物を担ぐ者は死ぬ。
9 あなた方は安息日に、六日目に自分たちで用意したもの以外は、一切の仕事をしてはならない。それは、食べたり飲んだり休んだりするためであり、その日は一切の仕事をせずに安息日を守り、あなた方に祭りの日と聖なる日を与えてくださった主なるあなた方の神を賛美するためである。この日は、イスラエル全土にとって永遠の聖なる王国の日である。
10 主がイスラエルに与えた栄誉は偉大である。彼らはこの祭りの日に食べたり飲んだりして満腹し、乳香を焚き、日々と安息日に主の前に供え物といけにえをささげること以外は、人の子らの労働に属するすべての労働から休むことができる。
11 この仕事は、安息日に、あなたの神、主の聖所で行わなければならない。それは、彼らがイスラエルのために、主の御前に喜ばれる記念として、日々絶えずいけにえをささげて贖いをし、あなたが命じられたとおりに、主が日々彼らを常に受け入れてくださるためである。
12 また、安息日に何らかの仕事をする者、旅に出る者、家であろうと他の場所であろうと耕作する者、火を灯す者、獣に乗る者、船で海を旅する者、何かを打つ者、殺す者、獣や鳥を屠る者、動物や鳥や魚を捕る者、安息日に断食する者、戦争をする者は、
13 安息日にこれらのことを行う者は必ず死ぬ。イスラエルの子らは、主がわたしの手に渡された石板に記されているとおり、この地の安息日に関する戒めに従って安息日を守るであろう。その石板には、季節の律法と、その日数の区分に従って季節を書き記すようにと記されている。こうして、日数の区分に関する記述は完了する。